

第七十五回帝國議會
衆議院
所得稅法改正法律案外三十件委員會會議錄(速記)第十回

付託議案
所得稅法改正法律案(政府提出)(第七號)
法人稅法(政府提出)(第八號)
特別利子稅法(政府提出)(第九號)
配當利子特別稅法(政府提出)(第一〇號)
外貨債特別稅法(政府提出)(第一一號)
建築稅法(政府提出)(第一二號)
礦區稅法(政府提出)(第一三號)
臨時利得稅法(政府提出)(第一四號)
營業稅法(政府提出)(第一五號)
地租稅法(政府提出)(第一六號)
酒稅法(政府提出)(第一七號)
清涼飲料稅法(政府提出)(第一八號)
砂糖消費稅法(政府提出)(第一九號)
揮發油稅法(政府提出)(第二〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第二一號)
揮發油稅法(政府提出)(第二二號)
揮發油稅法(政府提出)(第二三號)
揮發油稅法(政府提出)(第二四號)
揮發油稅法(政府提出)(第二五號)
揮發油稅法(政府提出)(第二六號)
揮發油稅法(政府提出)(第二七號)
揮發油稅法(政府提出)(第二八號)
揮發油稅法(政府提出)(第二九號)
揮發油稅法(政府提出)(第三〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第三一號)
揮發油稅法(政府提出)(第三二號)
揮發油稅法(政府提出)(第三三號)
揮發油稅法(政府提出)(第三四號)
揮發油稅法(政府提出)(第三五號)
揮發油稅法(政府提出)(第三六號)
揮發油稅法(政府提出)(第三七號)
揮發油稅法(政府提出)(第三八號)
揮發油稅法(政府提出)(第三九號)
揮發油稅法(政府提出)(第四〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第四一號)
揮發油稅法(政府提出)(第四二號)
揮發油稅法(政府提出)(第四三號)
揮發油稅法(政府提出)(第四四號)
揮發油稅法(政府提出)(第四五號)
揮發油稅法(政府提出)(第四六號)
揮發油稅法(政府提出)(第四七號)
揮發油稅法(政府提出)(第四八號)
揮發油稅法(政府提出)(第四九號)
揮發油稅法(政府提出)(第五〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第五一號)
揮發油稅法(政府提出)(第五二號)
揮發油稅法(政府提出)(第五三號)
揮發油稅法(政府提出)(第五四號)
揮發油稅法(政府提出)(第五五號)
揮發油稅法(政府提出)(第五六號)
揮發油稅法(政府提出)(第五七號)
揮發油稅法(政府提出)(第五八號)
揮發油稅法(政府提出)(第五九號)
揮發油稅法(政府提出)(第六〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第六一號)
揮發油稅法(政府提出)(第六二號)
揮發油稅法(政府提出)(第六三號)
揮發油稅法(政府提出)(第六四號)
揮發油稅法(政府提出)(第六五號)
揮發油稅法(政府提出)(第六六號)
揮發油稅法(政府提出)(第六七號)
揮發油稅法(政府提出)(第六八號)
揮發油稅法(政府提出)(第六九號)
揮發油稅法(政府提出)(第七〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第七一號)
揮發油稅法(政府提出)(第七二號)
揮發油稅法(政府提出)(第七三號)
揮發油稅法(政府提出)(第七四號)
揮發油稅法(政府提出)(第七五號)
揮發油稅法(政府提出)(第七六號)
揮發油稅法(政府提出)(第七七號)
揮發油稅法(政府提出)(第七八號)
揮發油稅法(政府提出)(第七九號)
揮發油稅法(政府提出)(第八〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第八一號)
揮發油稅法(政府提出)(第八二號)
揮發油稅法(政府提出)(第八三號)
揮發油稅法(政府提出)(第八四號)
揮發油稅法(政府提出)(第八五號)
揮發油稅法(政府提出)(第八六號)
揮發油稅法(政府提出)(第八七號)
揮發油稅法(政府提出)(第八八號)
揮發油稅法(政府提出)(第八九號)
揮發油稅法(政府提出)(第九〇號)
揮發油稅法(政府提出)(第九一號)
揮發油稅法(政府提出)(第九二號)
揮發油稅法(政府提出)(第九三號)
揮發油稅法(政府提出)(第九四號)
揮發油稅法(政府提出)(第九五號)
揮發油稅法(政府提出)(第九六號)
揮發油稅法(政府提出)(第九七號)
揮發油稅法(政府提出)(第九八號)
揮發油稅法(政府提出)(第九九號)
揮發油稅法(政府提出)(第一〇〇號)

會議 昭和十五年二月二十七日(火曜日)午前十時 三十八分開議 出席委員左ノ如シ 委員長 堀切善兵衛君 理事小山倉之助君 理事濱野徹太郎君 理事木村 淺七君 理事高橋熊次郎君		理事小笠原三九郎君理事立川 平君 理事河野 密君 山本 条吉君 成島 勇君 池本甚四郎君 中島彌團次君 川崎末五郎君 內藤 正剛君 長野 長廣君 愛野時一郎君 川崎 克君 飯田 助夫君	渡邊玉三郎君 櫻井兵五郎君 塚本 三君 伊藤 五郎君 石井德久次君 船田 中君 宮本雄一郎君 上田 孝吉君 山川賴三郎君 豐田 收君 森 肇君 森田 福市君 板谷 順助君 西川 貞一君	瀧澤 七郎君 小見山七十五郎君 鈴木 英雄君 田万 清臣君 松永 義雄君 佐竹 晴記君 石坂 繁君 道家齊一郎君 青木 作雄君 藤本 捨助君 北 勝太郎君 武田德三郎君
--	--	--	--	---

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 米内 光政君

大藏大臣 櫻内 幸雄君

農林大臣 島田 俊雄君

商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 石渡莊太郎君

內務省地方局長 挾間 茂君

內務書記官 三好 重夫君

大藏政務次官 木村 正義君

大藏參與官 松田 正一君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 田中 豐君

大藏書記官 山田 義見君

文部省普通學務局長 中野 善敦君

商工省振興部長 妹川 武人君

物價局長 新倉 利廣君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法改正法律案(政府提出)

法人稅法案(政府提出)

特別法人稅法案(政府提出)

配當利子特別稅法案(政府提出)

外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

建築稅法案(政府提出)

鑛區稅法案(政府提出)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

營業稅法案(政府提出)

地租法中改正法律案(政府提出)

酒稅法案(政府提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

揮發油稅法中改正法律案(政府提出)

遊興飲食稅法案(政府提出)
取引所稅法中改正法律案(政府提出)
通行稅法案(政府提出)
入場稅法案(政府提出)
印紙稅法中改正法律案(政府提出)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
狩獵法中改正法律案(政府提出)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)
營業收益稅法廢止法律案(政府提出)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)
臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)
地方稅法案(政府提出)
地方分與稅法案(政府提出)
府縣制中改正法律案(政府提出)
市制中改正法律案(政府提出)
町村制中改正法律案(政府提出)
北海道會法中改正法律案(政府提出)
北海道地方費法中改正法律案(政府提出)
地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

ガゴザイマスガ、是モ亦大藏大臣ノ御出席ガナイヤウデアリマス、隨テ大藏大臣並ニ農林大臣ノ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレマデ事務的ノ問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ大藏大臣、農林大臣ハ何時頃御出席デアリマスカ
○堀切委員長 大藏大臣ハ只今大河内輝耕氏ノ質問ニ答ヘテ居ラレルノデ、間モナクコチラニイラツシヤルサウデアリマス、農林大臣ハ今御自分提案ノ法律案ノ説明中ダサウデアリマスガ、午前中ニハヤハリ額ヲ出スト云フコトデ居リマス、ドウカ事務的ノ質問ヲ一ツ……
○石井委員 ソレデハ今ノ兩法案ノ外ノ問題デアリマスガ、酒造稅ノコトニ付キマシテ御伺ヲ申シタイト思ヒマス、今回酒造稅ニ於キマシテ、庫出稅シテ十五圓増徴サレタヤウデアリマス、前回ノ十圓ノ庫出稅ト合セマシテ、二十五圓ガ庫出稅トナツテ居ルノデアリマス、基本ノ造石稅ハ四十五圓ニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ際伺ツテ見タイト考ヘマスノハ、以前ヨリ問題デアリマシタ酒造稅ノ庫出稅變換ノ問題デアリマス、庫出稅ニスルコトガ原則的ニハ極メテ合法的デアアルコトハ、大藏省ニ於テモ御認メニナツテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、色々ノ事情ノ爲ニ此ノ庫出稅稅ガ實行出來ズニ居ツタノデアリマス、然ルニ其ノ後物品稅シテ課カリマシタ十圓及ビ今回増徴ニナリマシタ十五圓ハ、此ノ庫出稅稅ニ依ツテ徵收サレルコトニ相成ツタノデアリマスガ、斯ノ如ク漸次庫出稅課稅ヲ稅ノ上ニ御取上ゲニナツテ居ルノハ、廳テ全部ヲ庫出稅課稅ニスル、斯ウ云フヤウナ前提デアアルカドウカ、御伺致シタイト思ヒマス

○大矢政府委員 御承知ノ通り酒類ニ對スル課稅ハ、大體造石稅ニナツテ居ルノデアリマスガ、數年前ヨリ業者ノ間ニ於キマシテ、之ヲ庫出稅稅ニ變更シテ貰ヒタイト云フ希望ガ、大部熱心ニ唱ヘラレテ居タノデゴザイマシテ支那事變特別稅法制定ニ當リマシテ、物品稅トシテ此ノ庫出稅稅ト同趣旨ノ課稅ヲ、一部施行致シマシタノハ仰セノ通りデアリマス、酒造稅ハ消費稅ノ一種ト致シマシテ、成ベク消費者ニ近イ所デ課稅スルノガ理想的デゴザイマシテ、其ノ意味カラ致シマシテ造石稅ヨリモ庫出稅ニスル方ガ適當カト存ジマス、併シナガラ酒類ニ付キマシテハ酒精度數ノ檢定ノ如キ特殊ノ事情モ考慮シナケレバナリマセス、又從價稅制度ヲ採リ得ナイ今日ト致シマシテハ、直チニ此ノ消費稅ノ理想ニ基イテ課稅スル譯ニ行カナイ點モアルノデアリマス、物品稅施行後ノ狀況ヲ見マス、ヤハリ此ノ庫出稅ニ付キマシテモ多少問題ガアルヤウデゴザイマシテ、一二年間施行ノ狀況カラ見マシテ、業者ノ間ニ於キマシテモ、ソレヲ直チニ全部庫出稅稅ニスルコトハ、相當考慮ヲ要スル點ガアルデハナカラウカト云フ意見ガ大體支配的ニナツテ來テ居ルヤウデアリマス、結局酒造業者ノ間ニ於キマシテハ、當分ノ間從來ノ通り造石課稅ト庫出稅稅トヲ併用シテ行ツテ貰ヒタイト云フノガ希望デアリマシテ、私共モ先ヅ當分ノ間ハ關係業者ノ希望ニ副ウテ、兩制度併用デヤツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス
○石井委員 庫出稅稅ガ合法的デアアルコトハ御認メニナツテ居ルヤウデアリマス、併シナガラ大體從來ノ慣例ナリ、從來ノ取扱

ノ傾向ナリ、或ハ業者ノ希望ナリデ、斯ウ云フモノヲ當分併用シテ行カウト云フヤウナ御考ノヤウデアリマス、大體諒承致シマス

次ニ御伺申上ゲタイト考ヘマスルノハ、酒造ニ關シマスル納稅保證額ノ問題デゴザイマス、是ガ撤廢ハ多年業界ノ問題デアアルデアリマス、然ルニソレガ實現出來ズニ居リマスノミナラズ、酒造稅法ニ依リマス、石七圓見當ノ標準ヲ以テ納稅擔保物ヲ取ルコトニナツテ居リマスルノガ、現在ニ於キマシテハ七圓下コロデハナイ、非常ナ多額ノ要求セラレテ居ルデアリマスルガ、之ヲ稅法通リニ減額ヲスル御考ガアルカナイカ、御伺シタイト思ヒマス

○大矢政府委員 現行法ニ於キマシテハ清酒ニ付テ石七圓ノ割合ノ擔保ヲ提供スベキコトヲ命ジテ居ルノハ仰セノ通りデゴザイマス、是ハ毎酒造年度ニ當該酒造年度ニ於キマシテ、造石スル酒類ニ付テハソレデ宜イノテゴザイマスケレドモ、實際問題ト致シマシテハ、同一ノ擔保物ヲ連年使用シテ行ク、斯ウ云フ關係デアリマスルノデ、隨ヒマシテ酒造季節ニ於キマシテハ、マダ前酒造年度ノ分ノ造石稅ハ殘ツテ居ル、而シテ新酒造年度ノ分ノ造石稅ニ對シマシテモ、一石七圓ノ割合デ擔保ヲ提供シナケレバナラス、斯ウ云フ關係ガアリマシテ、大體二倍程度ノ擔保ヲ出シテ居ルト云フコトハ、斯ウ云フ事情カラ出テ來テ居ルノデアリマシテ、別ニ法律ノ規定以上ヲ強制的ニ命ジテ居ルト云フ譯デハナイノデゴザイマス

○石井委員 石七圓デ、今倍ト言ハレマスト石十四圓デアリマスガ、實際問題トナリマスト二十圓、三十圓ト云フ現狀ニナツテ

居ルコトハ御承知ニナツテ居ルト考ヘルノデアリマス、サウ云フコトガアリマスガ故ニ斯ウ云フヤウナ質問モ出マスシ、又業界カラモウ少シ緩和シテ貰ヒタイト云フ希望モ出ル次第デアリマス、勿論御迷惑ヲ掛ケルヤウナ酒造家モアルカト考ヘマスケレドモ、大體ニ於テ擔保物ヲ出シテ、更ニ保證人ヲ立テルト云フ狀態デアリマスガ故ニ、是ハヤハリモウ少シ緩和シテ戴クコトノ方ガ結構ダト思ヒマス、是モ此ノ程度ニ致シテ置キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 石七圓ト云フノハ臨時租稅増徴法實施前ノ規定デアリマシテ、其ノ後大分増稅ニナツテ居ルケレドモ、此ノ程度ハ別ニ増加シテ居ナイ譯デアリマス、殊ニ近頃ハ御承知ノ通り庫出課稅ノ方ニ向イテ居リマスノデ、此ノ庫出課稅ノ分ニ付キマシテハ、擔保ノ提供ヲ致サセナイコトヲ原則トシテ居ルト云フ點モアリマスノデ、以前ヨリハ多少緩和サレテ居ルコトダト存ジマス

○石井委員 ソレカラ酒造稅ノ消費者ヘノ轉嫁ノ問題デアリマス、昨日本議場デ此ノ問題ガ取上ゲラレタノデアリマス、ソレニ對シマシテハ當時明快ナ御答辯ガナカッタヤウデ商工省ト協議ノ上デ答辯スルト云フコトニナツタヤウデアリマスケレドモ、併シ是ハ過去ノ實例ガ歷然トシテアルノデアリマス、過去數回ニ互ツテ酒造稅ガ値上ゲセラレ、或ハ物品稅ガ重課サレル時ニハ、ヤハリサウシタ實例ガアツタノデアリマス、別段新シイ今度ノ課稅デハナイト思フノデアリマス、ソレニ對シマシテ何等カ御躊躇セラレ理由ガ御アリデアリマセウカ

○大矢政府委員 消費稅ノ性質ト致シマシ

テ、消費者ガ負擔スベキモノデアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテ新シク課稅ニナリ、又ハ稅率ガ増加セラレタ場合ニハ、ソレダケ價值ガ高クナツテ、消費者ガソレニ相當スルモノヲ負擔スルノハ當然カト存ジマス、一方公定價格ヲ定メル場合ニ於キマシテハ、勿論此ノ稅ノ負擔モ公定價格ヲ決メル一ツノ要素ニナリマスケレドモ、其ノ他ニ各種ノ要素ガアリマシテ、ソレ等ヲ見比ベテ、公定價格變更ノ要アリヤ否ヤト云フコトヲ定メナケレバナラスカト存ジマス、隨テ稅ノ負擔増加以上ニ、他ノ「ファクター」ガ大キク働イテ來ル場合ニハ、ソレト或ハ相重ルトカ、或ハ相殺サレルトカ、斯ウ云フヤウナ關係モ出テ來ルコトカト存ジマス、公定價格ヲ決メル前提ト致シマシテ、色々ナ「ファクター」ガアル、其ノ一ツノ「ファクター」ガ變ル度毎ニ公定價格ヲ必ラズ直チニ變ヘテ行カナケレバナラスカドウカト云フコトモ、亦實際問題トシテ考究ノ餘地ガアルコトカト存ズルノデアリマス、ソレ等ノ點モアリマスノデ、尙ホ能ク商工當局ト協議シテ、成ベク早イ機會ニハツキリシタ御答辯ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石井委員 公定價格ヲ決メルニハ色々ノ「ファクター」ガアルカラ、ソレヲ考慮シテ決メルト云フ御話ハ能ク分ルノデアリマスガ、消費稅ハ原則カラ考ヘテ見マシテ、一種ノ特殊ノモノデアリマスガ故ニ、大體分ツタヤウデアリマスガ、消費稅トシテ課セラレルモノニ付テハ、サウシタ色々ナ公定價格ヲ決メル問題ヲ考慮ニ入レズニ考ヘマスナラバ、ソレガ消費者ニ轉嫁セラレルコトハ當然ノコトト考ヘルノデアリマス、其ノ

點ニ付キマシテハ其ノ通りデアリマスカ

○大矢政府委員 其ノ通り考ヘテ居リマス

○石井委員 其ノ點ハソレ位ニ致シマシテ、次ニ御伺申上ゲタイト考ヘマスルノハ、酒造納期ノ變更ガ、燒酎製造業ニ對シテ今度出來タノデアリマス、今マデ四期デアリマシタノガ、三期ニナツタノデアリマス、ソレガ爲ニ燒酎製造業者ハ、少カラズ打撃ヲ受ケテ困ルト云フコトニナルノデアリマス、之ニ對シマシテハ業者モ色々陳情シテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、何等カ緩和策ヲ御考ニナツテ居ルノデアリマセウカ、一寸御伺申上ゲタイト思ヒマス

○大矢政府委員 燒酎ニ付キマシテハ、御承知ノ通り燒酎ノ製造ヲ終ツテカラ庫出シマデノ期間ハ、サウ長クハナイノデゴザイマス、隨ヒマシテ現行法ノ納期ニ依リマス、既ニ燒酎ヲ相當ニ賣拂ツテ、税金ニ相當スル部分ヲ回收シテ居リマス、ソレヲマダ納期ガ來ナイ爲ニ手許ニ置イテ、他ニ運轉シテ居ル、斯ウ云フ狀況モアルノデアリマス、併シ是ハヤハリ業者ガ長イ間慣行的ニ左様ニ致シテ居リマスカラ、之ヲ一舉ニ法定納期ヲ撤廢スルコトモ事實上無理カト存ジマスルノデ、大體一酒造年度ノ半バ、即チ十月カラ翌年ノ四月マデニ製造シタ分ニ付キマシテハ、從來ト著シイ變更ガナイ、其ノ後ニ造ツタモノニ付キマシテハ、相當從來トハ變更ヲ見タ、斯ウ云フ次第デゴザイマス、最近ノ情勢カラ見マシテ、賣掛代金ノ回收狀況等モ頗ル良好デアリマスカラ、此ノ際此ノ程度ノ納期ノ變更ニ依ツテ、業者ガ著シキ苦痛ヲ感ズルコトハ、先ヅナカラウト存ジテ居リマス

○石井委員 マダ大藏大臣、農林大臣ハ御

出席ニナラスノデゴザイマセウカ

○堀切委員長 催促シテ居リマス

○石井委員 ソレデハオ出デニナルマデ、モウ少シサウシタ問題ヲ承リタイと思ヒマス

次ニ承リタイト存ジマスコトハ、酒類ノ減石ノ問題デアリマス、御承知ノ通りニ本年ハ、十一酒造年度ヲ基準ト致シマシテソレニ對シマシテ四割八分ノ減石ガアツタノデアリマス、隨テ其ノ爲ニ業者ハ勿論デアリマスガ、需要者ニ於キマシテモ少カラザル迷惑ヲ致シテ居ルデアリマス、酒類ノ最近ニ於キマス品質ノ下落デアルトカ、闇取引ノ横行デアルトカ云フコトハ、需要供給ノ關係カラ來テ居ルコトハ疑ノナイ事實デアアルデアリマス、斯ウ云フ狀況ガ續イテ參リマス、私仄カニ承ルノデアリマスガ、酒ノ生産デハナク、他ノ事業ノ生産ニモ相當影響致シテ居ル、殊ニ鑛山労働者方面ニ於キマシテハ、酒ノアル所デアレバ自分ハ行カウ、デナケレバ自分ハ其處ニ行カス、斯ウ云フコトデ、サウシタ方面カラ生ジマスル生産ノ減少モ少カラザルモノト承ツテ居ルノデアリマス、殆ド半分ニ近イスノ如ク大ナル制限ハ、將來トモ維持サレ得ルモノデアルカドウカト云フコトニ、非常ニ疑フ持ツノデアリマス、勿論是ハ米ノ關係ガ非常ニ手傳フモノダト考ヘルノデアリマシガ、若シ米ガ平常ニ復スルコトニナリマシタナラバ、此ノ制限ニ付テモ相當御考慮ニナルノデアルカドウカ、ソレヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス

○大矢政府委員 今ノ酒造年度ニ於キマシテハ、米穀ノ需給狀況ニ鑑ミマシテ、餘程思切ツタ生産制限ヲ致シテ居ルノデアリマス、將來米ノ需給問題ガ解決セラレマシテ相當酒造米ノ使用モ緩和スルト云フコトニナレバ、勿論緩和セラルコトカト存ジマス、併シナガラ果シテサウ云フ時機ガ直ダ來ルカドウカト云フコトハ、俄ニ樂觀ヲ許シ難イ事情モアリマスノデ、實ハ清酒ニ代用シ得ルモノヲ供給スルコトヲ考ヘル必要ガアルノデハナカラウカ、此ノ度ノ稅法改正ニ於キマシテモ、合成清酒ト云フ名稱ノ下ニ、一ノ獨立シタ種類ノモノヲ認メマシテ、從來ノ清酒製造家方面ニ於キマシテ、酒造米制限ニ依リ造石高ノ減少ヲ、此ノ方面デ補充シテ行キタイト云フ希望ノアル場合ニハ、成ベク其ノ希望ニ副ヒ得ルヤウニシテ、業者ガ多年ニ互ツテ築キ上ゲタ營業ノ基礎ニモ、著シキ影響ヲ與ヘズ、又一般需要家ニ對スル供給モサウ不自由ナクサセタイと思ツテ各種ノ方面カラ、色々具體策ヲ考究シテ居ル次第デゴザイマス

○石井委員 今ノ合成酒、新清酒ノ問題デアリマス、是ハ斯ウ云フヤウナ際ニ於テ當然考ヘネバナラス問題ダト考ヘマス、隨テ之ヲ現在ノ酒造家ニ原料ヲ配付シテ造ラセル、斯ウ云フヤウナコトモ一便法デハナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、サウシタ御考ガアルカナイカト云フコトヲ、御尋シタイと思ヒマス

○大矢政府委員 ソレモ一ツノ方法ト存ジマス、其ノ他ノ色々ノ方法ト併セテ考究シテ居ル次第デゴザイマス

○石井委員 次ニヤハリソレニ關聯致シマシテ御伺申上ゲタイト考ヘマスノハ、例ノ酒造石ノ統制ニ關スル問題デアリマス、今日マデ行ハレテ居ラレマス所ノ統制ト云フモノハ、勿論酒造組合ノ自治統制デハアリマスルガ、大體ニ於テ大藏省ニ於テ御指導ニナツテ居ル所デアリマスガ故ニ御伺申上ゲマスガ假ニ四割八分減石トナリマシテモ、之全部昭和十一年酒造年度ノ造石ヲ基準トシテ、一律ニ四割八分ヲ各酒造家ニ付テ減石ヲサレタヤウデアリマス、其ノ方法ガ果シテ宜イノデアアルカト云フコトニ付テハ、非常ニ疑フ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、何トナレバソレガ爲ニ——多分御承知ニナツテ居ルダラウト考ヘマスガ、休造ヲシテ居ル者トノ間ニ、所謂製造ノ權利ト云フモノヲ非常ニ高値ヲ以テ業者ノ間ニ賣買サレル、斯ウ云フヤウナ事實ガ非常ニ出來テ參ツタノデアリマス、詰リ休シデ居ツテ自分ガ儲ケル、所謂不勞所得ヲソコニ得ル、斯ウ云フヤウナコトガ非常ニ出來テ參ツタノデアリマス、恐ラクハ此ノ事實ハ御認メニナツテ居ルト考ヘマス、國家ノ意思ニ依ツテ出來タ此ノ統制ノ爲ニ、遊ブ人ニ非常ニ利得ヲセシメル、驚クベキ相場ヲ以テ賣買セラレタト云フコトハ私共承ツテ居ルノデアリマス、ナゼサウ云フコトニナルカト申上ゲルト、一種ノ權利ヲ持ツテ居ル、是以上ノモノハドウシテモ造石出來ナイ、然ルニ一方ニ於テハ多年ノ商權ヲ持ツテ居ル、商權ヲ維持スルガ爲ニハ利害ヲ離レテ、其ノ人達ヲ守ラナケレバナラス、斯ウ云フ結果カラ、休シデ居ル所へ行ツテ高イ相場ヲ以テ其ノ造石ノ權利ヲ買フ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレガ私ハ所謂統制ヲ一律ニヤツテ、各酒造家毎ニ、其ノ商權デアルトカ、或ハ從來ノ御得意デアルトカ云フコトヲ考ヘズニ、一律ニヤルガ爲ニサウ云フヤウナ結果ガ出來テ來ルト考ヘルノデアリマス、是ハ將來ノ指導ノ上ニ於キマシテハ十分ニ考ヘネバナラス問題ダと思ヒマス、之ニ對シテ當局ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスカ

○大矢政府委員 ソレハ御承知ノ如ク、關係業者ニ於テ組織致シテ居リマスル酒造組合中央會ガ、全國ノ統制ヲ圖ツテ居ルノデアリマスガ、勿論其ノ統制ヲ致ス場合ニ於キマシテモ、私共十分御相談ヲ受ケマシテ、私共ノ考モ相當入ツテ居ルノハ事實デアリマスガ、併シナガラ是ハ政府ノ統制デナク、ヤハリ酒造組合中央會ノ自治的統制ト云フノニハ間違ヒアリマセヌ、毎年ノ統制スル場合ニハ、全國各地カラ代表者ガ數十名集マリマシテ、連日ニ互ツテ協議ヲ致シテ決定スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルコトハ石井サンモ御承知ノコトカト存ジマス、只今御話ノ、大體一律ニ四割八分ヲ減ズルト云フヤウナ制限ヲスルノハ適切デハナイデハナイカト云フコトハ、御尤モノ御意見ト存ズルノデアリマス、中央會ニ於キマシテ或ル程度ハ例外ヲ認メマシテ、例ヘバ造石高ノ少イ者ニ對シマシテハ、多少制限ノ程度ヲ緩和シテ、一酒造年度ニ於キマシテ千石以下ヲ造ツテ居ル者ニ對シテハ、二十石ダケ餘分ニ造ツテモ宜イト云フコトモヤツテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ點ハ、造石高ガ段々少クナル者ニ取ツテハ、寧ロ制限ノ割合ハ餘程緩和サレテ來ル、斯ウ云フ事情モアルノデアリマスガ、併シ是モ兎ニ角機械的ノモノデアリマス、ソレデ全國各地方ニ依リマシテ、段々其ノ地方ノ産業ガ發達シテ、人口モ殖エ、酒類ニ對スル需要モ多クナルト云フヤウナ方面モアリマス、又其ノ反對ニ段々衰微シテ行クト云フ方面モアリ、色々ノ事情モアルノデアリ

マスカラ、其ノ實情ヲ能ク見極メテ、適切ニ生産統制ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトハ、理想トシテハ洵ニ御説ノ通りデアリマス。ケレドモ、何ト致シマシテモ昭和十二酒造年度ニ於キマシテ、初メテ統制ニ著手シタノデアリマシテ、施行後マダ幾何モ經ツテ居ラナイ所ニ、今回ノ如キ大制限ヲ加ヘラレルト云フゴトニナリマシテ、實際ノ實行ニ當リマシテハ、今日ト致シマシテハ稍、機械的ニ墮スルノモ已ムヲ得ナイカト存ジマス、將來ニ於キマシテハ仰セノ點ハ十分考慮シナケレバナラナイ問題ダト存ジテ居リマス

○石井委員 白酒ニ關スル質問ハ此ノ程度デアリマスガ、關聯質問ガアルヤウデアリマスカラ……

○伊藤委員 關聯シテ御尋致シマス、只今石井委員カラ、酒ノ釀造高ノ減石率ガ四割八分ト云フ同一率ヲ以テ減石シタルコトハ、洵ニ不都合デハナイカト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、實ハ私達トシテモ此ノ點ニ付キマシテ非常ニ驚イテ居ツタノデアリマス、ソコデ昨年我が民政黨ニ於キマシテハ、政務調査會ニ諮リマシテ斯ノ如キ不當ナル減石ノ方法ト云フモノハナイト云フ理由ノ下ニ、特別ノ調査會ヲ設ケタノデアリマス、私ハ此ノ酒ノ減石率ヲ四割八分ト云フ同率ニシタノハ、大藏省ノ意見デハナクシテ、酒造組合聯合會ノ統制ニ依ルモノデアルト云フヤウナ御話ヲ承ツテ、洵ニ其ノ無責任ナルコトニ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、統計ニ依リマス、全國デ酒造業ヲ營ンデ居ル者ガ約七千四百人アルノデアリマス、其ノ中ノ大半ハ百石カ二三石シカ釀造シテ居ナイ所ノ、小

規模ナル釀造家デアリマス、又一面一年ニ五千石以上造ツテ居ル所ノ大規模ノモノガ六十人モアツテ、其ノ釀造高ガ驚クナカレ六十萬石ニ達シテ居ルノデアリマス、吾々ト致シマシテハ、此ノ百石、二百石シカ造ラナイ所ノ酒造業者ニ對シマシテハ、一定ノ減石ヲシナイト云フ率ヲ設ケマシテ、サウシテ五千石以上、或ハ一萬石以上ヲ造ル人ニ對シマシテハ、累進的ナル減石率ヲ設ケルト云フコトガ、私ハ社會正義ニモ合スルシ犧牲均衡ノ上カラ考ヘマシテモ、ドウシテモヤラナケレバナラナイ重大ナ問題デアルト思フノデアリマス、然ルニモ拘ラズ之ヲ單ニ酒造組合聯合會ニ委シテ置クト云フヤウナコトハ、實ニ私ハ無責任デハナカラウカト思フノデアリマス、酒造組合聯合會ノ役員ハ御承知ノ如ク五千石、或ハ一萬石ト云フヤウニ澤山造ツテ居ル人ガ役員ニナツテ居ル、此ノ役員ガ五十人集リ、六十人集マレバ、自分達ニ都合ノ好イ減石率ヲ主張スルコトハ理ノ當然デハナイカト思フ、之ニ委シテ置イテ、百石、二百石シカ造ラナイヤウナ釀造家ニ對シテ、何等ノ保護モ與ヘナイト云フヤウナ方針ヲ執ツタコトハ、抑、大藏省ノ大ナル失策ナリト考ヘマス、茲ニ於キマシテ私ガ大藏省ニ御伺フ致シタイノハ、此ノ際此ノ減石率ヲ百石、或ハ二百石シカ造ラナイヤウナ小釀造家ニ對シマシテハ、減石ヲシナイト云フ率ヲ設ケマシテ、サウシテ大釀造家ニハ累進率ヲ以テ減石ヲスルト云フ風ニスルコトガ、ドウシテモ妥當ナル方針デハナイカト考ヘザルヲ得ナイノデアリマスガ、大藏省ト致シマシテハ、酒造組合聯合會ニ對シテ減石ノ方針ヲ委セナイデ、大藏省自身ガ之ヲ立

案シマシテ、社會正義ニ合致スル減石ノ方法ニスルコトガ、當然デハナイカト思ヒマス、之ニ對シテ大藏省ノ是カラ執ツテ行キタイト云フ方針ヲ承リタイト思フノデアリマス

○大矢政府委員 清酒ノ生産制限ハ、業者ノ自治的統制ニ依ツテ居ルト云フコトハ、前ニ申上ゲタ通りデアリマス、ソレデ自治的統制ヲ致ス場合ニ、大酒造家ノ意思ノミガ強ク働イテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、色々ノ見方モアラウト存ジマスケレドモ、私ハ必ズシモ其ノヤウニハナツテ居ナイモノト存ジマス、百石造ツテ居ル酒屋ニ付キマシテ二十石認メルト云フト、二割ダケ制限ガ緩和サレテ居ル、二百石ノ酒屋ニ對シテハ一割ダケ制限ガ緩和サレテ居ル、斯ウ云フ次第デゴザイマス、此ノ程度デ果シテ十分カドウカト云フコトニ付キマシテモ、色々御見解ガアルト存ジマスケレドモ、大體關係業者度々ノ協議ノ末ニ、先ヅ此ノ程度デ宜カラウト云フコトデ決議サレマシテ、私共モ此ノ際トシテ先ヅ適當デハナカラウカ、斯ウ存ジタ次第デゴザイマス

○伊藤委員 主稅局長ハ酒造業者ノ現狀ヲ知ラナイノデアリマス、私ノ所ニ來タ色々ノ報告ニ依リマスナラバ、百五十石以下ノ製造デハ到底採算ガ合ハナイノデアリマス、ソレデ皆百五十石以下ノ酒造業者ハ、殆ドモウ塗炭ノ苦ミヲ嘗メテ居ルヤウナ現狀デアリマス、サウシテ大釀造家ガケガ旨イ汁ヲ吸ヒマシテ、先程石井サング御述ニナツタヤウニ、大釀造家ガ自分ニ割宛テラレタル酒ノ釀造ノ權利ヲ、高價ナル値段デ他ニ賣ツテ居ルト云フ現狀デアリマス、此ノ現

狀カラ考ヘマシテモ、何トカシテ大藏當局ガ手ヲ入レテ、合理的ナ累進的ナ減石率ヲ定メルト云フコトガ、當然デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、此ノ際主稅局長ハ百尺竿頭一步ヲ進メマシテ、減石率ハ大藏省デ果進的ニヤルト云フコトヲ言明セラレンコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス

○大矢政府委員 現在ノ生産統制モ、小規模ノ製造者ニ對シマシテハ、制限ガ緩和サレテ居リマシテ、其ノ意味ニ於キマシテハ累進的ニナツテ居ルト思ヒマス、唯其ノ程度ニ於テ私共ノ考ヘル所ト、多少相違スルコトガアルカト思ヒマス、一ツノ意見ト致シマシテ十分伺ツテ置キマス

○堀切委員長 武田君ガソレヨリ先ニ發言ガアリマシタカラ武田君

○武田委員 私モ此ノ酒造稅ノコトニ付テ二三御同致シタイト思ヒマス、先程合成酒ノ御話ガアリマシタガ、主稅局長ノ御意見デハ、清酒ヲ制限シテ其ノ不足ヲ合成酒デハ、成ベク補ハセルヤウナ方針デアルト云フヤウナ意味ノ御話デアリマシタガ、是ハ御尤モノ事デアラウト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於テ制限シテ居リマシテ、市場ガ品不足ノコトデアリマスカラ、ソレヲ補充スル途ヲ講ジナケレバナラヌコトハ當然デアリマスガ、合成酒ハ製造ヲ希望者ガアレバ、從來ノ許可ノ範圍ヲ成ベク緩ヤカニシテ擴メルト云フヤウナ單純ナ意味デスカ、或ハ約半分ニ清酒ノ製造ヲ制限シタ結果、非常ニ品不足ニナル譯デアルカラ、ドノ位合成酒ヲ製造セシメテ之ヲ補フノカ、何カ計畫的ナ御考ガアルノデアリマスガ、ソレトモウ一ツハ近時清酒ノ不足ニ乗ジマシテ、非常ニ割水ヲ澤山シテ居ルコトガ一般ノヤウ

デアリマスルガ、其ノ割水ニ付テハ大藏省トシテハ何等ノ制限モ加ヘナイ見込デアリマス、カ、ドウデアリマス、カ、要スルニ政府ノ強制手段ヲ以テ製造ヲ半額ニシテシマフト云フコトデアレバ、其ノ供給ガ著シク減ズルコトハ當然デアリマス、カ、其ノ供給ヲ補充スルノ途ヲドウシテ講ゼラレハ、アリマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイと思ヒマス

○大矢政府委員 米ノ問題カラ致シマシテ、清酒ノ製造高ガ思切ツテ制限ヲ受ケナケレバナラヌ状態ニアリマス、コトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトカト存ジマス、是ガ對策ト致シマシテハ、需要方面ト供給方面トノ兩方カラ考ヘナケレバナラヌカト存ジマス、ソレデ消費方面ニ於キマシテモ、料理屋等ニ於キマシテ、比較的贅澤ニ使ハレル方面ニ對スル供給ハ、出來ルダケ制限スル方法ヲ執ツテ、業者ニ對シマシテモ、出來ルダケサウ云フコトニ努力スルヤウニシテ居ルノガ一點デアリマス、ソレカラ供給ニ付キマシテハ、合成酒ノ如キモノヲ造ツテ、出來ルダケ酒不足ヲ緩和スルコトヲ考ヘテ行キタイト存ジテ居リマス、此ハ合成酒ノ製造ニ於キマシテモ、御承知ノ通り酒精或ハ燒酎ガ、其ノ大キナ要素ヲ成スノデアリマス、是ノ原料モ亦國內的ニ非常ニ不足シテ居ルノデアリマス、直チニ合成酒ニ轉換シ得ル途ヲ開イタラ、ソレデ造リ得ルカト云フト、是モ亦直グニ參ラヌ事情ガアルノデアリマス、是ハ供給ノ方途ニ付テモ、色々今具體的ニ考究ヲ重ネテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ割水ノ問題デアリマス、是ハ確ニ去年ノ暮時分カラ、隨分市中ニ相當割水ノ量ノ多イモノガ出テ居リマシ

テ、是ハ保健衛生ノ關係カラ致シマシテモ亦酒價ノ公定ノ點カラ見マシテモ、色々憂フベキ點ガアリマス、ソレ、十分ニ取締ツテ行キタイト存ジテ居リマス、カ、關係業者ノ方面ニ於キマシテモ、十分此ノ點ハ自覺致シマシテ、最近製造元カラ出テ行ク酒類ニ付テハ、酒精度ヲ限定致シマシテ、或ル程度以下ノ酒ハ絕對ニ供給ヲシナイト云フ申合セハ、略、出來テ居ルヤウデゴザイマス、稅務當局ト致シマシテモ、隨時市中ノ販賣酒ニ付キマシテ検査致シマシテ、是等ノ不都合ノナイヤウニスル方針デ進ンデ居リマス、一面ハ經濟警察側ノ方面ノ關係スル所ガアリマス、稅務ノ取締リ以外ニ於キマシテ、又警察ノ方面ニ於テ十分ニ取締ツテ貰フヤウニ、連絡ヲ取りツツアル次第デゴザイマス

○武田委員 只今主稅局長ノ御説ヲ承ルト、製造額ハ半分ニナツテモ、ソレヲ補充スルノ途トシテ、合成酒ヲ成ベク其ノ方ヘ向ケタイケレドモ、合成酒ノ原料「アルコール」ガ十分デナイカラ十分ニ行カス、割水モ或ル程度ノ「アルコール」分ヲ定メテ、餘リ餘計ニ割水ヲシタ惡イ酒ハ、市中ニ賣ラセナイヤウニシタイ、斯ウデアレバ結局スル所、供給ハ到底増加スル途ガナイト云フ結論ニナルト思ヒマス、唯料理屋方面ナドニハ成ベク供給ヲ制限スルヤウニシヨウト云フコトデアルガ、ソレハドウ云フ方法デ制限サレハ、酒造業者ニ何カ販賣會社デモ作ラセ、石炭ナドト同ジク共販會社デモ作ツテ、統制命令ヲ大藏省ナリ商工省カラ御出シナルト云フヤウナ計畫デモアルノデゴザイマセウカ、然ラズンバ、業者ニ於テ何處ヘハ賣ル、何處ヘハ

賣ラヌト云フ統制命令ガ發セラレヤウナコトガ適當ニ行ク譯デハナイノデアリマス、或ハ手心デオヤリニナツテ居ルノデハアリマス、マイカ、私最近——最近デハナイ、モウ去年ノ暮邊リカラ頻々トシテサウ云フコトヲ聞クノデアリマス、政府デ公定相場ヲ決メラレケレドモ、東京ノ料理屋ハ田舎ヘ酒ヲ賣出シニ行キマシテ、田舎デ卸賣二圓ノモノ、其ノ倍額ノ四圓ヲ出ス、二圓五十錢ト云ヘバ五圓出シテ、東京ノ大キナ料理屋ガ田舎カラ酒ヲ買ツテ居ル、一昨日、昨日ノ委員會デモ酒相場ノ問題ガアリマシタガ、酒ノ相場場ニ至ツテハ最モ甚シイノデアリマス、又外ノ方デハ生産ヲ政府ガ極力獎勵サレテ進ンデ居ルヤウデアリマス、酒ハ政府ノ手デ制限サレテ居ルノデアツテ、其ノ供給ノ途ヲ講ゼラレテ居ラスノデスカラ、是ハ酒相場場ガ出ルノハ當然デハナイカト思ヒマス、此ノ政府ノ制限ニ依ツテノ供給不足ニ對スル酒相場場、如何ニシテ根絶スルカト云フコトニ付テ考ヘラレテ居ルカ、此ノ甚シキ酒相場場ノ簇出スル状態ヲ、ドウ云フ工合ニ御取締ニナル積リデアリマス、其ノ點ニ付テハ大藏省ノ御意向ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○堀切委員長 承知致シマシタ、實ハ昨日カラ之ヲ委員長モ感ジテ居ルノデスカ、今日ハ石井君ヨリ要求ノ總理大臣、大藏大臣、農林大臣、內務大臣ハ何レモ來ラレナイノデ、事務的ノ御質問ヲサツテ居ラツシヤルノデスカ、是モ餘リ事務的ノ御質問ヲ先ニヤリタクナササウニ私ハ考ヘマシタノデ、大臣ハ居ラツシヤルマデ、關係事項ニ依ツテ質問ヲ繼續シテ行ツタ方ガ宜イデハナイカト思ツテ、左様ニ取ツタ次第デアリマス、併シ成ベク關係事項モ餘事ニ互ラスヤウニ、御注意願ヒタイと思ヒマス、ソレカラ餘リニ質問ガ單純ニナリ、ダレデモイケマセヌカラ、時々關係事項デ發言ガアレバ皆活氣ヲ呈シテ來ルト云フコトデ、一寸オ酒ノ頂戴スレバ元氣ガ付クヤウニ、關係事項モ其ノ通りト思ヒマス、適當ニ委員長ニ於テ處理致シタイト思ヒマス、併シ餘リ無暗ニヤラレテハ困リマス

○中島委員 議事進行ニ付テ……關係事項ガ非常ニ多イヤウデアリマス、稅ハ全部關聯シテ居リマス、今ノ伊藤君ノ問題ハ造石高ヲ一律一體ニ制限スルノハ、大キナ資本家ニハ宜イガ、小サイ資本家ニハイカヌデヤナイカト云フノデ、其ノ點ニ關聯スルノハ宜イガ、酒相場ノ問題トカ、其ノ他皆關聯シテ居ルノデスカ、關係事項ハ成ベク許サヌヤウニシテ戴キタイ、サウシテ自分ノ番ガ來タ時ヤルヤウニ御願致シマス

○板谷委員 石井君ノ問題ニ對スル主稅局長ノ答辯ハ、甚ダ不得要領デアリマス、私ハ此ノ點ニ付テ一ツ伺ヒタイノデアリマス、只今主稅局長ハ酒ノ問題ニ付テハ中央聯合會ガ、自治的ニヤルト云フ御話ガアルノデアリマス、併シ大藏省ハ監督シテ居ツテ内相談ヲシテ居ルデアリマセヌカ、私ハ近頃酒ノ權利ノ賣買ノ話ヲ聞イテ見マスト、四割八分ノ節減以前ノ一石ノ相場ハ最高百五十圓、四割八分減サレト云フコトニナルト、現在ニ於テ權利ノ賣買ハ三百圓デアリマス、所ガ今伊藤君ノ御話ノヤウニ、中央聯合會ト云フモノハ五千石、一万石ト云フ大キナ酒屋ガ寄ツテ、彼等ガ獨占的ニ色々ナ處置ヲ執ツテ居ル、デアルカラシテ今ノ状態ニ任シテ置イタラバ、中小

來タ時ヤルヤウニ御願致シマス

ノ酒屋ト云フモノハ段々商賣ガヤレナクナル、伊藤君ノ、今若シ減石スルナラバ大キナモノト中小ノモノトノ關係ニ於テハ、中小ノモノガ生キルヤウニ、割合ニ大キナモノヲ多ク減ズヤウニヤラセルノガ當然デヤナイカト云フ質問ニ對シ、アナタノ答辯ガ要領ヲ得ナイノデアリマス、之ヲモツトハツキリ御答願ヒマス

○大矢政府委員 此ノ度ノ清酒造石高ノ制限ハ、隨分ヒドイモノデアリコトハ全ク仰セノ通りデアリマス、隨ヒマシテ之ニ善處スルニ付キマシテハ、相當私共モ色々心配ヲシタゾデアリマス、先程モ申シマシタ通り、營業者ノ自治的統制ニ任セ放シニシテ居ル譯デハアリマセス、私共十分自分等ノ考ノアル所モ傳ヘマシテ、ソレモ或ル程度反映シテ實ツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス、要スルニ程度ノ問題ニ付テ、色々見方ノ相違ガアルカト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ、今後私共モ只今ノ御意見ハ十分考慮シテ見タイ、斯ウ存ジテ居リマス

○板谷委員 此ノ問題ニ付テハ私ハ昨日來甚ダ不公平デアルト云フコトヲアナタニ質問シテ居ル、アナタハ自治的ニ任シテ居ルト云フコトデアアルガ、大藏省ニモ責任ガアルノデアリマセスカ、若シサウ云フ御考デアルナラバ、四割八分モ節減サレル此ノ時代ニ於テ、所謂大キナモノト中小ノモノノ均衡ノ取レルヤウニ、此ノ際至急御直シニナツタラ如何デス

○大矢政府委員 私ハ現在ノモノハサウ著シク不均衡トハ考ヘテ居リマセス、ソレカラ今度ノ生産統制ニ依リマシテ全國ノ中小ノ製造家ガバタ／＼倒レテ行クヤウナ事態ガアレバ、是ハ棄テテ置カレマセス、十分考ヘ

ナケレバナラナイト存ズルデアリマス、大體私ハ今回ノ業者ノ自治的統制其ノモノハ先ヅ今日ノ事態トシテハ已ムヲ得ザル所デアラウト存ジテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ先程ノ武田サンノ御質疑ニ對シテ御答致シテ置キマス、此ノヤウナ統制ヲ致シ、之ヲ實行シテ行ク場合ニ於テハ、ヤハリ十分ニ官民相互協力シテ行カナケレバナラスカト存ズルデアリマス、ソレデ料理屋方面ニ對スル供給ヲドウシテ制限スルカ、或ハ又中央カラ地方ノ酒屋ヘ直接出掛ケテ行ツテ、多額ノ金出ヲシテ酒ヲ買ツテ來ル、斯ウ云フ弊害ガ全國到處ニ認メラレルガ、ソレヲドウシテ防止シテ行クノカト云フ御尋デゴザイマシタガ、確ニサウ云フ弊害モアリマスノデ、最近業者ニ於テモ十分此ノ點ハ注意致シマシテ、既往三箇年以上繼續シテ堅實ナル取引ヲ爲セル向キニ對シテハ、其ノ三年ノ平均數量又ハ最近ノ實績ニ應ジテ、昭和十五年三月三十一日ヨリ昭和十六年一月末マデニ優先的ニ配給スルト云フコトニ致シマシテ、途中カラ新規ノ者ガ飛出シテ來テ取引ヲ攪亂シテ、一部大都市方面ノ釐澤ヲ消費ノ方ニ向ケルヤウナコトヲ、防止シヨウト云フコトモ考ヘテ居ルヤウデアリマス、供給スル場合ニ當リマシテモ、例ヘバ軍ノ需要、或ハ鑛山方面、勞働組合、漁業組合等特ニ遠洋漁業ニ出ル方面ニ對シマシテハ、優先的ニ供給スルヤウニ考慮シヨウト云フコトモ考ヘテ居ルヤウデアリマス、先程御話シテ合成清酒ノ供給ト云フコトモ、將來若シ具體策ガ出來上ツテ、相當數量供給シ得ル途ガ付キマシタナラバ、此ノ酒ノ供給ノ順序等モ考慮シテ、最モ必要トスル方面ニハ、優先的ニ配給スル途ヲ考

ヘタイト存ジテ居リマス

○川崎(克)委員 今質疑應答セラレテ居ル問題ニ對シテ政府委員ノ御答辯デハ、ハツキリ徹底シナイノデ委員ハ悉ク不満足デアツタト思ヒマス、ソレデ此ノ問題ハ大藏大臣カラ御答辯ヲ願フ方ガ宜イト思ヒマスガ、大藏大臣モ咄嗟ニ今此處デ御返事ヲ願ヘルカドウカ分リマセスガ、大藏大臣ハ今オ出デニナツタバカリデアリマスガ、今此處ニ起ツテ居ル問題ハ、酒ノ造石高ヲ四割八分減ヲ致シマシタ結果トシテ、大體ハ一率ニ減ラシタ、ソレデ千石釀造スル者モ百石釀造スル者モ同ジヤウニ減ラシタノカ、特ニ百石ノ所ダケハ限外二十石ト云フコトニシテ二割増シテヤツテ居リマス、茲ニ等差ハ付ケテアルトハ言ヒマスケレドモ、ソレナラバ二百石、三百石ニナレバ殆ド等差ガ付カナイコトニナツテ來ル、是ハ果進的ニ上ノ方ノモノデ、モウ少シ減ラシテ、下ノ方ノ百石、二百石ト云フヤウナ所ニ對シテハ、餘リ減石シナイヤウニシテヤラナケレバイカスデハナイカト云フヤウナ質問ガ起ツテ居ル譯デアリマス、此ノ質問ノ要旨ハ相當重大ナ問題デ、此ノ減石ノ結果カラ來ル權利賣買ハ、一石百五十圓ト云フモノガ三百圓以上ニナツテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマスカラ、是非非常ニ重大ナ問題ダト思ヒマスノデ、政府委員ノ御答辯ノ、ソコハ研究シテ見ルトカ、考ヘテ見ルトガ、注意ヲシテ見ルトカ云フヤウナコトデハ満足出來マセスカラ、ソコハハツキリ突進シデ、大藏大臣ハ何等カ之ニ對シテ委員ノ満足出來ルヤウナ御答辯ヲ願ヒタイ、其ノ意味デ私關聯質問ヲ致スノデアリマス

○石井委員 只今ノ川崎君ノ質問ハ私ノ質問シ、私ノ申上ゲタコトニ對スル關聯質問デアリマスカラ、私ノ氣持ヲモウ少シハツキリ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、サウシテ若シ大藏大臣ノ御答辯ガアルナラバ、ソレモ併セテ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス、只今大藏大臣御不在デアリマシタケレドモ、私ガ申上ゲタノハ、造石制限ヲ唯機械的ニ算盤的ニ一率ニヤルコトハドウカ、其ノ結果トシテ遂ニ權利ノ賣買ガ、非常ニ驚クベキ高イ相場ヲ以テ行ハレルヤウニナリ、結局サウシタ人ノ權利ヲ擁護スルコトハ、國家ノ統制ヲ以テ遊ンデ居ル人ノ權利ヲ擁護スルト云フ結果ニナルノデアリナイカ、統制ハ唯機械的ニ算盤的ニスベキモノデハナイト云フ質問ヲ申上ゲタノニ關聯シテ、只今ノ質問ガアツタノデアリマス、他ノ委員ノ御意見モ同様デアツタト思ヒマスガ、勿論大キイ所、小サイ所ト云フヤウナモノヲ考慮スル必要ガアリマセウガ、同時ニ其酒造家ノ販賣能力、其ノ地方ノ需要供給ト云フヤウナコトヲ相當御考ニナツテ、此ノ統制ヲオヤリニナル必要ガアルダラウト思ヒマス、然ラザレバ唯徒ニ休ム人々ノ權利ヲ擁護シテヤルヤウニナリ、勉強スル優良酒造家ハ苦シミ、遊ブ人ハ非常ナル權利ヲ持ツテ、自分達ノ從前ノ造石權利ヲ賣買シテ、其ノ人達ガ唯擁護サレル、斯ウ云フヤウナ結果ヲ招來スルダケダト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスカラ、サウ云フ積リデ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 今年ノ統制ノ實情ダケ、私カラ一寸御説明申上ゲタイト思ヒマス、先程來大小一律ニ四割八分減石ト云フコトハ不都合デヤナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマシタガ、昨年マデノ統制ニ於テハ、一

律ト云フコトヲ一應原則ト致シマシテ、一千石以下ノ釀造家ニ對シテハ其ノ制限以外ニ十石別ニ造ルコトヲ認メルト云フコトヲ參ツタノデアリマス、所デ今年ハ此ノ十石ト云フ制限外ヲ、二十石ニ致シマシテ、統制歩合モ強化サレマシテ、千石以下ノモノハ千石ノ統制歩合以外ニ二十石ダケ造ツテ宜イコトニナツタノデアリマス、其ノ結果トシテ百石ノ酒屋ハ四割八分減石ノ統制ハ實ハ二割八分、二百石ノ酒屋ハ三割八分、三百石ノ酒屋ハ四割一分四厘ト云フヤウニ程度ハ非常ニ少ウゴザイマスガ、累進的ニ相成ツテ居リマス

ソレカラモウ一ツ、此ノ二十石ノ制限外製造ノ外ニ、組合長方適當ト認ムル場合ハ、其ノ組合内ノ配分石數ノ百分ノ一以內ニ於テ、特別ノ事情ガアルト認メラルル者ニ對シ適當石數ノ増石ヲ認メルコトガ出來ルト云フ規定ガゴザイマシテ、而モ此ノ特別ナ規定ヲ適用セラルル者ハ、六百石以下ノ小酒造家ニ限ルト云フ緩和規定モアル譯デアリマス、サウシテ一率ニ統制スルト云フコトニ對スル緩和規定ハ、此ノ二ツヲ以テヤルコトニ相成ツテ居リマシテ、千石以下ノモノハ多少デハアリマスガ、累進的ニナツテ居リ、其ノ割合ハ一率デハナイト云フ恰好ニナツテ居リマス、ソレカラ千石以上ノ酒屋ニ對スル率ヲ非常ニ大キクシテ、之ヲ千石以下ノ所ヘウント持ツテ行ケルカドウカト云フ問題ハ、實際問題トシテハ千石以上ノ釀造家ハ非常ニ數ガ少ク、千石以下ノモノガ非常ニ多イノデアリマス、七千軒位ノ中六千軒位ハ千石以下ト云フ實情デアリマスガ爲ニ、歩合ヲ變ヘマシテ、千石以上ノ酒屋ニ減石歩合ヲ非常ニ多ク致シマシテモ、

ソレガ下ノ方ノ皆ニ制當デマス際ニハ、極ク僅カシカ當ラヌト云フ實情ニアルコトモ、一ツ御諒承願ヒタイト思ヒマス、統制制限ノ實際ハ今年ハ只今申シタヤウニ相成ツテ居リマス

○櫻内國務大臣 大要承リマシタノデゴザイマスガ、御意見ノ在ル所、私大イニ考慮シナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマス、今實際ニ行ツテ居リマス所ハ、政府委員カラ申述ベマシタ通り、極メテ少額ノ酒ヲ造ツテ居ル人々ニ對シテノ緩和ガ、餘リニ少イヤウナ感じガ致スノデアリマス、是ハ第一、酒造組合中央會デアリマスカ、其ノ方ト話合ヒマシテ、大體ハ自治的ニヤツテ戴イテ、大藏省ノ意向ヲ參酌シテ其ノ方決定シタモノデアル、斯様ニ存ジテ居リマス、御意見ハ私洵ニ理由アルヤウニ考ヘマスガ、果シテ之ヲ再檢討シテ今變更スルコトガ出來得ルヤ否ヤ、其ノ點ニ付キマシテハ能ク分リマセヌノデ、一應考慮致シマシタ上、適當ナ御返事ヲ申上ゲタイト思ツテ居リマス

○石井委員 サウシマス、酒造稅ニ關スル問題ハ、此ノ程度ニ致シテ置キマス
次ニ本題デアリマス特別法人稅ニ付キマシテ御伺申上ゲマス、御承知ノ通りニ從來特別法人ト稱セラレル産業組合デアリマス、非課稅ノ行爲デアルト云フコトデ、是ハモウ既ニ萬人認メテ居ル行爲デアリマス、ソレガ今回課稅サレルコトニ相成ツタノデアリマスガ故ニ、隨テ是等ノ關係者ハ根本的ノ觀念ガ變改サレルノデハナイカ、斯ウ云フコトニ對シマシテ少カラズ憂慮致シテ居ル、隨テ政府ト致シマシテハ、此ノ特別法人稅ヲ課スルト云フコトニ對シマシテ、國民ノ

納得ノ參リマス理論ノ提供ガ必要ダト考ヘルノデアリマス、唯時局ダト言フ、勿論時局ハ重シゼネバナリマセヌ、時局ニ對スル考ハソレ等ノ人達モ勿論アルノデアリマスガ、唯時局デアアル、時局財政ニ分擔サセルノダト云フヤウナ、唯愛國心或ハ至誠ニ懇ヘテ獻金ヲサセルヤウナコトデハイカヌト私ハ考ヘルノデアリマス、隨テ今マデ非課稅ノモノデアツタケレドモ、此ノ際ハ斯ウ云フ風ニ課稅スルノダト云フコトニ付キマシテハ、私ハソコニ相當理論ノ提示ガ必要ダト考ヘマス、之ニ付キマシテ大藏大臣ヨリ御伺致シタイト考ヘルノデアリマス

ソレカラ尙ホ御答辯ニナルコトニ付キマシテ、私ヨリ申上ゲテ置キタイト考ヘマスガ、大藏大臣ハ此ノ特別法人稅ヲ設置セラルルニ當リマシテ「時局ニ應ミ當分ノ内應分ノ負擔ヲ爲サシムル」斯ウ云フ風ニ説明サレテ居ルノデアリマス、ソレデ私先ヅ知リタイト考ヘマスノハ、「時局ニ應ミ」ト云フノハドウフ意味デアルカト云フ問題デアリマス、更ニ又「當分ノ内」トハドウ云フコトデアアルカト云フ問題デアリマスガ、先ヅ此ノ點ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 特別法人稅課稅ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ一兩度答辯ヲ致シタノデアリマスガ、特別法人本來ノ使命ノ上カラ申シマシテ、之ニ課稅ヲ致ス事柄ハ成ベク避クベキモノデアルト致シマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ御意見ノ在ル所ト、私大シタ違ツタ意見ヲ持ツテ居リマセヌ、唯此ノ度特別法人稅ヲ設置致シマシタノハ、御承知ノ如ク支那事變ニ際シテ、總テノ方面ニ非常ナ多額ノ増稅ヲ負擔シテ戴ク際ニ、特別法人ト雖モ剩餘金ガ

アツテ餘力ガアル場合ニ於テハ、即チ一部ノ負擔ニ任ジテ貰フト云フ事柄ハ、必ズシモ不都合ナイト考ヘマスノミナラズ、特別法人デアリマシテモ一面ニハ公共的機關デアリマス同時ニ、一面ニ又私經濟的關係ノコトモアルノデアリマシテ、即チ一種ノ出資團體デアリ、殊ニ今回ノ稅ノ目標ト致シテ居リマスノハ、産業組合其ノ他ガ取扱フ數量ニ應ジテ分配致スモノハ別デアリマシテ、其ノ團體ニ殘リマシタ剩餘金ガ三分以上ノ場合ニ於テノ課稅ノデアリマシテ、其ノ點ニ於キマシテ先ヅ本案ノ如キモ不都合ノモノデハナイト云フ見地カラ、提案ヲ致シタヤウナ譯デアリマス、ソレカラ「當分ノ内」ト云フ言葉ハ此ノ支那事變ヲモ意味シマスガ、同時ニ現在ノ財政ノ狀態ガ非常ナ窮乏シタ狀態ヲモ意味スルノデアリマシテ、即チ一面ニ於テ支那事變ガ終熄致シ、若クハ財政上餘地ガ出來タ時、斯ウ云フ場合マデ意味スルト御承知願ヒタイト思ヒマス

○石井委員 前段ノ御説明ハ大體ニ於テ私諒ト致シマスガ「當分ノ内」ト云フ問題ニ付テハ極メテ曖昧デアリマスシ、私共分ラヌノデアリマス、成程支那事變ニ對シマシテ、國民ガ一致シテソレニ協力セネバナラヌト云フ問題ニ付テハ、直チニ合點ガ行クノデアリマスガ、ソレカラ後一體ニ何時マデヲ意味スルモノデアアルカト云フコトニ付テハ、只今ノ大臣ノ御説明デハサツパリ分ラヌノデアリマス、結局ハ永久ノモノデハナイカ、斯ウ云フ解釋モ付クノデアリマス、又或ル時期ガ來レバ止メラレルデアラウ、斯ウ云フヤウナコトニモナルノデアリマスカラ、將來ニ於テハ或ハ變動ガアルカモ存

ジマセヌケレドモ、少クトモ現在大臣ノ御考ニナツテ居ル當分ノ内ト云フノハ、ドウ云フコトヲ意味スルモノデアルカ、之ヲ一ツハツキリ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 勿論支那事變ト云フ問題モ重要ナル問題デアリマシテ、支那事變ト云フコトハ勿論含マレテ居リマスガ、同時ニ多少デモ減税ノ出來得ル機會ガ參リマスレバ、先ヅ一番最初ニソレヲ廢止スル、斯ウ云フ風ナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス

○石井委員 サウシマス「當分ノ内」ト云フノハ減税ノ出來ル時期、斯ウ云フヤウニ解釋シテモ宜イノデゴザイマスカ、サウ云フヤウナ意味ニ仰シヤツタノデスカ

○櫻内國務大臣 多少デモ減税ヲ爲シ得ル場合ガ起キマシタラバ、直チニ是ハ廢止致スベキモノト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石井委員 私ハサウ云フコトハ甚ダ怪シカラスコトデヤナイカト實ハ考ヘルノデアリマス、當分ノ内ト云フノハ、大體常識カ

ラ考ヘルト事變中デアルトカ、戰時中デアルトカ、斯ウ云フ風ニ普通解釋スルノデヤナイカト考ヘマスルガ、詰リ曖昧ニシテ行ツテ之ヲ永久ノモノニシヨウト云フ心持ガアルンデヤナイカ、斯ウ云フコトガ今ノ御説明ノ中ニ含マレテ居ルヤウニ聞エルノデアリマス、例ヘバ多少デモ減税ヲスルヤウナ時期ガ來レバ、之ヲ廢止スルノデアアル、サウ云フ風ニ仰シヤラレルト、減税ノ時期ガ來ネバ何時マデモ取ラレル、斯ウ云フコトニナルヤウデアリマス、ソレカラ時局ニ顧ミ云々ト云フ前置ノ言葉カラ考ヘテ見マシテモ、此ノ減税ノ時期ガ來レバスルノダト云フヤウナコトデハ、其ノ邊ガ餘リ前後撞著スルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、モウ

少シ御説明願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 産業組合其ノ他ニ對シマシテハ、原則トシテハ免稅ヲスルコトニハツテ居ルノデアリマスガ、此ノ特別稅何ト廢止スルカ、即チ支那事變ガ終熄シタラ直チニ廢止スル考カ、斯ウ云フ風ナ御質問ト思ヒマスガ、要スルニ財政上非常ナ經費ノ要リマス場合ニ於テ、ヤハリ特別法人ニモ負擔シテ貰フノデアリマシテ、從來モ例ヘバ昭和六年等ニ於キマシテハ、色々ナモノヲ減稅致シマシタガ、サウ云フ減稅ヲシ得ルヤウニナツテ、此ノ特別法人稅ニ俟タナクトモ宜シイト云フ場合ガ來レバ、先ヅ第一番ニ此ノ稅ハ廢シテシマフベキ性質ノモノデ、根本方針トシテハ稅ヲ取ラナイノガ本旨デアリマシテ、是ハ特別ニ取ツテ居ルノデアリマスカラ、出來ルダケ早クサウ云フ機會ガ來マシタラバ、此ノ稅ハ廢止スルヤウニ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

○中島委員 ソレニ關聯シテ伺ヒマス、藏相ノ御説明ニ依リマス、特別法人稅ハ支那事變ガ終了シ、減稅ガ出來ル場合ト云フヤウニ當分ノ内ヲ解釋サレテ居ルノデアリマスガ、大藏省ノ此ノ前出サレマシタ臨時資金調整法ノ中ニモ當分ノ内ト書イテアル、是ハ前買屋藏相ガ、當分ノ内ト云フコトハ大體ニ於テ支那事變終了、即チ支那ニ於ケル作戰行動ガ濟ンダ後一年マデト云フ意味デ、臨時的ノモノニ扱ツテ居ルノデアリマスガ、歲入ヲ見マスト特別法人稅ハ經常部ニ入ツテ居リマス、サウスルト、今藏相ガ御答ニナツタヤウナ工合ナラバ、是ハ臨時部ヘ入レナケレバイカスト云フヤウニ私共ハ感ズルノデスカ、歲入ハ經常部ヘ入

レルトナツテ居ル、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 此ノ特別法人稅ガ、若シ期間ガ切ツテアリマスト云フト、臨時部ニ入レテ然ルベキト思ヒマスガ、期間ガ切ツテアリマセヌカラ、普通ノ歲入ニ入レタ譯デアリマス

○中島委員 臨時利得稅ハ期限ガ切ツテナイケレドモ、臨時部ニ入ツテ居リ、特別法人稅ハ期限ガ切ツテナイ、ソレガ經常部ニ入ツテ居ル、是ハヲカシイト思フ

○櫻内國務大臣 臨時利得稅ノ方ハ切ツテアルト考ヘマス

○中島委員 大藏省ガ當分ノ内ト書イテアルモノデ、臨時資金調整法デハ期限ガ切ツテナイガ、ヤハリ臨時部ニ扱ツテ居ル、昨年ノ議會ニ於テ支那ニ於ケル作戰行動ガ濟ンダ時、サウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、當分ト云フ意味ヲ同ジク稅法ニ於テ違ヘテ居ルコトハ、ヲカシイト思ヒマス、同ジ大藏省カラ出タモノハ一律一體ニスベキモノデハナイカト思フ、今ノヤウニ言ヘバドウシテモ臨時部ノヤウニ解釋サレマスガ、歲入ノ方ハ經常部ヘ入レテアルカラ、農林省ト大藏省ト妥協シテ、已ムヲ得ズ當分ト云フコトヲ付ケタノデハナイデスカ

○櫻内國務大臣 私ハハツキリ記憶シテ居リマセヌケレドモ、臨時利得稅ノ中ニハ、期限ガ切ツテアツタト思ヒマスガ、是ハ政府委員カラ申上ゲマス

○大矢政府委員 臨時利得稅法ニ於キマシテハ「本法ニ依ル臨時利得稅ノ賦課ハ法人ニ付テハ支那事變終了ノ年ノ翌年十二月三十一日迄ニ終了スル事業年度分限リ、個人ノ甲種利得又ハ乙種利得ニ付テハ支那事變終了ノ年ノ翌年分限リ、讓渡利得ニ付テハ支

那事變終了ノ年ノ翌年十二月三十一日迄ノ讓渡ニ因リ利得ニ對スル分限リトス」トアリマス

○中島委員 支那事變終了ト云フコトヲ、柳川興亞院長官ニ聽イタラ、餘程曖昧ナモノデアリマシテ、相當ニハ永久ナヤウニ答辯サレタノデスカ、サウスルト、ソレカラ先一年ト言ウタ所ガ、支那事變終了ト云フコトガ、既ニ半永久ナモノノダカラ、半永久ナモノノヘ一年付ケタダケノ話デアリマシテ、是ハ同ジコトダト思ヒマス、臨時利得稅ト云フノハ當分ノ内ト書イテモ書カナクテモ同ジコトデアアル、サウナツテ來ルト同ジ性質ノモノト私共解釋スル、支那事變ト云フモノノ自體ガ半永久ナモノノダト云フ御答ガアツタ答デスカ、ソレニ一年付ケテデアリマシテモ其ノ一年ガ意味ヲ成サナイ、切リガナイト同ジデアアル、其ノ點曖昧ニシテ置カナイデハツキリシテ見タラドウカ

○大矢政府委員 ソレハ結局時日ガ解決スル問題ダト存ジマス、法制的ニハ臨時利得稅ハ期限ガ切ツテアル、ソレカラ特別法人稅ハ期限ハ切ツテナイ、隨テ歲入豫算ヲ計上スル場合ニ、一方ハ歲入ヲ臨時部ニ計上シ、片方ハ經常部ニ計上シタ、斯ウ云フ次第デゴザイマス

○石井委員 要スルニ其ノ當分ノ内ト云フノハ、今御話ニナリマシタヤウニ、事變中ト云フヤウナ意味デハナイ、斯ウ云フヤウナコトニ解釋シテ宜イ譯デアリマスガ、或ハ又臨時利得稅ノ中ニアルサウシタヤウナモノデモナイ、斯ウ云フヤウニ解釋シテ差支ナイノデアリマスガ

○櫻内國務大臣 御説ノ通りデゴザイマス
○堀切委員長 御説ノ通りト云フト、ドウ

チノ解釋デスカ

○櫻内國務大臣 ヤハリ減稅ノ出來ル場合
マデト云フコトデス

○石井委員 私ノ質問ハ是カラ少シ長クナ
リマスカラ、午前中ハ此ノ位ニシテ……

○堀切委員長 ソレデハ此ノ程度ニシテ、
午後一時十五分カラ再開致シマス

午後零時休憩

午後一時二十分開議

○堀切委員長 ソレデハ開會致シマス――
石井君

○石井委員 更ニ特別法人稅ノ問題ノ續キ
デアリマスガ、午前中ニ於ケル大藏大臣ノ
御答辯ノ中ニ、産業組合等ノ團體ハ出資法
人デアリ、剩餘金ヲ出シ、又出資金ニ對シ
テハ若干ノ配當ヲ致シテ居ル、要スルニ擔
稅力ガアルノダト云フヤウナコトヲ仰セニ
ナツタノデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマ
シテハ、後ヨリ私ユツクリ御尋申上ゲタ
イト思ヒマス、ト同時ニ其ノ本質トシテ
ハ課稅スベカラザルモノトハ考ヘルノダ、
併シナガラ此ノ時局ニ鑑ミテ應分ノ負擔ハ
シテ貰ハナケレバナラスノダ、斯ウ云フ御
説明デアツタノデアリマス、此ノ本質ニ鑑
ミ云々ト云フコトハ、是ハ本日本藏大臣ガ
申サレヌデモ、今マデモ數回ニ互ツテ承ツ
タノデアリマス、隨テ私ハ此ノ際ニハツキ
リ致シテ置キタイト考ヘマスノハ、此ノ政
府ノ御考ヘニナツテ居リマスル産業組合等
ノ協同組合ノ本質ト云フモノハ、ドウ云フ
モノデアルカ、此ノ定義デアリマス、之ヲ
一ツ截然ト承ツテ置キタイト思ヒマス、之
ヲ承リマシタ上ニ私ノ意見ヲ申述ベタイト
考ヘマス

○櫻内國務大臣 産業組合ノ本質ト云フ點
ニ付テデスカ、私ノ信ジテ居ル所ニ依リマ
スト、御承知ノ通り明治三十三年デアリマ
シタカ、アレガ出來タノデスカ、マア他ノ
公共團體モ凡ソ趣旨ハ同ジデアラウト思ヒ
マスガ、要スルニ中小産業者ト云フモノガ、
協同シテ其ノ製品ノ賣捌、若クハ製品ニ要
スル所ノ材料ヲ共同購入ヲシテ、其ノ間ニ
於ケル所謂相互扶助ノ關係ニ於キマシテ、
産業經濟ノ發達ヲ圖ル、サウシテ其ノ各
ノ事業ノ何ト申シマスカ、發達ヲ期スル、
斯ウ云フ風ニ解釋シテ居ルノデアリマス
○石井委員 只今大藏大臣ノ仰セニナリマ
シタ本質論デアリマスガ、ドウモ自分ガ承
ル所ニ依ルト云フ御前提ガニツタヤウデア
リマス、是ハ私是非政府ノ確乎タル所ノ信
念ノ下ニ、之ヲ明瞭ニシテ置キタイト考ヘ
ルノデアリマス、ト申上ルノハ、要スルニ
本質ハ認メルノダ、併シナガラ此ノ時局下
デアルガ故ニ負擔ヲサセルノダ、斯ウ云フ
コトニナツテ居ルノデアリマスルガ故ニ、此
ノ本質ト云フモノヲ明瞭ニ一ツ御聽キ致シ
テ置キタイノデアリマス、同時ニ最近ニ於
キマスル世間ノ情勢ガ、産業組合其ノ他ノ
ヤハリ協同組合モ同様デアリマスルガ、主ト
シテ産業組合ニ對スル所ノ認識ト云フモノ
ガ、又産業組合ニ對スル所ノ考ト云フモノ
ガ、必ズシモ肯綮ニ當ツテ居ナイ、斯様ニ
考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ私産業組合
ニ關係ノ有ル者モ無イ者モ、國民トシテハ
十分ニ把握シテ居ラネバナラスコトダト考
ヘテ居ルノデアリマス、偶、斯ウシタ機會ニ
於キマシテ、大藏大臣トシテデハナク國
務大臣トシテノ櫻内サンカラ、其ノ本質ト
云フモノハ斯ウ云フモノダト云フヤウナ、

ハツキリト認識ヲ深クシテ戴キタイト考ヘ
ルノデアリマス、先程モ申上ゲマシタヤウ
ニ、其ノ御意見ニ依リマシテハ更ニ私ノ意
見モ附加ヘテ見タイト考ヘルノデアリマス、
例ヘバ我國ニ於キマスル所ノ産業組合ハ、
外國ノ産業組合ヲ模倣シテ拵ヘタモノデハ
アリマスルケレドモ、非常ナル所ノ差異ガ
アルノデアリマス、非常ニ違ヒノアルモノ
ダ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯泰
西流ノ産業組合ダト御考ヘニナルト、非常
ニ間違デアルト思フノデアリマス、例ヘバ
營利ノミヲ目的トスルモノデアアル、中小産
業者ノ經濟向上ノ爲ノモノ機關ダ、斯ウ云
フ風ニ端的ニ御考ヘナリマス、非常ニ間
違ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマ
ス、更ニ私ハ突キ進ンデ、斯ウシタ方面ニ
對スル御見解ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス
○堀切委員長 只今ノ御答辯ニ付テ、大藏
大臣ノ御考ヲ總メル間御猶豫ヲ願ツテ、長
野長廣君ヨリ緊急質問ガアルサウデスカラ、
此ノ際之ヲ許シマス

○長野(長)委員 私ハ昨日河野委員ノ御質
問ニ對スル商工大臣ノ御答辯内容ニ關シ、
商工大臣ニ質問ヲ致シ、率直ニ御答辯ヲ承
リタイト存ジマス、昨日商工大臣ハ河野委
員ノ質問ニ對シテ、物資ノ缺乏ニ依ツテ國
民生活ニ益、困難ヲ與ヘルコトハ政治デナ
イ、ソレデ適正價格ヲ設ケテ一面増産ヲ奨
勵スル爲メ、或ル場合若干價格ヲ引上ゲト
言ハレマシテ、更ニ闇相場ヲ絶滅スル爲ニ
モ、或ル程度ノ價格引上ゲニ依リ物資ノ供
給ヲ豐富ニスル必要ガアルト答ヘラレマシ
タ、是デハ低物價政策ノ堅持ト云フコトニ
反スト思フノデアリマス、即チ増産ノ爲
ニ或ル物資ノ價格ヲ引上ゲレバ、其ノ物資
ヲ原料トスルモノハ、當然價格ガ昂騰シ、
又左様デナイモノデモ是ガ騰貴スレバ、國
民生活ノ生計費ニ影響ヲ及ボシ、隨テ九・
一八停止令ニ依ル俸給賃銀ノ引上停止モ、
當然破レルト云フコトニナリ、更ニ生産費
ハ必然的ニ騰貴スルコトナル、斯クシテ
物價ハ一層騰貴スルコト云フ、所謂物價高ノ
惡循環ヲ招來スルコトト思ハレマス、商工
大臣ハ低物價政策ノ堅持ニ付テ、如何ナル根
本方針ヲ持ツテ居ラレルノデアアルカ、一二
ノ特種ナル物資ニ付テ採用スル例外的の方針
デハナク、全般的ナ物價政策ノ具體的の方針
ヲ、率直ニ承リタイノデアリマス

○藤原國務大臣 昨日極ク簡單ニ御答ヲ致
シマシタカラ、自然御質問ノヤウナ御心配
ヲ與ヘテ、再ビサウ云フ御尋ガ出マスコト
ハ洵ニ遺憾デゴザイマスガ、今日ハサウ云
フ譯デアリマスカラシテ、少シ率直ニ且ツ
少シ長クナリマシテ、時間ヲ取リマスコト
ハ恐縮デアリマスケレドモ、モウ少シ詳細
ニ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマスカラ、其
ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

昨日申上ゲマシタノハ適正價格ヲ拵ヘル、
適正價格ヲ作ルト云フト、場合ニ依ツテハ、
今日ノ經濟界ノ狀況ニ依ツテ上ゲナケレバ
ナラス場合モアル、ト云フノハ一面ニハ低
物價政策ヲ堅持シテ行ケレドモ、増産ヲ
必要トスルカラ、其ノ點カラ言ツテ値段ヲ
若干上ゲナケレバナラス、即チ適正價格ノ
結果、値段ヲ引上ゲタルト云フ結果ニナルモ
ノモアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマ
シテ、ソレハ今デモサウ思ツテ居リマス、
併シナガラ又一面ニ於テハ適正價格ノ爲ニ、
物價ヲ引下ゲルモノモ出テ來ル、ソレデア
リマスカラ此ノ適正價格ヲ拵ヘテ、サウシ

テ物價は正シテ行クト云フコトハ、必ズシモ高物價デハナクシテ、即チ低物價政策ヲ破壞シテ行クトカ、ソレガ爲ニ循環的ニ總テノ物價ヲ上ガテ、サウシテ低物價政策ヲ根本的ニ破壞スルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、飽クマデ低物價政策デ行クノデアリマス、併シナガラ低物價政策デ行クトシテモ、適正物價ヲ拵ヘテ行クト云フコトハ必要デアル、其ノ結果或ル物ハサウ云フ風ニナルト、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、マダソレダケデハ徹底致シテ居リマセヌカラ、モウ少シ詳細ニ互ツテ申上ゲレバ、政府ハ低物價政策ト云フモノハ、今日ノ時局ヲ乗切ル爲ニ最モ必要ナ政策ト考ヘタノデアリマシテ、此ノ低物價政策ヲ堅持スル爲ニハ有エル努力ヲシテ、有エル方面カラ全力ヲ擧ゲテ、低物價政策ト云フモノヲ何處マデモ堅持シタイ、サウ云フコトデアリマス、ソレニ付キマシテ、例ヘバハ過日豫算總會デモ度々説明致シマシタガ、今考ヘテ居リマスル最モ有効ナ處置ト致シマシテハ、生産及經營ノ合理化ト云フモノヲ圖リマシテ、例ヘバ製造ノ原價ヲ引下ゲルコトノ出來ルモノ——合理的經營ニ依ツテ、生産ヲ引上ゲ得ルヤウナモノハ、努力ヲシテ極力其ノ生産費ヲ引下ゲタイ、其ノ次ハ配給組織ヲ改メテ、之ニ依ツテ又價格ヲ引下ゲテ參リタイと思ヒマス、昨日モ本委員會ニ於テ、生産者ノ利益ト云フモノハ割合少クテ、サウシテ配給者ノ利益ガ割合ニ多イモノモアル、サウ云フモノハドウ云フ風ニ取扱フカト云フ御質問モアリマシタガ、政府ニ於テモ是ハ認メテ居リマス、私共モ生産者ノ方バカリ慮メテ、生産者ノ手取ヲ安クシテ、配給業者ニノミ澤山

ナ利益ヲ分與スルト云フヤウナコトハ、是ハ面白クナイト考ヘテ居リマスカラ、生産者カラ出テ配給業者ノ手ヲ通ツテ、消費者ニ渡ツテ參リマス所ノ其ノ配給組織ノ改正ニハ、色々ナ努力ヲ拂ツテ、其ノ努力ノ結果ハ販賣價格ト云フモノハ引上ゲラレナイデ済ム、斯ウ云フヤウナ工合ニ致シタイと思ツテ、其ノ點ニ付テハ非常ニ努力ヲ致シテ居リマス、ソレデモ先般御説明ヲ申上ゲマシタガ、サウ云フ目的ヲ達スル爲ニ、此ノ豫算ニモ鑛工業總力發揮委員會ト云フモノノ費用ヲ計上致シテ居リマシテ、此ノ豫算ガ通過致シマシタラバ、斯ウ云フ機構ヲ利用シテ、生産原價ヲ引下ゲルト云フコトニ付テ、大イニ努力ヲ拂ヒタイト存ジマス、是ハ度々申上ゲタ通りニ、我國ノ工業ニ於テ色々合理的經營、學術的經營、技術的經營ハ、マダ——工夫スレバ澤山ノ餘力ガアルコトハ、私共自分自身ノ經驗カラモ確信ヲ致シテ居ルコトデアリマス

ソレカラ其ノ次ハ是モ度々豫算總會等ニ於テ申上ゲテ居ルコトデアリマスカラ、御承知ノコトト存ジマスガ、ドウシテモ消費ノ節約ヲスル、即チ消費ノ規正ヲ實行スルト云フコトハ、是ハ今日ノ時局ノ際デアリマスカラ最モ必要ナコトデアリマス、一面ニ於テハ消費ノ規正ニ付テ、色々ナ方面カラ努力ヲ致シマシテ、サウシテ節約ヲモウ少シ斷行スルト云フヤウナ處置ヲ、各方面カラ執リタイト存ジマス、即チ一方ニ於テハ物資ガ益々缺乏シテ、需要ニ對シ供給ガ不足スルカラ、ソコデ物價ガ高クナル、斯ウ云フコトデ闇相場ガ起ルト云フヤウナ色々ナコトガ出テ來ルノデアリマスガ、消費ノ節約ヲスレバ、供給ガ不足シテモ需要ノ方ガ又

少クナツテ來ルカラ、ソコデ需要ト供給トノ調節ガ取レルヤウニナル、斯様ニシテ行クト云フコトガ、根本的ニ必要ナコトデアリマスカラ、是ハ從來ノ政府モ其ノ點ニ於テ力ヲ盡シテ參リマシタケレドモ、今後ハ一層其ノ方面ニモ力ヲ盡シタイト存ジテ居リマス

ソレカラ配給機構ノ改正ノコトニ付キマシテハ、消費節約ト配給機構ノ改正ト云フコトトハ、俱ニ相俟ツテ重要ナ働キヲ致スノデアリマスカラ、實際ニ於テ其ノ實行ノ手段トシテハ、場合ニ依ツテ或ル商品ニ付テハ切符制度トカ、或ハ割當制度トカ云フヤウナモノモ、實行シナケレバナナイモノト存ジマシテ、其ノ邊ノ調査研究モ致シテ居リマシテ、イツ何時デモ必要ガアレバ、之ヲ實行スルト云フヤウナ準備ヲ、一方ニ於テハ致シテ居リマス、ソレカラ又物資ノ需要ノ規正即チ消費節約ニ對シテハ、色々ノ手段ヲ講ジテ居リマスケレドモ、兎モ角モ今日御承知ノ通り一方ニ於テハ通貨ガ膨脹シテ、ソレガ爲ニ民間ノ節約ノ反對ニ、消費ガ旺盛ニナツテ來ルト云フヤウナ氣勢モ現ハレテ居リマスカラ是デハ中々容易ニ安心ガ出來ナイ、サウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ點ニ於テハ大藏大臣モ度々御説明ニナツテ居ル通りニ通貨ヲ收縮シテサウシテ消費ヲ節約スルト云フヤウナ點ニハ、商工省ノミナラズ内閣舉ツテ大イニ各種ノ手段ヲ講ジテ、消費ノ抑制ヲ努メタイト存ジテ居リマス、大體サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、決シテ適正價格ヲ設ケレバ直チニ物價ガ上ツテ、ソレガ爲ニ政府ノ低物價政策ヲ根本的ニ覆スノデヤナイカト云フヤウナ心配ハナシ、又サウ云フコトハ斷ジテ致サヌ

デ、ドウシテモ此ノ低物價政策ノ下ニ、適正價格ヲ以テ有エル手段ヲ盡シテ、サウシテ一面ニ於テハ増産ヲ圖ツテ、昨日申上ゲタ通りニ闇相場ノヤウナモノヲ段々ニナクシテ、此ノ低物價政策ノ下ニ政府ノ豫定ノ政策ヲ實行致シタイト云フ積リデアリマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○堀切委員長 板谷君、緊急質問ダサウデアリマスガ、ドウゾ……

○石井委員 私モ商工大臣ニ關聯シテ……

○堀切委員長 ソレデハ石井君

○石井委員 私人一寸商工大臣ニ御尋シタイと思ヒマス、私ハ物價ノ中デモ農產物價ノ問題ニ付キマシテ、一二御尋シタイと思ヒマス、御承知ノ通りニ農產物ハ國民ノ主要食デアリマシテ、所謂臺所ノ問題デアリマスガ、最近ニ於キマシテハ農產物ハ、唯農民ノ生業トシテノ農產物ノ製造——ト申上ゲテハカシイノデスガ、詰リ普通ノ農業ト云フ譯ニハ參ラヌ事情ニナツテ居ルノデアリマス、隨テ農產物價ト云フ問題ニ對シマシテモ、増産ヲ目標トシタ價格ト云フモノハ、自ラ考ヘナケレバナラヌモノデハナイカト左様ニ考ヘルノデアリマス、農民ノ自由ニ選擇ヲシテ栽培ヲ致シテ居リマス、所謂自由選擇栽培ノ場合ナラバ適正價格トカサウ云フモノデ宜イト考ヘマスケレドモ、假ニモ其處ニ國家ノ意思ガ加ハリマシテ、計畫生産トマデ行カヌデモ、所謂一種ノ増産ト云フ目標ノ下ニ生産シテ行クト云フ時ニハ、増産ノ計畫ハ自ラ別ノ考ガナケレバナラヌデハナイカト考ヘマス、之ニ對シマスル商工大臣ノ御意見モ御同致スト同時ニ、假ニ或ハ其ノ他ノ物價ト睨合セテ見テ、或ハ上ゲル譯ニハ行カヌ、之ヲ適當ニヤツテ

行カナケレバイカスト致シマシテモ、農村或ハ農民ニ、或ハソレニ限りマセヌ、他ノ生産物ニ致シマシテモ同様デアリマスルガ、生産者ダケノ犧牲ニ於テ之ヲ片付ケヨウトスル考ヘ方ハ、私ハ根本ニ於テ間違ッテ居ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、是等ニ對シマスル御意見ヲ拜聴シテ見タイト思フノデアリマス

○藤原國務大臣 只今御質問ノ點ハ、斯ウ云フ風ニ商工省トシテハ考ヘテ居リマス、即チ適正價格ト云フモノヲ引上ゲテ、サウシテ増産ヲシヨウ、斯ウ云フ風ニナリマス、低物價政策ニ動トモスレバ低價スル虞ヲ來スト思ヒマスケレドモ、生産ガ引合ハナイデ段々ニ生産ノ數量ガ減ツテ來テ、サウシテ國民ガ其ノ製品ヲ手ニ入レルコトガ困難ニナツテ、闇相場ガ横行スルト云フヤウナコトデアレバ、ソレハ國民ノ爲ニ宜シクナイカラ、サウ云フモノハ生産費ヲ能ク調ベテ見テ、生産者ニモ無理ノナイヤウニ、生産者ニ非常ナ赤字デ迷惑ヲ掛ケルコトノナイヤウニシテ、サウシテ一面ニハ配給機構ナドデ、配給業者等ノ爲ニ手数料ヲ澤山拂ツテ居ルト云フヤウナモノハ、サウ云フヤウナ所カラモ詰メテ來テ、實際ノ需要家ニハ、今日ノ言葉デ言ヘバ適正ナ價格デ供給スルコトガ出來ルヤウニシタイ、單ニ低物價ノミデ押シテ行ツテ此ノ儘ニシテ參リマシテ、生産ガ減ツテ需要ト供給ガ伴ハナイト云フコトニナツテ來テハ、是モ國民ノ生活上餘リ宜シクナイト思ヒマスカラ、其ノ邊ニ非常ナ苦心ガアルケレドモ、先ヅ其ノ缺點ヲ運用ニ依ツテ巧ク之ヲ調節シテ、低物價政策ヲ堅持シツツ國民生活ニハ餘リ困難ヲ與ヘナイヤウニ、之ヲ切抜ケルコトガ商工省

ノ最モ苦心シテ居ル所ト御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石井委員 私人申上デマシタノハ、主トシテ農産物ノ問題デアリマシテ、増産目標ノ價格ト普通自由選擇ノ場合ノ價格ト云フモノハ自ラ違フノデハナイカ、考慮スル必要ハナイカト云フコトヲ御尋申上ゲタノデアリマス、ソレニ付テ御意見ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 農産ノコトニ付テハ、商工大臣トシテ、農村ノ實情トカ、農産ノ實情ニ付テ一寸今此處デ御即答申上ゲ兼ねマス、暫クドウゾ……

○石井委員 所管ハ農林省デアリマスケレドモ、物價ノ問題ハ商工省ガ御受持ニナツテ居ルト考ヘマス、農産物ノ價格ニ致シマシテモ、商工省ノ物價局ニ於テヤハリ御扱ヒニナツテ居ルノデアリマス、今ノ私ノ申上ゲルノハ極メテ常識ナ話デアリマス(商工省ト違フ「物價局ガヤツテ居ル」ト呼フ者アリ)之ハ極メテ常識的ナ話デアリマスカラ御聽キヲ願ヒタイト思ヒマス、詰リ御承知ノ通り米ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ雜穀ノ問題ニ致シマシテモ、或ハ麥ノ問題ニ致シマシテモ、増産ヲ盛シニサセテ行カナケレバ、現在ノ時局ト云フモノハ切抜ケラレヌノデアリマスカラ、隨テ農民ト致シマシテハ、自分ハ是ダケノモノヲ作ツテ行ケバ自分ノ生業トシテハ宜イ、自分ノ生業トシテハ是ダケノ米ヲ作ツテ行ケバ宜イト思ヒナガラモ、國策ニ順應スル爲ニソレ以上ノモノヲ拵ヘナケレバナラス、ソレ以上ノ勞力ヲ拂ツテ拵ヘナケレバナラスト云フ所謂一種ノ増産ノ目標ヲ以テ、農民ニ強イラレテ居ルノデアリマス、隨テ増産目標ヲ以テヤラセ

ル場合ノ價格ト、普通ノ農民ガ自分ノ生業トシテ、自分ノ自由選擇ノ栽培ニ依ル場合ノ價格トハ自ラ違フノデハナイカ、私ハ斯ウ云フ原則ヲ御尋申上ゲテ居ルノデアリマス

○藤原國務大臣 常識的ニ考ヘマス、只今ノ御質問ハ御尤モノヤウニ存ジマス、詰リ政府トシテハ常識的ニ申上ゲレバ、一般原則ノ考ヘ方ト致シマシテハ、必要物資ノ生産ト云フモノハ、國家ニ必要、或ハ今國民生活ニ必要ダト云フ物資ノ生産デゴザイマシタナラバ、ソレハドウシテモ生産高ハ確保シタイト云フ方針ヲ持ツテ居リマス、隨テ必要デナイ物資ニ付キマシテハ、又考ヘ方ガ違ツテ來ヨウカト思ヒマス、最モ必要モノノデアレバ、其ノ必要ノモノ相當ニ考ヘナケレバナラナイト思ヒマス、必要デナイモノハ、又必要デナイヤウニ考ヘナケレバナラス

○石井委員 私が御尋申スノトスツカリ答辯ガ違フヤウデアリマス

○藤原國務大臣 ソレデアリマスカラ、ドウモ此ノ問題ハ私が常識的ニ御説明ヲ申上ゲテモ、徹底致シ兼ねルト存ジマスカラ、ドウゾ一ツ是ハ農林大臣ニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石井委員 私人ハ必ズシモ農林大臣ヲ煩ハス問題デハナイト考ヘマス、極メテ簡單ナ問題デアリマス

○藤原國務大臣 増産シタモノニ對シテ特別ニ其ノ價格ヲ引上ゲルトカ、増産シナイモノニ對シテ價格ヲ引上ゲナイトカ云フヤウナコトニハ行クマイト思ヒマスガ、國家ガ必要ト思ツテ増産スルモノニ對シテハ、特別ニ考慮スルト云フコトニ結果ハナルガラウ

ト思ヒマス、詰リ物價政策カラ言ヘバ増産シタモノダケ高ク賣ツテ、増産セヌモノハ安ク賣ル、斯ウ云フ譯ニハ行クマイト思ヒマス

○石井委員 私人極メテ原則ヲ御尋申上ゲテ居ルノデアリマス、農産物之間ヒマシタカラ御分リニクイカモ分リマセヌガ、或ハ直接御所管ノ商工省ノ關係ニ致シマシテモ、假ニ鐵ヲ鐵ガ必要ダケレドモ、例ヘバ百萬噸ナラ百萬噸ダケシカ製造能力ガナイ、併シナガラ國家ノ必要ハ二百万噸ダ、斯ウ云フ場合ニハ百萬噸ノ増産ヲ採算ヲ離レテモヤラナケレバナラス、斯ウ云フ場合ノ價格ト、自分ガ百萬噸ダケ作ツテ置ケバ、自分ノ會社ハ是デ宜イノダト云フヤウナ、自由選擇ニスル場合ノ價格ト云フモノハ、自ラ違フノデハナイカト云フコトヲ御尋申上ゲテ居ルノデアリマス

○藤原國務大臣 製造工業ニ於キマシテハ、國家ガ二百万噸ノ鐵ヲ需要スル、併シナガラ之ヲ自由ニシテ置ケバ百萬噸ホカ生産ガ出來ナイ、サウ云フ場合ニハ國家ハ二百万噸必要デアリマスカラ、二百万噸ノ生産ノ出來ル價格ヲ適正價格トスル、斯ウ云フコトニスル積リデアリマス

○石井委員 大體分リマシタ、私ノ申上ゲルコトモソレナシデス、其ノ答辯ヲ得タイ積リダツタ、農産物ニ於キマシテモ同様デアリマス、自由選擇ノ栽培ニ任シテ居ツタ時分ト、國家ガ増産ヲ必要トスル場合ニ増産ヲ強ヒ——強ヒト云フ言葉ハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ強ヒテ居ルト考ヘマス、増産ヲ命ジテ居ル、サウ云フ場合ノ價格ト云フモノハ、自ラ違フノデハナイカト云フコトヲ申上ゲマシタガ、只今

ノアナタノ御答辯ニ依リマシテ、大體ソレヲ伺フコトガ出來マシタガ、併シサウ云フ考ヲ以テ御進ミニナルカドウカ、斯ウ云フ問題ガ一ツ殘ルノデアリマス、サウ云フ方針ヲ以テ進ンデ出デニナルカドウカ、將來御臨ミニナルカドウカ、此ノ問題ガ殘リマスガ、此ノ問題ハドウ考ヘテ居ラレマスカ

生産力擴充ニ付テ、多少ノ支障ハ來ルケレドモ、財政上已ムヲ得ヌト云フヤウナ御言葉ガ屢、繰返サレテ居リマス、又大藏大臣モ現在ノ情勢ニ於テハ、生産力ノ擴充ハ最も必要デアルガ、併シナガラ財政上已ムヲ得ヌト云フヤウナコトヲ仰シヤツテ居ル、デアルカラシテ一體増産計畫ト云フモノヲ、ドウ云フ方法ニシテ御立テニナル御計畫デアルカ、是ハ重大問題デアル、物資ガ豊富ニナラナケレバ、低物價政策ノ堅持ハ出來マセヌヨ、ダカラ増産計畫ヲヤル、ヤルト云フ唯御言葉ダケデハ國民ハ安心致シマセヌ、率直ニ申上ゲマスルト現在ノ政府或ハ前内閣——國民ガ政府ニ對スル所ノ信頼ガ薄ライデ居ル、一體ドウ云フコトヲヤルノデアルカ、始終方針ガ變ツテ居ル、是ガ私ハ一番重大ノ問題デアルト考ヘル、此ノ二點ダケヲ御答辯願ヒマス

此處繰返シテ申シマスル通りニ、一方ニ於テハ生産費ノ引下ニ付テ非常ナ努力ヲシ、配給機構ノ改善ニ付テモ非常ニ努力ヲシ、又國民ノ消費節約等ニ付テモ非常ニ努力ヲシテ、サウシテドノ方面カラ詰メテ行ツテモ、ドウシテモ仕方ガナイト云フモノハ、漸次物價ヲ上ゲテ、サウシテ生産費ヲ償ハセテ、サウシテ増産ヲ圖ル、是ヨリ外仕方ガナイ、又サウ云フ方針ヲ以テ進ンデ行ク積リデアリマシテ、其ノ方針ヲ以テ之ヲ旨ク適用スレバ、必ズシモ不可能デナイカラ、ソレヲ商工省ハ全力ヲ上ゲテ努力ヲシテ其ノ目的ヲ達シタイ、斯ウ思ツテ居リマス

ハドウデアリマスカ
○堀切委員長 商工大臣ノ先程ノ御答辯ハ、質問者ハ現在ノ適正物價ヨリ安クナルモノガアルカト云フ質問ニ對シテ、多クハ關取引ヨリ安クナルドラウト云フ御答辯デアツタノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デスカ
○藤原國務大臣 ソレハ今日九・一八デ「ストップ」令ヲ出サレテ居リマスガ、公定價格ヨリハ高クナルモノモ多イト思ヒマス、併シナガラ全部ガ高クナルトハ考ヘテ居リマセヌ、安クナルト思ヒマス、ソレカラ又斯ウ云フ政策ヲ持ツテ參リマスレバ、必ズ今日ヨリ増産ノ目的ヲ達セラレルト思ヒマスカラ、今御心配ニナツテ居ルヤウナ増産ガ出來テ、サウシテ適正價格ヲ以テ相場ガ是正セラレバ、サウ極端ニ物價ガ騰貴スルト云フヤウナコトハナイト思ヒマス、又サウサセナイ積リデアリマス

○板谷委員 關聯質問デアリマスカラ簡單ニ二點ダケ伺ヒタイト思ヒマス、只今商工大臣ハ低物價政策ニ對スル御説明ガアリマシタケレドモ、私ハドウモダハツキリ了解ガ出來マセヌガ、將來色々増産計畫モアルヤウナ御話デアルガ、現實ノ問題トシテ前内閣ノ九・一八ノ公定價格ハ、現在ニ於テモ嚴守ヲシテ居ル譯デアル、所ガ物資ガ缺乏シテ需給關係ガ不圓滑ノ爲ニ、關取引ト云フモノガ殆ド有ル方面、全部ト云ツテモ宜シイ程行ハレテ居ル、ソコデ此ノタビアナタハ關取引ヲ根絶スル、低物價政策ヲ堅持スルト云フ御話デアリマスガ、關取引ヲ根絶スルト云フコトハ、言フマデモナク生産費カラ所謂其ノ物價ガ割出サレテ來ルノデアルガ、若シ關取引ヲ根絶スル、適正價格ヲ作ルト云フコトニナルナラバ、現狀ニ於テハ有ル物資ガ現在ノ公定價格ヨリ値段ガ高クナル、之ヲ御認ニナリマスカ、其ノ點ト、モウ一ツアナタハ増産計畫ト云フコトヲ頻リニ言ハレル、大藏大臣モ生産擴充ト云フヤウナコトヲ屢々仰シヤツテ居ル、所ガ御答辯ノ中ニ、現在ノ稅制改正ニ於テハ

○藤原國務大臣 御尋ノ點ハ度々申上ゲテ居リマス通りニ、兎ニ角九・一八ノ「ストップ」令以來今日ニ至リマシテ、關相場ガ段々盛ニナツテ來テ、物資ガ缺乏シテ來タト云フコトハ、是ハドウシテモ認メザルヲ得ナイコトデ、政府モ認メテ居リマス、ソコデ之ニ對スル對策トシテハ、度々繰返シテ申上ゲマスル通りニ、ドウシテモ生産費ヲ償ハナイヤウナ價格デ公定セラレテ居リマスル物資ニ對シテハ、適正價格ヲ以テ其ノ物資ノ價格ヲ統制シタイト思ヒマス、其ノ結果今御質問ノヤウニ若干ノ値上ヲシナケレバナラナイヤウナモノガアルカト思ヒマス、ソレモ御尋ノ通りデアリマス、併ナガラ全般ノモノニ向ツテ、非常ニ値上ヲ全部實行シテ、サウシテソレガ爲ニ低物價政策ノ根本ヲ覆スヤウナコトハシタクナイ、唯度々

○堀切委員長 公定價格ヨリ安クナルカト云フ御質問デアリマセヌカ——商工大臣ハ關取引ヨリ安クナルト云フ御答辯デアリマス
○板谷委員 是ハ大事ナ問題デアリマス、増産計畫ト云フコトヲ屢々仰シヤルガ、是ハ現在ノ本案ニ直接關係ノアル問題デアリマス、今同ノ稅制改正デ、大藏大臣ハ屢々一割以下ノモノニ對シテハ成ベク輕ク扱ツテ行クト申サレマス、是ハサウデス、併シナガラ一割以上ノモノニ對シテハ取レルダケ取ルト云フヤウナコトデ生産擴充ガ出來マスカ、生産擴充ニ支障ガアルカモ知レスト大藏大臣ハ仰シヤツテ居リマス、此ノ御信念

○石井委員 先程ノ質問ニ對スル大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 先刻産業組合ノ定義ニ付テ御話デアリマシタガ、産業組合ハ中小産者ノ相互扶助ヲ目的ト致シマシテ、農村ニ於テ公共的機能ヲ果シツアルノデアリマス、其ノ産業組合ノ定義ト申シマスカ、根本方針ト申シマスカ、ソレハ先刻モ申上デマシタガ、要スルニ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ圖ルヲ企圖スルコトヲ目的ト致シテ居ルモノト存ズルノデアリマス、而シテ公共的の一面ヲ有スルモノデアルコトハ固ヨリデアリマスガ、其ノ本質ニ於テ多少公共團體ト異ツテ居ルヤウニ考ヘラレル點ガアリマス、即チ私經濟の一面ガ含マレテ居ルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○石井委員 只今仰セニナリマシタ公共團體ト云フノハ、何ヲ指スノデアリマスカ、町村トカ何トカ云フノデアリマスカ

○櫻内國務大臣 左様デアリマス

○石井委員 大體ニ於テ、産業組合ト云フモノハ斯ウ云フモノデアルト云フ、大藏大臣ノ御考ハ承ツタノデアリマスガ、私ハ日本ノ産業組合ハ、唯ソレダケノ目標ヲ持ツテ立ツテ居ルノトハ考ヘラレナイノデアリマス、先程モ申上デマシタヤウニ、泰西ノ産業組合、所謂外國ノ産業組合、或ハ外國ノ消費組合、斯ウ云フヤウナモノト我國ノ現在ニ於キマス産業組合ノ指導精神ト云フモノハ、大分違ヒガアル、斯ウ云フコトハ一ツ御認識願ハナケレバナラスト考ヘマス、唯單ニ經濟行為ヲ營ンデ、ソレニ依ツテ中小産者ノ經濟ノ向上ヲ圖ラウ、或ハ生活ノ向上ヲ圖ラウ、斯ウ云フヤウナ單ナル經濟行為ノミヲ營ム團體デハナイト考ヘマス、其ノ根柢ハ所謂共存共營デアリ、相互扶助

デアル、オ互ノ力ヲ以テオ互ノ足ラザル所ヲ補ツテ行カウ、サウシテ行ツテ吾々非常ニ後レントシテ居ル所ノ此ノ生活ヲ成ベク世ノ中ノ進運ニ後レナイヤウニ進ンデ行カウデハナイカ、斯ウ云フヤウナ物心兩方面ノ密接ナル所ノ、ソコニ指導精神ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申上デタイト考ヘルノデアリマス、唯單ニ自分達ノ經濟ヲ共同シテ物ヲ購入シヨウ、或ハ共同シテ物ヲ賣ラウ、サウシテ以テ唯自分達ノ經濟ニ資シヨウト云フ以外ニ、オ互ノ力ヲ協セテ行ツテ、オ互ノ足ラザル所ヲ補ツテ行カウ、斯ウ云フ所ノ深キ精神上ノ團結ガアルト云フコトヲ、御認識ヲシテ貰ハナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、サウ云フ方面カラ考ヘテ參リマス、寧ろ政治ノ一端デアアル、政治ノ足ラザル所ヲ吾々ノ手ニ依ツテ救ツテ居ルノダ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜イト考ヘルノデアリマス、隨テ我國ニ於キマス所ノ産業組合ハ、今大藏大臣ノ仰セニナリマシタヤウナ、唯單ニ形ノ上ノ固マリデハナイ、斯様ニ御認識願ハナケレバナラストデアリマス、心的ノ結合ガ其ノ間ニアルノダ、サウシテ農村ノ向上運動中小産者ノ生活向上ノ運動、物心兩方面ノ結合ノ力ニ依ツテ進ンデ參ツテ居ルト云フコトヲ、深く御認識願ハナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、即チ一言ニシテ申上デマスナラバ、先程申シマスヤウニ政治ノ一端デアアル、政治ノ足ラザル所ヲ吾々自分達ノ力デ以テ補フ團體デアアル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ私ノ意見ニ對シマシテ、大藏大臣ハ如何ニ御考ヘナリマスカ、重ネテ御答辯ヲ得タイト考ヘルノデアリマス

○北委員 一寸關聯シテ産業組合ハ自分達ノ利益ノ爲ニヤルノダ、經濟向上ノ爲ニヤルノダト言ハレルノデアリマスガ、是ハ大間違ヒダト思フノデアリマス、相互扶助ノ爲ニ、弱者ヲ助ケル爲ニヤルノダ、形ノ上デ見ルト同ジヤウデアリマスガ、實質ニ於テハ非常ニ違ヒガアル、ソコデ石井君ノ今言ハレタ通り、國務ノ一端ヲ行ツテ居ルノデアアル、今ノ資本主義社會ニ於テハ、富メル者ハ益々大キナルガ、持ツザル者ハ益々小サクナツテ居ル、之ヲ直シテ行クト云フコトガ産業組合ノ根本精神デアアル、又日本ノ産業組合ノ經營モ其處ニアル、法規ノ上ノ文字ダケデ解釋サレテハソレハ日本ノ産業組合ヲ見誤ルモ甚シキモノダト思フデアリマス、此ノ意味ニ於テ一ツ御答ヲ附加ヘテ御願シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 所謂中小産業者ガ互ニ其ノ自分ノ生活上ノ仕事ノ爲ニ、相扶ケ合ツテ行クト云フ事柄ハ、先刻來申シマス通りデアリマス、即チ相互扶助ヲ目的ト致シマシテ活動致シマス際ニ於テ、公共的機能ヲ一面ニ於テ有スルト云フコトハ、私モ認メルノデアリマス、即チ此ノ法文カラ申シマスト先刻申シマシタ通り「組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル」云々トアリマスノデ、是ガヤハリ主眼デアリマスケレドモ、是ノ働キノ上ニ於テ、公共的機能ヲ以テ働イテ居ルト云フ事柄ニ付キマシテハ、私共事實上之ヲ認メルノデアリマス、隨ヒマシテ指導方針ニ付キマシテハ、大體ニ於テ私ハ先刻石井君ノ御話ニナツタコトガ結構デアラウト思ツテ居ルノデアリマス

○石井委員 大體ニ於キマシテ本質ト云フコトニ付キマシテハ、私ノ考ヘテ居リマスコトニ同感ノヤウデアリマス、サウ云フヤウナ本質ヲ以テ、我國ノ産業組合ガ進ンデ行クベキモノダト、私モ考ヘマスルシ、又はニ於テ大臣モサウ云フコトニ御認めノヤウデアリマス、又大臣モソレヲ以テ指導方針トスルト云フヤウニ御話ニナツタガ故ニ、私ハ此ノ問題ニ付キマシテハ、此ノ程度ニ致シテ置キタイト思フノデアリマス

其ノ次ニ私承ツテ見タイト思ヒマスルコトハ、政府ノ産業組合等ニ生ジマス剩餘金ニ對スル見解デアリマス、ソレヲ一ツ根本的ニ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、今回特別法人稅ト云フモノヲ創設サレ、産業組合、其ノ他ノ共同組合ニ課稅ヲサレマス所ノ根本ハ何處ニアツタカト申シマス、所謂剩餘金ニアル、出資ノ法人デアアル、更ニ出資ニ對シテモ配當ヲ致シテ居ルト云フヤウナ工合ニ、剩餘金ト云フモノガ、一種ノ目標ニナツテ、今度ノ課稅ガ創設サレテ居ルヤウデアリマス、隨テ此ノ剩餘金ト云フモノノ解釋ガ、極メテ大切ナモノデアルト考ヘマスルガ故ニ、私此ノ際此ノ剩餘金ト云フモノヲ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカト云フコトヲ、十分ニ檢討致シ解釋ヲ一ツニシテ置キタイト考ヘルノデアリマス、ソレニ付テハ私見ヲ申上デマシテ、ソレニ對シマスル當局ノ御見解ヲ拜聽シタ方ガ宜イト考ヘマスカラ、茲ニ私見ヲ申上デ見タイト思ヒマス

御承知ノ通りニ我國ノ産業組合ト云フモノハ、嚴密ナル組合相互主義デアアル、員外ノ取引ト云フモノハ嚴重ニ取締ツテ居ルノデアリマス、詰リ出資ヲシテ居ル者モ、利用ヲシテ居ル者モ同ジデアアル、是ガ我國ノ

産業組合ノ一大特長デアル、隨テ此ノ剩餘金ト云フモノハ大體如何ナルモノデアルカト云フコトモ、自然ニ其ノ間ニ分ツテ來ルト考ヘマスルガ、決シテ資本ニ對シテ利益ヲ得ヨウ或ハ利潤ヲ追求シテ行ツテ、其ノ利潤ニ依ツテ資本ヲ増シテ行カウ、或ハ資本ニ對シテ配當ヲシヨウ、斯ウ云フヤウナ目的ヲ以テ蓄積サレタル所ノ剩餘金ハ決シテナイノデアリマス、普通ノ營利法人ノ資本、サウシテ利益トノ關係トハ全ク違フノデアリマス、モウ一ツ申上ゲテ見マスルナラバ、利用量ノ過拂ヲ致シテ居ルノガ剩餘金デアルノデアリマス、組合員ガ其處ニ利用量ヲ拂フ、或ハ是ハ購買ニ致シマシテモ、販賣ニ致シマシテモ、或ハ信用事業ニ致シマシテモ同様デアリマスルガ、若シ組合ニ於テ原價主義ヲ執ツテ行ク、何デモ原價ヲ以テ行クノダト云フコトニナリマスレバ、剩餘金ト云フモノハ、出來ル筈ハナイノデアリマス、併シナガラ一面ニ於テ組合員ハサウナリマスルト、組合ノ經營ノ經費ノ負擔ヲ致シテ行カネバナナイ、斯ウ云フコトニナツテ參リマス、併シナガラ若シ組合ガ原價主義ヲ離レテ、先ヅ市價主義ニ依ル、斯ウ云フコトニナツテ參リマスト玆ニ剩餘金ガ生ジテ參リマスルケレドモ、其ノ剩餘金タルヤ決シテ資本ニ利益ヲ得ヨウ、資本ノ利潤ヲ圖ラウト云フ意味ヲ以ツテ出タノデハナクテ、所謂利用量ノ蓄積ニ過ギナイノデアリマス、結局此ノ利用量ト云フモノハ組合員ニ還元セラルベキモノデアリマス、決シテ剩餘金、利用量ノ蓄積ト云フモノハ、資本ニ屬スベキモノデハナイノデアリマス、皆利用者デアル組合員ニ屬スベキモノデアリマス、隨テ今回ノ特別法人稅ニ

於キマシテモ、利用量ノ割戻手當ニ對シテハ剩餘金ト見做サス、斯ウ云フヤウナ御見解ノ下ニサレテ居リマスルガ、此ノ見解ガ正シイノデアリマス、唯剩餘金ノ出來マシタモノヲ、組合員ニ配當セズニ殘ツテ居ルト云フダケガ、唯剩餘金トシテ殘ツテ居ルノデアリマス、若シソレヲ全部組合員ニ戻シテシマヘバ、剩餘金ト云フモノハナイ筈デアル、隨テ私ハ諄ク申シマスルガ、營利法人ノ資本ト利益ノ關係ト、此ノ特別法人ノ資本、サウシテ剩餘金ノ關係トハ全ク違フノデアリマス、之ニ對シマシテ大藏大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、嘗ニ其ノ剩餘金ヲ目標トシテ、今度ハ課稅サレテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ見解ハ非常ニ大事ナモノデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○櫻内國務大臣 私ハ此ノ剩餘金ト云フモノヲ、營利法人ノ所謂利潤ト云フモノトハ性質ガ異ツテ居ルト考ヘマス、併シナガラ此ノ産業組合、其ノ他ニ於キマシテ剩餘金ノ利潤ノアツタ場合ニ、所謂組合員ノ出シタ數量ニ依ツテ分配スルモノハ、之ヲ認メテ居ラスノデアリマシテ、其ノ以外ノ方面カラノ收入ニ依ツテ、殘ツタモノヲ剩餘金ト致シテ居ルノデアリマシテ、剩餘金ノ一部ニハ、私ハ此ノ經濟的働キニ依ツテ得タモノモ含マレルデアラウト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ營利法人ノ純益ト云フモノトハ異ナリマスケレドモ、剩餘金ト云フモノガ、純然タル御話ノ如キ性質ダトバカリハ言ヘナイダラウト考ヘマス

○石井委員 尙ホ私ノ説明ガ足りヌ所ガアツタカモ知レマセヌガ、又大藏大臣ノ御認識ノ乏シイ所モアリマシタヤウニ考ヘマスルガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、今回ノ特別法人稅ノ中ニモ、所謂利用量ニ對シマスル所ノ配當、ソレハ所謂組合員ニ還元シマスル配當ハ、剩餘金ト看做サスト云フコトニナツテ居リマス、其ノ點ハ能ク諒解致シテ居リマスシ、是モ只今大藏大臣ノ御述ニナリマシタ通りデアリマスガ、此ノ立法ノ精神ガ、聽テヤハリ剩餘金ニ對シテモ、御臨ミニナラナケレバナラヌ精神デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、剩餘金ト云フモノハ、若シ私ヲ以テ言ハシムルナラバ、實ハ私ハ自ラ此ノ信用組合ノ經營致シマスルシ、又聯合會ニモ關係致シテ居リマシテ、能ク其ノ間ノ事情ヲ承知致シテ居リマスガ、私ハ會テ、是ハ大藏省ガヤハリ慾望ニナリマシテ、金利ノ協定ト云フコトヲ致シタコトガアリマス、銀行業者ト産業組合ノ金利ノ協定ト云フコトヲヤラセタコトガアリマス、其ノ時ニ私ハ申上ゲタノデアリマスガ、産業組合ト云フモノト、銀行業者ト一緒ニシテ行ツテ、金利ノ協定ヲ圖ルト云フ根柢ガ自分ニハ分ラヌ、併シナガラ現在此ノ時局、所謂金利ヲ下ゲテ行ツテ、サウシテ公債資源ニ充テルト云フ其ノ氣持ニ於テ、自分ハ此ノ金利協定ニ參加ハスルケレドモ實際ノ氣持カラ申上ゲマスナラバ、産業組合ト云フモノハ、預カル方ハ成ベク高ク預カツテ、貸付ケル方ハ成ベク安ク貸付ケテヤル、其ノ間ノ利潤ヲ極メテ少クスルト云フノガ、本當ノ産業組合ノ精神デアアル、ニモ拘ラズ産業組合ハ金利ヲ下ゲテシマヘ、斯ウ云フヤウナ指導方針ガ、自分ハ誤ツテ居ルト考ヘル、私ハ根本ニ於テ左様ニ考ヘテ居ル、隨テ産業組合ト云フモノハ利益ヲ擧ゲヨヤウト云フノガ、既ニ間違ヒデアアル、

或ハ全國ノ産業組合ノ中ニハ、サウシタ考ノ下ニヤツテ居ルモノガナイトハ勿論言ヘナイカモ知レマセヌケレドモ、ソレアルガ故ニ剩餘金ト云フモノハ斯ウ云フモノダト、御解釋ニナルノハ間違ヒダト思ヒマス、大部分ノモノハアノヤウナ氣持ヲ以テ經營シテ居ルト考ヘルノデアリマス、先程申上ゲマスルヤウニ購買ニ致シマシテモ、販賣ニ致シマシテモ、原價主義ヲ以テ進ンデ行クト云フノガ、本當デアルト考ヘマス、サウナツテ參ルナラバ、私ハ玆ニ剩餘金ト云フモノハ決シテ其ノ資本ニ屬スルモノデハナイト考ヘルノデアリマス、結局ハ利用者デアアル組合員ニ戻ルベキモノデアアル、組合員ガ取ラズニ、組合ニ蓄積致シテ置クノデアアル、斯ウ云フ風ニ解釋スルノガ本當デアルト考ヘルノデアリマス、今一應御見解ヲ拜聽シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 剩餘金ガ普通ノ營利法人ノ如ク、所謂利潤追求ノ結果生レタモノデアルトスルコトハ、私共認メナイノデアリマス、其ノ點ニ對シマシテハ御意見ト大シテ變ツタ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマセヌガ、併シナガラ剩餘金ノ生ジマシタ其ノ要素ノ中ニハ、經濟的活動ニ依ル所ノ事柄モ多少ハ含マレテ居ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ今日ノ如キ場合ニ於テハ、所謂普通ノ場合デナク、特例トシテ幾分ノ負擔ヲサレテモ宜イデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石井委員 尙ホ今課稅スルガ善イトカ惡イトカ云フヤウナ問題ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、唯原則ニ於テ産業組合ノ剩餘金ト云フモノハ如何ナルモノデアアルカ、如何ナル御見解ヲ持ツテ居ラレルカト云フ

第六類第二號 所得稅法改正法律案外三十件委員會會議錄 第十回 昭和十五年二月二十七日

一六一

コトヲ御尋申上ゲテ居ルノデアリマス、課税スルガ善イトカ惡イトカ、或ハソレニ賛成トカ不賛成トカ云フコトヲ、私ハ申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、ソレハ色色質問致シマシテ、最後ニ決定スベキモノデアルト考ヘマス、私ハ唯産業組合ノ剩餘金ト云フモノハ、自分ハ斯ウ考ヘテ居ルガ、大臣ハドウ御考ニナルカト云フ、此ノ點ヲ御尋申上ゲテ居ルノデアリマス

○櫻内國務大臣 私ハ先刻來申ス通り、是ハ營利法人トハ異リマス、異リマスガ、併シナガラ剩餘金ノ中ニハ、所謂經濟活動ニ依ツテ得タルモノモ一部ニ含マレテ居ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、斯ウ申上ゲタノデアリマス

○石井委員 今大藏大臣ノ言ハレマス經濟活動ト云フモノハ、一體ドウ云フコトデアリマス、之ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 要シマスノニ、營利的ナ物ヲ賣ルトカ買フトカ云フ問題ガ含マレテ居ルノデアリマス

○石井委員 其ノ意味ノ經濟活動デアレバ、ソレハ勿論ヤルノデアリマス、組合員ガ共同シテ買ヒ、組合員ガ共同シテ販賣致ス、併シナガラ先程カラ申上ゲマスルヤウニ我國ノ産業組合ハ組合員主義ヲ嚴守致シテ居ルノデアリマス、組合員以外ニヤルコトハ出來ナイノデアリマス、隨テ私が申上ゲルヤウニ、利益ノアルコトモ、損ノアルコトモ、總テ資本ヲ出シテ居ル所ノ資本主デアリ、又同時ニ組合員デアリ組合員ニ何レモ歸屬スルモノデアル、隨テ普通ノ營利法人ノ如ク、資本ガ儲ケ、資本ガ損スルト云フノトハ大分違フノデアリマス、此ノ點ヲモツトハツキリ致シタイト思フノデアリマ

ス

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り組合員間ノ事業ノ分量ニ依ルモノハ、之ヲ課税ノ標準ト致サナイノデアリマシテ、所謂眞ノ剩餘金ヲ目標ト致スノデアル、而シテ其ノ剩餘金ノ中ニハ、所謂私經濟的活動ニ依ツテ得タルモノモ含マレテ居ル、斯様ニ觀察致シテ居ルノデアリマス

○石井委員 私ノ言ヒ方ガ下手ダト見エマシテ、一向御分リニナラヌヤウデアリマスガ、假ニサウ云フコトニナリマスルト、此ノ剩餘金ニ對シテ課税ヲサレルト云フコトニナリマシタ場合ノ、其ノ課税ノ負擔ハ一體ドウ云フコトニナルカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マスルト、是ハ勿論組合ガ負擔ヲ致シマセウガ、併シナガラ其ノ剩餘金ト云フモノハ、先程申上ゲマスヤウニ、利用シタ者ガ蓄積致シテ居ルノデアリマス、詰リ利用者ニ還元サルベキ性質ノモノデアリマス、サウ致シマスルト、餘計ニ組合ヲ利用シタ者程、餘計ニ負擔ヲセネバナラス、斯ウ云フ結果ニナツテ來ルノデアリマス、其ノ點ハドウ御考ニナリマスカ

○櫻内國務大臣 ドウモ私が少シ感ジガ惡イノカ知リマセヌガ、分量ヲ多ク利用シタ人ニ、利益ヲ生ジタ場合ニ於テ、其ノ數量ニ應ジテ割戻ス金ハ、所謂剩餘金ノ中ニ入ラナイノデアリマス、ソレデ此ノ剩餘金ハ要スルニ出資ニ對シテ分配スルコトヲ認メテ居ルノデアリマシテ、少シク性質ガ變ツテ來ハシナイカ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス

○小山委員 委員長、此ノ問題ハ私共少シ理解シタイノデシテ、政府委員ノ御答辯モ伺ヒタイト思ヒマスガ、如何デスカ、大臣

トノ間ノ抽象的議論ダケデハ、納得出來マセスカラ……

○堀切委員長 ソレデハ大臣カラモ政府委員カラモ、兩方カラ聽クコトニ致シマス

○石井委員 是ハ原則ノ問題デアリマス、産業組合ニ課税スルコトガ善イトカ惡イトカ云フコトヲ、私ハ申上ゲテ居ルノデハナイノデアリマス、原則ヲドウ見ルカト云フ、是ハ重大ナ問題デアリマス、大臣モ數回御話ニナルヤウデアリマシテ、所謂特別配當金ト俗ニ申サレテ居リマスガ、利用者ニ對シテ剩餘金ヲ配當スルモノニハ課税スノダト云フ、是ハ分ツテ居リマス、アトノハ剩餘金ダト云フ、成程剩餘金デアリマス、ソレニ對シテ今度課税ヲセラレントシテ居ルノデアリマス、私ハ今其ノ課税ガ善イカ惡イカト云フ問題ヲ離レマシテ、其ノ剩餘金ト云フモノハ、普通ノ營利法人カラ得ラレタ所ノ利益トハ、大分違フノデハナイカト云フコトヲ、御尋申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレダケガ判明スレバ私ハ宜イノデアリマス

○櫻内國務大臣 ソレハ普通ノ營利法人カラ出タ剩餘金トハ、多少性質ガ變ツテ居リマス、即チ所謂産業組合本來ノ目的ニ依ツテ生ジタル利益ト、其ノ間ニ於ケル所ノ私經濟的活動ニ依ツテ得タルモノト、兩方私ハ含ンデ居ルト考ヘマス

○堀切委員長 政府委員ノ御答辯ハ如何デスカ

○大矢政府委員 是ハ産業組合等ノ特別ノ法人ニ生ズル剩餘金ト、普通ノ營利法人ノ舉ゲル純益トハ、自ラ性質ガ違フノデアリマス、石井サント仰セニナル通り、産業組合等ハ員外トノ取引ガ許サレテ居

リマセヌ、然ルニ普通ノ營利法人ハ誰トデモ取引出來ル、營利ノ目的ヲ以テ他カラ品物ヲ買ツテ、サウシテ第三者ニ高ク賣ツテ、其ノ間ニ利ヲ得テ、サウシテ利益配當ヲスルト云フヤウナノガ、是ガ營利法人ノ存立ノ基礎ニナツテ居リマス、産業組合等ノ特別法人ハ、サウ云フ趣旨デハゴザイマセヌ、中小産者ガ相互扶助ノ精神ニ基イテ組織シテ居ルノデアリマシテ、營利追求ノ爲デハアリマセヌ、隨ヒマシテ員外取引ト云フコトガ認メラレテ居ナイノハ當然デゴザイマス、ソコデ産業組合ガ此ノ本來ノ精神ニ透徹致シマシテ、經濟行爲ヲ營ンダ結果擧ゲタ剩餘金ヲ、事業ノ分量ニ應ジテ、ソレノ組合員ニ歸屬スルヤウナ方法ヲ執リマス云フト、今回ノ課税モ何等受ケナイ、斯ウ云フ結果ニナリマシテ、産業組合本來ノ精神ニ全く徹底シテシマヘバ、課税スベキ何モノモナイノデアリマス、是ハ非常ニ純粹ニ綺麗ニ行ツタ場合ノ話デアリマス、所ガ現實ノ問題ト致シマシテ、産業組合等ヲ組織スル場合ニハ、或ル程度ノ資本ガ要ルノデアリマシテ、出資ヲセシメル、出資ヲシタ者ニ對シテハ、或ル程度剩餘金ガアル場合ニハ、出資ノ多寡ニ應ジテ分配シナケレバナラス、一面ニ於テハ事業ノ分量ニ對シテノ分配モ致シテ居リマスガ、出資ノ多寡ニ應ジテノ分配モヤツテ居ルノデアリマシテ、現狀カラ致シマス、寧ロ事業ノ分量ニ應ジテ剩餘金ノ分配ヲスルヨリモ、出資ノ多寡ニ應ジテ剩餘金ノ分配ヲシテ居ル方ガ多クナツテ居ルノデアリマス、即チ産業組合ノ本來ノ精神ニ徹シ切レナイ所ガ、現實ノ問題トシテ殘ツテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト、此ノ分量

ニ應ジテ配當スル以外ノ剩餘金ノ性質ヲ考ヘマスルト、産業組合ノ本質ニ徹底シタモノデナイ分子ガ相當アル、ソレガ組合ニ殘ツテ居レバ組合ノ積立金トナツテ行キマサルシ、組合ニ配當サレバ、出資ニ應ジタ配當ニナル、是ハ見様ニ依リマシテハ、或ハ他ノ方面ニ運用シテ居ル資本ノ利益ト見ラレナイ譯デモナカラウト思フノデアリマス、私ハサウ云フ資本ノ利益ト全ク同ジダトハ申シマセヌケレドモ、ドウシテモ多少サウ云フ色彩モアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ産業組合ガヤハリ經濟行爲ヲ營ミ、ソレニ依ツテ剩餘金ヲ擧ゲテ出資ニ對スル配當モシテ居ルト云フ現實ノ狀態ヲ見ルト、其處ニ或ル程度ヤハリ斯ウ云フ時局ノ下ニ於テハ、擔稅力アリト見テ宜イデハナカラウカ、勿論他ノ營利法人ト同ジヤウニ、利益追求ヲ目的トシテ居ルモノデハアリマセヌカラ、是同ジヤウナ負擔ヲ致スベキモノデハアリマセヌ、隨ヒマシテ原則ト致シマシテ産業組合法等ニ於キマシテハ、是等法人ニ對シテハ營業收益稅、所得稅ヲ課稅セズ、今度ノ改正案ニ於キマシテモ法人稅、營業稅ト云フモノハ課稅シナイ、是ハ産業組合ノ本質カラ言ツテサウ致スノデアリマスルガ、斯ウ云フ時局下ニ於キマシテ、一般ノ負擔ガ相當重クナツテ居ル今日ト致シマシテハ、現實ノ産業組合ノ活動狀況カラ見テ、サウ云フ部面モアルカラ其處ニ多少擔稅力アリト見テ、國費ヲ分擔シテ貰ツテモ差支ナイデハナカラウカ、斯ウ考ヘル次第デアリマス

○石井委員 只今大臣ナリ局長ノ御答辯ヲ拜承致シマシテ、私大體諒承致シタノデアリマス、詰リ産業組合ノ剩餘金ト云フモノハ普通ノ營利法人トハ違フ、隨テ産業組合ガ産業組合主義ニ徹底スレバ課稅ハ出來ナイノダ、斯ウ云フ御話ヲ以テ私満足ヲ致ス者デアリマス、唯ソレカラ先ハ剩餘金ニ對シテ課稅ヲスルトカセヌトカ云フ問題ガ殘リマスケレドモ、ソレハ別ノ問題デアリマス、要スルニ原則ニ付キマシテハ大體私ノ考ヘテ居リマスコトヲ、御承認ニナツタヤウニ考ヘマス

○北委員 産業組合ノ剩餘金ハ決シテ利益デヤナイ、組合員ニ全部歸屬シテ居ルモノデアル、斯ウ云フノデアリマスガ、大臣ノ御話或ハ政府委員ノ御話ノ中ニハ、産業組合ハ經濟活動ヲスルコトニ依ツテ、何カソレ以外ニ利益デモアルカノ如ク聞エルノデアリマスガ、是ハ私ハ大變ナ間違ヒデアルト思ツテ居ルノデアリマス、成程出資ハシテ居リマスケレドモ、是ハ事業ノ爲ノ出資ナデス、之ヲ間違ヘテ貰ツテハ困ル、事業ノ爲ノ出資デス、出資ニハ配當シテ居ル、何故配當シテ居ルカト申スト、産業組合ノ出資金ニハ制限ガアリマシテ、サウ餘計ニ持テマセヌ、又區域ガ一町村ト決ツテ居ツテ、他町村ノ者ハソレニ加入スルコトガ出來ナイ、ソコデ組合員ノ産業組合ノ利用高ト出資トハ稍、似タモノナンデス、ソレハ何故カト言フト、相互扶助ノ精神ニ依ツテ分ニ應ジタ出資ヲシテ貰ツテ居ル、實際ハ借入金ヲシテ居ルト同ジデス、分ニ應ジテ出資シテ貰ツテ居ルノデス、其ノ人ガ町村内ニ居ツテ産業組合ヲ利用シテ居ルノデアリマスカラ、丁度資産ノ多イ人、事業分量ノ多イ人ハ出資金ヲ餘計持ツテ居ルト同時ニ、組合ノ利用高モ多イ、手數ヲ掛ケテ事業ノ分量ニ應ジテ、一々事務的ナコトヲヤルヨリハ、出資ニ應ジテヤツタ方ガ當籤ルデアリマセウ、ソコデ今マデ出資デヤツテ居ツタノハ、事務簡捷ノ爲ニヤツテ居ツタノデアツテ、今後サウ云フヤウナ利益ヤ剩餘金ガ出ルト課稅スルト云フコトニナリマス、全部割戻金主義ニナツテシマヒマス、唯ソレガ爲ニ組合ノ事務員ヲ餘計使ハンナラヌ、人間ノ少イ今日、又農村ニ於テハ事務ナドノ出來ル人ノ少イ今日、態サウ云フ仕事ヲサセルガ爲ニ無駄ナ費用ヲ使フ、實ハ出資金ニ對シテ配當ヲシテ居ルト言フガ、ソレハ利用高ト變リハセヌノデス、又産業組合ニ五十圓、百圓、或ハ百五十圓出資シタカラト云ツテ、配當ヲ當テニ出資シテ居ル者ハアリハシナイ、唯事務上便利ガカラヤツテ居ルニ過ギナイ、斯ウ云フ點デアリマシテ、何万圓金ヲ出スト云フコトハ出來ナイ、三十口以上持ツコトハ出來ナイ、又現在ノ狀況デアレバ、餘程ノ金持テナケレバ三十口持ツテ居ナイ、營利法人ニ金ヲ出シタ方ガ儲カル、他人ニ金ヲ貸シタ方ガ儲カル、ソシナ者ハ持チハセヌ、僅ニ御願シテサウ云フヤウナ出資ヲシテ貰ツテ居ル、恐ラク全國ノ平均ヲ見マシタナラバ、出資ト云フモノハ一組合員アタリ百圓ニナツテ居リマセヌ、サウ云フ些細ノモノデアル、今全國ノ平均ガ五十圓ニナツテ居リマス、配當ナドヲ當ニシテ出資ヲシテ居ル者ハ居リハシナイ、ソコハ形ノ上ダケヲ見テ貰ツテハ困ル、産業組合ノ本當ノ精神ノ上カラ見テ貰ヒタイ、唯事務上サウ云フコトヲヤツテ居ルノダ、今後サウ云フ剩餘金出來レバ、課稅サレルノダト云フコトニナレバ、ソレハ全部割戻式ニナツテ、勞シテ何ニモ效果ガナイ、唯此ノ際非常ニ農民ニ

誤解ヲ與ヘルダケデアアル、近頃反産運動ガアルカラ、政府ハ其ノ反産運動ヲ實際ニ聽入レテヤツテ居ルノダ、表面今日ダカラ歳入ノ多キヲ望ムト云ツテ居ラレルガ、實ハ百万ヤ二百万ノ歳入ドロコノ話デハナイ、此ノ農民ノ感情ヲ非常ニ害シテ居ル、産業組合イデメヲヤツテ居ルノダト云フ工合ニ、非常ナ影響ガアツテ、國家ハ百万ヤ二百万ノ歳入ヲ擧ゲル所デハナイ、實ニ名狀スベカラザル大キナ損失デス、現在百姓ガ皆引合ヒマセヌカラ、産業組合ノ仕事サヘヤラシテ呉レスト云フコトデアラナラバ、モウ農業ニ見込ヲ失ツテドシ、離村スル、是ハモウ離村シテ居ルノデアリマスカラ、ソシナ百万ヤ二百万ノ問題デハナイ

○堀切委員長 簡單ニ願ヒマス

○北委員 イヤ其ノ程度デ止メマスガ、ソコデ實際問題トシテハ、出資ニ對スル配當ノ形式ニ對シテ、若シ課稅サレルト云フコトニナルナラバ、恐ラク利用高ニ對スル配當ト云フコトニ變ツテシマフ、唯非常ナ手數ヲ掛ケルダケダト私ハ考ヘル、其ノ點ニ對シテドウカ當局ノ見方ヲ一ツ御指示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小山委員 主稅局長ノ御説明ニ依リマス

ト、産業組合ノ本來ノ仕事ヲシテ居レバ課稅シナイノダ、之ヲ反面カラ見マス、逸脫行爲ガアルカラ、其ノ行爲ニ對シテ、剩餘金ガ相當アル見込ダ、ソレニ課稅スルト聞エマシタガ、サウデアリマスカ、ソレカラモウ一點ハ産業組合本來ノ仕事ヲヤツテ居レバ、課稅スベキ對象ガ現ハレナイ、今ノ北君ノ質問ノ中デ私ハ教ヘラレタノデスガ、多クノ仕事ヲヤツテ居ルガ爲ニ、剩餘金ガ出來ルヤウニモ思ハレル、然ラバ其ノ

仕事ノ性質ハドウ云フモノデアルカ、大體
デ宜シイガ、ドウ云フ仕事ガ産業組合本來
ノ精神ト合致シテ居ルモノデアルカ、ヤハ
リ利益ノアル配當ヲスル事業ガ、課税ノ對
象トナルベキ性質ノモノデアルカ、斯ウ云
フコトヲ簡單ニ御説明ヲ願ヒタイ

○大矢政府委員 私ハ先程産業組合ノ精神
ニ徹スレバ、課税スル何モノモナイデアラ
ウト云フコトヲ申上ゲタノデス、是ハ純粹
ニ其ノ精神ニ徹スレバト、斯ウ申上ゲタ管
デゴザイマス、現在ノ産業組合ノ經營方法、
剩餘金ノ分擔方法ガ、産業組合ノ法規ニ逸
脱ヲシテヤツテ居ルト言フ積リデハ、盲頭
ナイノデアリマス、先程カラ色々産業組合
ノ指導精神トカ、斯ウ云フコトガ問題ニナ
リマシテ、産業組合法ニハ明瞭ニ經濟活動
ノ方面ヲ規定シテ、精神上ノコトハソレ
程強ク現ハレテ居リマセヌデシタケレド
モ、石井サシモ産業組合ノ指導精神ニ付テ
續、御述ニナリ、大藏大臣モ亦大體其ノ指
導精神デヤツテ居ルダラウ、斯ウ申サレ
マシタ、サウ云フ指導精神ニ徹シテ剩餘金
ノ分配ヲ致シマスレバ、恐ラク課税スル何モ
ノモナクナルデアラウ、斯ウ云フコトヲ申
上ゲタノデアリマシテ、現在ノ剩餘金分配
方法ガ法規ヲ逸脱シテ居ル、斯ウ云フ趣旨
デハゴザイマセヌカラ、御諒承願ヒマス
ソレカラ北サシノ御尋デゴザイマスルガ、
私共ハ産業組合ガ其ノ組合設立ノ本旨カラ
致シマシテ、品物ヲ共同販賣スルヤウナ場
合ニモ、成ベク剩餘金ハ組合ニ殘サナイデ、
賣却額ニ近イモノデ組合員ニ渡ス、或ハ購
入シタ場合ニモ、利鞘ヲ組合ニ殘サナイデ、
組合員ニ安イ値段ヲ引渡スト云フ風ニスル
ノガ本來ノ趣旨デ、サウ云フ風ニ致シマス

レバ、大體一年出資額ニ對シテ、三分以内
ノ剩餘金程度デモ、相當堅實ナ經營ガヤツ
テ行ケルノデハナカラウカト思ヒマス、隨
ヒマシテ今度單位組合ニ付キマシテモ、拂
込出資額ニ對シテ年三分ヲ超エナイ場合ニ
ハ、免稅スルト云フ規定モ置キマシテ、或
ル程度ノ剩餘金ハ將來ニ備フル必要モアリ
マセウカラ、此ノ程度ノ剩餘金ニ止マル場
合ニハ、課税シナイト云フコトモ認メマシ
テ、苟モ絕對ニ剩餘金ノアル所、皆課税シ
ヨウト云フ趣旨デハナイノデアリマス、尙
ホ一年間ノ經營ヲシテ行ク中ニ於テモ、不
測ノ損害ト云フコトガ起リマスカラシテ、
其ノ年ノ途中ニ於テハ、或ル程度額ヲ組合
ニ殘シテ置クノ必要モアリマセウ、又一年經
過致シマシテ、清算シテ相當多額ノ剩餘金
ガアツタ場合ニハ、是ハ事業ノ分量ニ應ジ
テ配當シテ行クト云フコトハ、多少ノ手數ガ
掛ツテモ、寧ロサウ云フ風ニ努ムベキデ
ハナカラウカト存ジマス、サウ致シマス
課税上モ、其ノ事業ノ分量ニ應ジテノ配當
ニ付テハ、ソレハ課税標準ニ算入シナイ、斯
ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、
私ハ此ノ案ハ十分産業組合ノ本質ヲ考慮致
シテ居ル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス
尙ホ産業組合ノ現在ノ經營方法ガ、果シ
テ其ノ産業組合設立ノ本來ノ趣旨ニ則ツテ
居ルカドウカト云フコトデアリマス、是ハ
中々大キナ問題デアリマシテ、御承知ノ通
リ現在ニ於テモ、中小産業調査會ト申シマ
スカ、サウ云フ方面色々檢討セラレテ居
リマシテ、中小商工業者ノ分野ト、ソレカ
ラ産業組合ノ活動スベキ分野ト、ドウ調整
スルカト云フコトモ、餘程大キナ問題デア
リマシテ、是ハ今度ノ課税ノ問題以上ニ大

キナ問題カト存ジマス、此ノ問題ノ解決ハ
容易ナラスコトデアリマスガ、兎ニ角産業
組合ノ現實ノ活動狀態ニ即シテ考ヘテ、此
ノ時局下ニ於テ此ノ程度ノ負擔ハシテ戴イ
テ差支ナイデアラウ、將來若シモ産業組合
ノ活動ノ分野ガ、斯クデアルベシト云フ
コトガ決ツテ、サウ云フ方面ニ向ツテ行ク
場合ニハ、課税上又自ラ變ツタ考モ出テ來
ルデアラウガ、現實ニ即シテ見レバ、先ヅ
此ノ程度ノ負擔ハシテ戴クノモ差支ナカラ
ウ、斯ウ思フ次第デアリマス

○石井委員 大臣ガ御退席ニナリマシタ爲
ニ、私マダ大臣ニ根本問題ニ付テ二三尋ネ
ル所ガアルノデアリマスガ、ソレハ大臣ガ
御歸リニナリマシテカラ質問スルコトニ致
シマシテ、事務ニ關スルコトヲ御尋致シマ
ス、是ハ主稅局長モ御認メニナツテ居ルコ
トト考ヘマスガ、現在ノ産業組合ニ從事致
シテ居リマスル職員ノ給料ト云フモノハ、
極メテ安イノデアリマス

〔委員長退席、高橋委員長代理著席〕
寧ロ私共カラ申シマスナラバ、現在組合
ニ出テ居リマス剩餘金ト云フモノハ、斯ウ
云フ者ノ犠牲ノ蓄積デアルト申シテモ宜イ
位安イノデアリマス、大體私共ノ調査致ス
所ニ依リマス、職員一人ニ付テ平均一箇
月三十圓、斯ウ云フヤウナ狀態ノデアリ
マス、今後此ノ組合ニ課税ガ行ハレルト
云フコトニナリマス、勢ヒ斯ウ云フ人
達ニ對シテモ、唯犠牲ヲノミ強ユルト云
フ譯ニハ參ラスト思ヒマス、隨テ或ル程
度是等ノ人達ニモ世間並ノ待遇ヲスル、斯
ウ云フ必要ニ迫ラレテ居ルノデハナイカ、
サウ云フ際ニ是ハ當然課税サレルモノト考
ヘマスガ、課税技術ノ上カラ云フト、俄ニ

給料ヲ引上ゲタデヤナイカト云フヤウナ御
叱リモアルコトト考ヘマス、是等ニ對シマ
シテハドウ云フ態度ヲ以テ御臨ミニナル見
込デアリマスガ、御同致シマス

○大矢政府委員 産業組合ノ事業ニ直接携
ツテ居ル人々ガ非常ニ低イ報酬ニ甘ジテ活
動シテ居ルコトハ、私共十分認メルノデア
リマス、今度ノ課税ガ斯ウ云フ方面ニ惡影
響ガアルト云フコトガ明カデアレバ、是ハ
餘程考ヘナケレバナラス問題ト存ジマスガ、
度々申上ゲマスル通り、是ハ組合員ノ出資
ニ對シテ配當ヲスベキ方面ノ剩餘金ノミヲ
目指シマシテ、其ノ負擔ノ程度モ他ノ營利
法人ト違ツテ餘程輕減シテ居ル、斯ウ云フ
關係デアリマシテ、是ダケノ負擔ヲスル位
ナラバ、寧ロ或ハ其ノ從事シテ居ル者ノ俸
給ヲ澤山ニシテヤツタ方ガ宜イト云フヤウ
ナ感ジヲ起サセルト云フヤウニハ、私共實
ハ考ヘテ居リマセヌ、併シ從來非常ニ薄給
デアツタガ、此ノ際之ヲ優遇シテヤルト云
フノデ、或ル程度俸給ヲ殖ヤス、其ノ結果
剩餘金ガ少クナリ、負擔スベキモノガナク
ナルト云フデモ、是ハ私共彼此レ申上ゲル
筋合デハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス
○石井委員 大體分リマシタ、私ノ御尋申
上ゲルノハサウシタ場合ニ給料デモ引上ゲ
ルト云フコトニナリマス、動モスルト通
稅ノ積リデヤツテ居ルデハナイカ、サウ云
フ風ニ思ハレルトイケナイカラ御尋シタノ
デアリマス
次ニ御尋申上ゲタイノハ……
○高橋委員長代理 石井君、一寸御相談致
シマスガ、アナタノ質問事項ノ中ニ、文部省ニ
關係アル事項ガアリマスガ、中野普通學務
局長ガ此處ニ見エテ居リマスガ、今本會議

ノ方ニ呼バレテ居ルト云フコトデス、短時間デ終ルナラ便宜今……

○石井委員 ソレハ私ハ地方税制ノ折ニ御尋シタイノデアリマス、デスカラ明日出テ戴ケバ、本日ハ差支アリマセヌ

○高橋委員長代理 承知シマシタ

○石井委員 次ニ御尋申上ゲタイノハ減價償却ニ關スル問題デアリマス、是ガ從來産業組合等ハ非課税デアリマシタガ爲ニ、減價償却ニ付テハ割合ニ無頓著デアツタ、減價償却フスルノモ積立金フスルノモ同ジダト云フヤウナコトデ、從來行ハズニアルノデアリマスガ、是等ニ對シテモ此ノ後ハヤハリ減價償却モ、或ル程度、損金ノ中ニ見積ツテ行カナケレバナラヌト考ヘマスガ、ソレ等ニ對シテモ相當御認メニナリマスカドウカ、此ノ問題デアリマス

○大矢政府委員、減價償却モ適當ノモノハ之ヲ認メルノハ當然ト考ヘテ居リマス

○石井委員 ソレカラモウツ御尋申上ゲタイト考ヘマスノハ、此ノ案文ノ中ニ稅務官吏ハ隨時出テ行ツテ組合内部ヲ調査シテモ宜イ、斯ウ云フヤウナコトガアツタヤウニ考ヘテ居リマスガ、是ハドノ程度ニオヤリニナルガト云フ問題デアリマス、御承知ノ通りニ組合ノ經營、組合ノ事務ニ從事ヲシテ居ル職員ハ、極メテ薄給ノ者デアルト同時ニ、極メテ程度ノ低イ連中デアリ、又殆ド仕事一杯ヤツテ居ル連中デアリマス、サウ云フヤウナ關係ニアル組合ニ對シテ、稅務官吏ノ方ガ時々出デニナツテ、或ハ調査サレ、内容ヲ調べラレル、斯ウ云フヤウナコトニナルト、ソレガ爲ニ一人人ヲ置カナケレバナラヌト云フヤウナ事態ガ發生セストモ限ラヌノデアリマス、是等ニ對シ

テモ相當御考慮ヲ願ヒタイト考ヘマス、勿論必要ガアレバ調査ヲサレル必要モアリマセウシ、又臨檢ヲサレル必要モアラウカト考ヘマスガ、其ノ爲ニ組合ノ經營ニ支障ヲ來サセルヤウナコトガアツテハ大變デアアルカラ、ソレモ一ツ御好意アル臨ミ方ヲシテ戴キタイト思ヒマスガ、普通ノ營利法人ニ臨マルガ如ク御臨ミニナル御考デアアルカドウカ、之ヲ一ツ御尋シタイ

○大矢政府委員 是ハヤハリ課税團體ニナルノデアリマスカラ、斯ウ云フ規定ヲ置イタノデアリマスケレドモ、勿論是ハ必要以上ニ立入ツテ檢査ヲシヨウト云フヤウナ趣旨デハゴザイマセヌ、是等法人ノ特殊性モ十分考慮致シテ行キタイト存ジテ居リマス

○石井委員 モウツ御尋シタイト考ヘマスノハ、特別法人稅ノ第六條ニ於テ單位組合ニ對シテハ先程來數回御話ノアリマシタヤウニ、年三分以下ノモノニ對シテハ免稅

ヲスルト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、聯合會以上ニナルト、其ノ免稅ノ特典ガナイヤウデアリマス、同ジ聯合會ニ致シマシテモ、縣單位ヲ以テ聯合會ヲ拵ヘテ居ルモノモアルシ、或ハ又醫療組合ノ如キハ、町村單位ヲ以テ聯合會ヲ作ツテ居ルモノモアルノデアリマシテ、同ジ聯合會デモ極メテ力ノ弱イモノト、強イモノトガアリマス、是等ニ對シテ唯聯合會デアアルガ故ニ三分以下ノモノモ免稅ヲセスト云フコトハ、ドウモ趣旨ガ徹底セヌヤウニ考ヘマスガ、是ハ聯合會マデモ御認メニナルト云フ御考ハアリマセヌカ

○大矢政府委員 御承知ノ通り産業組合ハ、中小産者ノ相互扶助ノ精神ニ則ツテヤツテ居ルモノデアリマシテ、隨テ單位組合ハ其

ノ規模ト言ヒカト言ヒ弱イモノデアアルカラ、斯ウ云フ免稅點ヲ設ケタノデアリマスガ、聯合會ニモ御説ノ通り相當規模ノ大キイモノト、ソレ程大キイト言ヒ難イモノモアリマスケレドモ、兎ニ角單位組合ヲ基礎ニシテ其ノ上ニ成立ツテ居ルノデアリマスカラ、大體ヲ申シマシレバ、單位組合ヨリハ餘程鞏固ナモノト考ヘラレルノデアリマス、隨テ此ノ免稅ハ規模ノ小サイ、基礎ノ鞏固ト言ヒ難イ單位組合ニノミ限リタイト考ヘテ居リマス

○高橋委員長代理 石井君ニ申上ゲマスガ、只今農林大臣ガ御見エニナリマシタガ、他ノ委員會ニモ御出席ニナルノデ御急ギニナルヤウデアリマス、若シ事情ガ許セバ成ベク早く農林大臣ニ對スル御質問ヲナサレンコトヲ希望シマス

○石井委員 御注意モアリマシタノデ、早速農林大臣ニ御尋申上ゲマス、實ハ此ノ問題ハ大藏大臣ト御同席ノ上デ質問致シタイ

ノデアリマスガ、農林大臣御急ギノヤウデアリマスカラ、甚ダ残念デアリマスガ、農林大臣ダケニ御尋シタイト思ヒマス、私ノ御尋申上ゲタイト考ヘルコトハ、産業組合ニ對スル課税ガ、其ノ構成員デアアル農村民ニ及ボス心理上ノ影響ハドウデアアルカ、是ガ應デ農村ノ生産ノ上ニ響イテ來ルノデハナイカ、此ノ問題デアリマス、之ニ付テ實ハ私ハ是非大藏大臣御同席ノ下ニ御伺シタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、此ノ際農林大臣ダケノ御見解ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、ソコデ的確ナル御答辯ヲ得タイ爲ニ、私見ヲ申上ゲテ置キマスガ、ソレニ對スル御意見ヲ拜聽シタイト思ヒマス、申スマデモナク、現在ノ農村ト農村ノ産業組合ト

ノ關係ハ、極メテ密接不離ノ關係ニアルノデアリマシテ、殊ニ現在ノ時局ニナツテ後ハ、殆ド農村活動ノ大部分ハ、産業組合ガ手傳ツテ居ルト申シテモ差支ナイノデアリマス、即チ現在ノ農村ニ於テハ、産業組合ノ手助ケナクシテハ、殆ド農村活動ハ出來ヌト云フヤウナ工合ニ、非常ニ密接ノ關係ニアルコトハ農林大臣モ御認ニナルト考ヘマス、斯ノ如ク農村民ハ産業組合ニ賴リ切ツテ居ルノデアリマス、而モ亦産業組合ニ對シテハ、産業組合員デアアルコトヲ一種ノ誇

ヲ以テ臨ンデ居ルノデアリマス、何トナレバ農村ノ産業組合ト云フモノハ、國家ハ其ノ税金ヲ免除シテ、吾々ノ經濟或ハ産業ノ爲ニ援助サセル所ノ尊イ機關デアアル、其ノ組合員デアアル吾々ダト云フ一種ノ誇ト高イ矜持ヲ持ツテ組合員タルコトニナツテ居ルノデアリマス、其ノ吾々ガ非常ニ賴リト致シ、吾々ガ尊敬シテ居ル其ノ産業組合ガ、成程普通ノ營利法人ト同様ニ取扱ハレテハ居リマセヌガ、少クトモ課税サレト云フ心持ダケハ私ハ同ジデアルト考ヘマスガ、吾々ガ賴リ切ツテ、吾々ガ信ジテ居ル其ノ産業組合ガ、ヤハリ普通ノ營利會社ト同様ニ課税サレルノダ、斯ウ云フコトニナツタ時ノ農村民ノ失望ハ、蓋シ少クナイモノガアルト考ヘルノデアリマス、是ハ私ノ常ニ考ヘテ居ル問題デアリマスガ、現在ノヤウナ時局ニ於テ頗ル張切ツテ働イテ居ル農村民ニ失望ヲ與ヘ、或ハ不滿ヲ與ヘルト云フコトハ、最モ慎マナケレバナラヌト考ヘマス、其ノ失望或ハ不滿ヲ此ノ産業組合課税ヲ通ジテ、若シ起サセタト云フコトニナツタナラバ、ソレハ取返シノ付カヌ大ナル問題デハナイカト考ヘマス、現在ニ於ケル農村ノ

唯一ツノ特權ト考ヘテ居ル産業組合免稅ノ恩典ヲ、今後ハ取除カウトシテ居ル、僅ニ農村ニ殘ツテ居ル一種ノ特權——一種ノ特權ト申スト非常ニ大キイウデアルガ、其ノ特權ヲ國家ハ剝奪シヨウト致シテ居ルノデアル、サウ云フ風ニ考ヘテ參リマシタナラバ、會テ農村ハ農村ニアツタ有ユルモノヲ段々ニ剝奪サレ來ツテ、現在ノ農村ニ至ツタノデアリマス、元々農村ト云フモノハ、現在デモサウデアアルガ、自給自足ヲ原則トシテ立ツテ居ツタノデアリマス、ソレガ明治維新以來ノ貨幣經濟ト共ニ、貨幣ヲ以テ總テノモノヲ賄ハネバナラスト云フコトニナツテ參ツタノト、モウ一ツハ資本主義經濟ニ依ツテ、今マデ農村ガ自給自足ヲ以テヤツテ居ツタ衣食住ノ問題ニ致シマシテモ、寧ロ農村ガ作ルモノヨリモ資本主義經濟ニ依ツテ作り出サレタモノノ方ガ安イ、隨テ金ヲ出サナケレバナラスト云フ所カラ、斯ウ云フヤウナ農村ノ持ツテ居ツタ特長マデモ剝奪サレタ所ノ今日ノ農村デアアル、其ノ農村ヲ守ツテ呉レル所ノ唯一ツノ特權ハ産業組合デアアル、其ノ産業組合ニ對スル課稅ヲ今日決行セントシテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク考ヘマシタナラバ、農民ノ心理ニ及ボス影響ハ極メテ少クナイト考ヘルノデアリマス、之ニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ承ツテ見タイト考ヘマス

モ、是ハ眼前ノ事實トシテ認メザルヲ得ナイコトデアリ、又將來ニ向ツテ其ノ貢獻ヲ願フ次第デアリマス、而シテ只今政府委員ヨリ御答ヲシテ、私ハ中途テ聽キマシタガ、隣保共助ノ精神カラ組合ガ出來テ、其ノ組合ノ本旨ニ從ツテ今日ノ發達ヲ爲シ、貢獻ヲ爲シテ居ル、斯ウ云フ建前カラ之ニ對シテ從來課稅ノ問題ガ屢々起ツタニ拘ラズ、今日マデ組合ニ對スル課稅ト云フコトガ行ハレナイデ來タト云フコトハ、行ハレナイデ來タト云フコトガ當然ナコトト自分ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ今回稅制ニ根本的ノ改革ヲ加ヘ、サウシテ此ノ非常時局ニ即應シテ、謂ハバ有ユル者ガ、ドノ階級ニ於ケル者モ負擔ヲシ得ル者ハ負擔ヲサセヨウ、シヨウ、斯ウ云フ氣分デ立案ガサレルニ當リマシテ、此ノ事變中ノ特別ナ處置トシマシテ、産業組合ニ於キマシテモ多少ノ負擔ヲスルト云フコトハ、他ノ組合等ノ振合カラ考ヘテモ、是ハ已ムヲ得ナイコトデハナカラウカ、斯ウ云フ意味デ此ノ稅ノ案ガ立案サレテ居ルノデアリマシテ、其ノ點カラ特別法人タル産業組合ニ對シテ、他ノ特別法人タル商業組合、工業組合、斯ウ云フモノトノ同ジ意味ヲ以テ幾分カノ負擔ヲサセル、斯ウ云フコトニ提案サレ、立案ヲサレタト云フコトハ已ムヲ得ナイコトデアリ、又ソレガ農村ノ人々、組合ノ人々ニ對シテ、心理上只今御話ノヤウナ影響ヲ及ボス、斯ウ言ヘバソレモ一ツノ見方デアルケレドモ、此ノ困難ナル時局ニ當ツテ、負擔ヲスルト云フコトノ筋合デナイト考ヘルヤウナモノマデモ忍ンデ負擔ヲスル、斯ウ云フ考ヘ方ヲ致シマスレバ、産業組合トシテハ、ヨリ以上ノ負擔ノ努力ヲシタト云

フコトニモ相成ル譯デアリマシテ、隨テ此ノ法ノ上ニ於キマシテモ、他ノ振合カラ言ヒマス、相當率ノ上等ニ於キマシテ輕微ナコトニナツテ居ルノデアリマスノデ、ソレ等ノ點ヲ併セ考ヘマシテ、私ハ此ノ稅案ヲ内閣ノ方針トシテ提案ヲスル場合ニ於キマシテ、此ノ程度ノコトハ已ムヲ得ナイモノデアアル、斯様ニ考ヘ、又其ノ程度ニ於テハ産業組合、又農村ノ人々モ、之ヲ理解シテ我慢ヲシテ貰フノ外ハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、此ノ事ハ先般此ノ案ガ本會議ニ於テ論議サレマシタ際ニモ、一應其ノ趣意ヲ簡單ニ答ヘテ置イタ譯デアリマスガ、只今詳シク御意見ヲ述ベテノ御尋デアリマスカラ、重ネテ此ノ意味ヲ是認スルト云フコトヨリモ、已ムヲ得ザルコトデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル意味ヲ申上ゲテ農村ノ人々、産業組合ノ人々モ亦此ノ點ニ於テ諒解セラレシコトヲ、此ノ答辯ヲ通シテ希望致シテ置ク次第デアリマス

○石井委員 農林大臣ガ已ムヲ得ズ御認ニナツタト云フコトハ、能ク分ツテ居ルノデアリマスガ、私ノ御尋申上ゲテ居リマスルハ、此ノ課稅ガ農民ニ如何ナル心理的ノ影響ヲ與ヘルカ、之ヲドウ御觀察ナサルカト云フ問題デアリマス、今ノ御答辯ト少シ違フヤウデアリマス

○島田國務大臣 私ハ只今終ヒニ申上ゲタヤウニ、農村ノ人々、組合ノ人々モ已ムヲ得ナイコトデアアルト云フコトヲ、政府ガ提案者トシテ述べテ居ルコトヲ理解セラレラレデアラウ、又スルコトヲ希望スルト云フコトハ、即チ逆ナ心理狀態ガ動クヤウナコトハナイダラウ、此ノ程度ニ於テハサウ云フ組合ニ對シテ特ニ偏頗ナ處置ヲシ、組合成立ノ本旨ニ對シテ反スルノ行爲ヲ政府ガシテ居ルト云フヤウナ意味ニ於テ、心理ガ動クヤウナコトハナカラウ、又動カザルコトヲ衷心カラ希望シテ居ル、斯ウ云フ意味ヲ申上ゲタ譯デアリマス

○石井委員 私共モ大臣ト同様ニ、農民ガ斯ウシタコトニ依ツテ、或ハ心理ガ動クト云フヤウナコトヲ、今此處デ申上ゲルノデハナイノデアリマス、又サウ云フコトヲ願フモノデモアリマセシ、又サウ云フコトガアツテハナラナイト考ヘルノデアリマス、併シナガラ此ノ新シイ課稅ヲスルト云フ場合ニ於テ、是ガ課稅ヲ受ケル者ニハ、ドウシタ心理的ノ影響ガアルデアラウカト云フ考察ガ必要デアラウト思フ、此ノ點ハ農林大臣デナク、大藏大臣ニ聽イテ見タカツタノデアリマス、其ノ考察ニ付テ私承ツテ見タイト思ツタノデアリマスガ、ソレハナイト考ヘルト言ハレバソレダケノ話デアリマスガ、私ハ最近ニ於キマスル農政上ノ有ユル失政ト申シマスガ、要スルニ有ユル農政ノ貧困ト云フモノガ、有ユル失望ヲ農村ニ與ヘテ居ルノデアリマス、非常ナ失望ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、其ノ失望ノ矢サキニ、又斯ウ云フ唯一ツ殘ツテ居ル所ノ、農村ノ特權ヲ取除カレルト云フコトニナツタナラバ、尙ホ失望ヲ重ネサセル所以デハナイカト云フコトヲ、私農村ニ直接ニ居ル者デアアルガ故ニ、サウ云フコトヲ非常ニ杞憂ヲ致スノデアリマス、ナケレバ結構デアリマス、若シサウ云フヤウナ失望ヲ段々重ネテ來タ結果、農村ノ氣力、或ハ農村ノ精神ト云フヤウナモノニ龜裂ヲ生ズルヤウナコトガアツタナラバ、今農林大臣ガ一

生懸命苦心サレテ居ラレル農産物ノ増産ト云フヤウナコトニモ、直チニ響イテ來ルモノト考ヘルノデアリマス、私ハ現在ノ如ク動力モ不足シ、肥料ノ如キモ不足ヲ致シ、物資モ缺乏致シテ居ツテ、必要ナ資材モ手ニ入ラナイヤウナ、斯ウ云フ場合ニ於テ、而モ農村ニ増産ヲヤラセルト云フノデアリナラバ、常ニ農村ニ對シテ活ヲ入レテヤリ、非常ニ満足ヲ與ヘテヤルト云フヤウナ政治ガ必要デアルト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク農村ヲ常ニ勵マシ、農村ヲ煽テト言ヘバ語弊ガアリマスガ、サウ云フ氣持ヲ以テ農村ニ臨マナケレバナラヌ時ニ、唯一ツ殘サレテ居ル農村ノ特權ヲ剝奪サレルト云フヤウナコトハ、決シテ私ハ望マシイ政治ガハナイト考ヘル、先程來申上ガマスルヤウニ、今日有ユル物資ガ缺乏シテ居ル際、農村ニ満足ナル所ノ成果ヲ得ヨウトスル爲ニハ、ドウシテモ農村精神ノ作興、農民精神ノ振起、斯ウ云フコトニ其ノ結果ヲ求メル外ハナイト考ヘルノデアリマス、其ノ精神力之ニ付テハ此ノ間此處デ米內總理大臣モ、戰爭ノ時ニハ普段持テナイヤウナ大キイ砲彈モ持テルト云フ、此ノ氣力ガ必要ダト仰シヤツタガ農村ニ於テモ、此ノ不足シテ居ル物資ニ對シ、不足シテ居ル肥料ニ對シ、不足シテ居ル努力ニ對シテ、有ユル惡條件ヲ克服シテ行ツテ、國家ノ要求ニ應ジヨウトスル爲ニハ、ドウシテモ農民精神ノ作興ヨリ外ハナイト考ヘマス、其ノ農民精神ノ作興ニ聊カデモ歸ノ入ルヤウナ政策ハ、私ハ此ノ際慎ムベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、私共ハ産業組合ガ、課稅ヲセラレルト云フヤウナコトハ問題ヅヤナイト考ヘマス、其ノ課稅ノ重

壓ヲ受ケルト云フコトヨリモ、精神上ノ影響ヲ受ケルコトヲ、非常ニ憂慮シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ見地ニ於テ御質問申上ダクノデアリマス、ソレハ最後ハ私ノ意見ニナツタト思ヒマスカラ、隨テ御答辯ガナクテモ結構デアリマスケレドモ、斯ウシタ氣持ニ對シマシテハ、ハツキリシタ態度ヲ以テ農林大臣ガ御示ニナツテ戴クコトガ、農村民ヲ奮起セシメル所以ダト考ヘルノデアリマス、ドウゾソレニ對スル御考ガアリマシタナラバ、御漏シ願ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 私ノ氣持ハ先刻來申述べタ通りデアリマスガ、石井君ノ熱心ニ御述ニナリマシタ其ノ意味モ、私ガ今政府ノ當局トシテ申上ダテ居ル意味モ、農村ヲシテ失望セシメズ、之ニ勵イテ居ル人達ヲシテ勇ミ喜ビ、ソレカラ假令勇ミ喜バナクトモ、時局ノ認識カラ今日トシテハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ覺悟ヲ以テオ互ニ行カネバナラヌ、斯ウ云フ氣分ニ於テ一致ヲシタイト云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハ石井君ノ述ベラレテ居ル御趣意ト何等變リハナイノデアリマス、而シテ又我國ノ農村ノ人々ハ、此ノ長期ノ戰爭ニ尙ホ是カラ臨シテ行カネバナラヌト云フ此ノ場合ニ於キマシテ、必ズヤ其ノ考ヲ十分ニ持チ、又ソレヲ現ニ持ツテ此ノ國難ヲ忍シテ進ミツツアルモノト、斯様ニ考ヘテ居リマス、此ノ産業組合課稅ノ如キハ、額ハ小ナリト雖モ、サウ云フ氣持ガ宜シクナイデハナイカト云フ御考ニ對シテハ、其ノ氣持自體ガソレヲ轉換シテ、ソレマデモシナケレバナラヌト云フ程時局ガ重大デアリ、皆背負切レナイモノマデモ背負ツテ行カウデハナイカ、行カネバナラヌ、斯ウ云フ意味ニ考ヘテ、其ノ方ニ向ツテ指

導シテ、其ノ方ニ向ツテ理解ヲ求メテ進ミタイ、斯ウ云フ自分ノ氣分デアルト云フコトヲ申上ダテ、マア御答デハナイカモ知レマセヌガ、自分ノ氣分ダケヲ申上ダテ置キマス

○高橋委員長代理 石井君ニ一寸御相談致シマスガ、長野君ガ關聯シテ質問致シタイト云フ申出ガアリマシタカラ、長野君ニ許シマスガ、成ベク簡潔ニ御願致シマス――長野君

○長野(長)委員 産業組合ノ保險業經營ニ關スル政府ノ御方針ヲ同志カラ曩ニ御質問ヲ申上ダタニ對シマシテ、農林大臣ハ調査準備中デアルト云フコトヲ以テ、速時御回答ヲ回避セラレタノデアリマスガ、最早御調査モ御決心モ出來タノデハナイカト思ヒマスルガ、此ノ際御明答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 此ノ問題ニ對シマシテハ農林省ト致シマシテモ、産業組合ノ資金ガ保險業ノ如キ他省ノ所管ニ屬シ、又營利ヲ目的トスル、斯ウ云ツタヤウナ仕事ニ向ケラレルト云フコトハ監督上ノ立場カラ致シマシテ、斯ウ云フコトニ付テ、是マデノ研究調査ニ依リマシテ適當デナイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ以テ處置ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ前松村君ノ御質問ノ際ニハ、尙ホ研究調査ヲ致シテ居ツタ次第デアリマスガ、只今ノ狀態ヲ申シマス、監督官廳トシテ、此ノ組合ガ保險會社ヲ買收シテ之ヲ經營スル、斯ウ云フコトハドウモ適當デナイ、斯ウ云フ風ナ考ヲ以テ、其ノ考ニ從ツテ處置ヲシタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

デアリマスルガ、然ラバ其ノ計畫ヲ放棄セラレルト云フ御方針ニ決定ヲシテ居ルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○島田國務大臣 是ハ然ルベカラズト考ヘマシタ以上ハ、計畫ハ中止シ取止メヲスルヤウニシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、又併シ其ノコトヲ組合ニ對シテ省トシテ通知シ表示ヲ終ツテ居ル譯デハアリマセヌガ、サウ云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ處置ヲシタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 然ルニ尙ホ茲ニ御尋申上ダタイノハ、産業組合關係ノモノガ個人的ニ出資スルトカ、或ハ其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、産業組合ト混淆シタ觀念ニ陥ルガ如キ結果ヲ招來スル形式ヲ以テスル場合ガ假リニアルトシマシテモ、驟然之ヲ放棄セシムル御意思デアリマスルカ、御明答ヲ願ヒマス

○島田國務大臣 現在ノ農林省トシテハ取調ベテ居リマスル事柄ニ付テハ、只今申上ダタ通りデアリマス、其ノ以外ノ事柄ニ付テ、更ニ他ノ計畫ノアル場合ニハ、是ハ假定的ニ申上ダタルコトハ出來マセヌガ、其ノ場合ニハ又ソレニ對シテ適當ナル處置ヲ執ラネバナラヌト思ツテ居リマス、只今申上ダタ所デ私ハ意味ハ明瞭シテ居ルト考ヘテ居リマス、農林省トシマシテハ産業組合ノ資金ガ、農林大臣ノ監督外ニ行クヤウナ結果ニナルヤリ方、之ニ對シテハ現行法令ノ建前カラ然ルベカラズ、適當デナイ、斯ウ云フ考ノ下ニ今ノ問題ヲ處置シテ行ク積リデアリマス、斯ウ云フ風ニ御諒解ヲ願ヒマス

○長野(長)委員 茲ニ私ハ特ニ我ガ日本ノ農村ノ生命トモ言フベキ經濟的ニ、將タ精

神のニ吾々ノ最モ尊重ヲ致シマスル所ノ産業組合ノコトデアリマスルカラ、特ニ突込シデモウツ御質問申上ゲテ置キタイと思ヒマスルコトハ、産業組合ニ關係シテ居ル個人、又ハ其ノ他産業組合ニ混雜スル觀念ニ陥ルガ如キ者ガ、此ノ保險業ヲ經營スルト云フコトハ、直チニ以テ産業組合其ノモノニ、精神的ニ將タ經濟的ニ、又農村社會ト云フモノト、全國三千万ノ農民大衆ノ興廢ニモ關スルヤウナ、重大問題ニ陷ラストモ限ラヌデアリマス、隨ヒマシテスカル場合ガアツタ場合ニ於テ、農林大臣ハ如何ニ之ニ對處スルカト云フコトヲ、茲ニシツカリシタ御觀念ヲ持タレ、又此處ニ於テ御明答ヲ煩ハサレト云フコトガ、農林大臣ノ當然ノ責任デアルト思フ、此ノ意味ニ於テ私ハ直チニ具體的ニハツキリシタ御回答ヲ御願シタイデアリマス

○島田國務大臣 ス様な問題ニ關シテ假定ヲ以テソレニ對シテ一々御答フスルコトハ差控ヘタイト考ヘマス、唯私ハ最初ニ申上ゲタヤウニ、現行ノ法令ノ下ニ於テ、産業組合ノ資金ガ、農林大臣ノ監督ノ及バナイ方面ニ向ツテ動ク、且ツ或ハ營利的ナ事業ヲソレニ依ツテ營ムト云フ、斯ウ云フコトハ適當デナイ、斯様な考ヲ以テ處置フスル意味デアル、此ノ言葉ヲ以テ、後ハ意見ニ付テハ適當ニ御解釋ヲ願ヒタイと思ヒマス

○長野(長)委員 假定ノコトニ付テハ云々ト云フ御言葉デアリスマルガ、現ニ私共ハ左様ナ策動ト云ヒマスルカ、計畫ト云ヒマスルカガアルト云フコトヲ現ニ聞イテ居ルノデアリマス、又實際上カラ考ヘマシテモ、アリ得ルコトデアリマス、隨ヒマシテモウ現ニ茲ニサウ云フ噂ガアルト云フコトヲ私

カラ明言スル以上、之ヲ假想的ノコトデアルトシテ、遁辭ト言フト失禮カモ知レマセヌガ、一種ノ遁辭ニナルガ如キ御答辯ヲナサルト云フコトハ、苟モ我國ノ國民生活ノ根本トモ言フベキ農政ヲ掌ラレル農林大臣トシテ、甚ダ不穩當デハナイカト思ヒマスノデ、之ヲ假想トカ假定トカ云フヤウナ言葉ニ御隱シニナライヤウニ、斯ル噂ガアレバ、萬一アツタ時ニハ斯ウスルト云フ、具體的ナ御答ヲ戴キタイデアリマス

○島田國務大臣 只今長野君ノ御述ベニナルヤウナ事柄ガ實現シタ場合ニハ、農林大臣トシテ適當ノ處置ヲ致シマス

○長野(長)委員 ソレデハモウ一ツ、承ル所ニ依ルト會テ此ノ産業組合ニ於テ保險業經營ニ付キマシテ、二百万圓ノ手附金支出ヲ致シタト云フコトデアリマス、是ハ違法行為デアリハシナイカ、若クハ背任行為ト御認メニナリハシナイカ、之ニ付テノ御名答ヲ願ヒタイ

○島田國務大臣 是等ノ點ニ付キマシテハ、一旦之ヲ中止スルト云フコトニ方針ヲ決メタ以上ハ、善後處置トシテ適當ニ處置スル積リデアリマス

○石井委員 私ハモウ少シ進ミタイと思ヒマス

○高橋委員長代理 農林大臣ハ只今貴族院ノ豫算總會カラ頻リニ呼出シニ來テ居ラレマス

○石井委員 他ノ大藏省關係デ……

○北委員 農林大臣ニ一言ダケ關聯事項デ伺ヒタイ

○高橋委員長代理 ソレデハ御許シ致シマス

○北委員 只今農林大臣ノ御答辯ノ中ニハ、

産業組合ニ關係シテ居ル者ガ、個人トシテサウ云フヤウナ保險事業ト云フヤウナモノニ關係シタ場合ニ於テモ、處置フスルト言ハレタデアリマスガ、産業組合ハ特別ノ人間デハナイ、同ジ日本國民デアリマス、産業組合ヲ經營シテ居ル人間ダカラ、個人デヤツタラ處置スル、ドウ云フ法律デヤルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○島田國務大臣 北君ノ御質問ハ私ノ答辯ノ意味ヲ、十分ニ御諒解下サツテ居ラスノデハナカラウカト思ヒマス、農林大臣ハ産業組合ノ所管大臣デアリマスカラ、農林大臣トシテ監督上スベキ問題ガ起ツタ場合ニハ、假定ノ問題ハ別ト致シマシテ、事實起ツタ問題ニ付テハ、農林大臣トシテ適當ナル處置ヲ執ル、斯ウ云フコトヲ言ツタノデアリマシテ、個人ノ處置フスルト云フヤウナコトハ申シマセヌ

○北委員 ソレデ分リマシタ

○石井委員 デハ農林大臣ハ結構デアリマス、大藏大臣ハ四時ニ御出デニナルト云フノデスカ

○高橋委員長代理 四時ニ來ラレルヤウニ、先程仰シヤツテ居ツタヤウデス

○石井委員 私ハモウ二三點デアリマスガ、大臣デナイト工合ガ惡イヤウニ思ヒマス、大臣ノ來ルマデ次ノ方ニ

○高橋委員長代理 ソレデハコデ一寸御相談シマセウ

(速記中止)

○高橋委員長代理 ソレデハ長野君

○長野(長)委員 大藏省ノ政府委員ニ一ツ御伺致シタイと思ヒマス、産業組合關係ノ問題ニ付キマシテ、先程來石井君カラモ御質問ガアリマシタガ、多少重複スル點ガア

ルカモ分リマセヌガ、承ツテ見タイと思ヒマス、此ノ時局下ニ於キマシテハ、産業組合ト雖モ相當ノ負擔ヲシナケレバナライト云フ見解ニ付キマシテハ、尤モ至極ノ事ト私モ思フデアリマス、併シナガラ茲ニ特ニ大藏當局トシテ考ヘテ戴キタイと思ヒマスル點ハ、産業組合ハ納稅ヲシナクテモ宜イト云フ傳統的ナ信念ノ下ニ、四十年來ノ發育ヲシテ來タモノデアリマス、サウシテ現在ハソレナラバ如何デアルカト、斯ウ申シマスルト、中々現在ト雖モ其ノ内容ハ決シテ都會ノ窓カラ眺メ、想像シタヤウナモノデハナイデアリマシテ、概シテ産業組合ト云フモノハ、マダ獨リ立チテ完全ニ行キ得ナイ狀態ニアルデアリマス、ソコデ此ノ際ニ於テ、此ノ四十年來ノ傳統的信念ヲ破壞スルガ如キ處置ヲ執ラレマスコトハ、種々重大ナ影響ヲ及ボスデアリマス、先ツ其ノ主ナルモノヲ舉ゲテ見マス、組合員ハ此ノ組合ノ爲ニ盡スコトガ、公益的事業デアルト確信シテ居ル、サウシテ日夜獻身的ニ努力ヲ致シテ居リマス、サウシテ役職員ハ如何デアルカ、此ノ役職員ナルモノハ、産業組合ガ人的結合ヲ主トシテ居ル關係上、全ク是ハ郷土ニ對スル奉仕デアルト云フ觀念カラ致シマシテ、薄給ニ甘ンジテ居ルノデアリマス、現ニ全國一人平均ノ給料ハ、産業組合ニ於テハ三十圓十五錢トナツテ居リマス、サウシテ町村役場ニ於キマシテハ三十六圓十錢、ソレカラ農會ニ於キマシテハ四十三圓十錢、小學校ノ教員ハ五十三圓、村ノ役員ト稱スル者ノ中デ最低給ニアルノデアリマス、斯様な犧牲的、奉公的ナ精神デヤツテ居リマス役職員アルガ爲ニ、産業組合ガ發育ヲ致シテ來テ、而

モ此ノ戰時下ニ於ケル國民軍ノ編制ニ於テ——所謂町村民衆トシテ、或ハ産業ノ上ニ、或ハ社會奉仕ノ上ニ、或ハ軍事後援ノ上ニ、非常ナ貢獻ヲ致シテ居ル、所ガ今茲ニ此ノ信念ヲ破壞セラレルガ如キ處置ヲ執ラレマス、直チニ彼等ハ一ツノ營利團體ニ於ケル役員デアルト云フ觀念ニ、變轉ヲ致シテ來ルノデアリマス、是ガ日本ノ町村ノ民衆生活ニ對シ、又民衆ノ營シテ居ル産業ニ對スル影響ノ絶大ナルモノアルコトヲ考ヘル時ニ於テ、單ニ税金ト云フコトダケデ、此ノ大切ナ國民力ノ中樞力ヲ破壞スルヤウナ處置ヲセラレコトハ、大局カラ見テ甚ダ探ル所デハナイト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、是ガ一ツデアリマス、政府委員ハ之ニ對シテ如何ナル御考ヲ持ツテ居ルカ、御伺致シマス

○大矢政府委員 産業組合ノ理事其ノ他ノ役職員ガ、非常ニ薄イ報酬ニ甘シテ、犧牲的、奉仕的ノ觀念デ組合員ノ爲ニ活動シテ居ルト云フコトハ、洵ニ其ノ通りト存ジマス、組合ノ根本精神ハ、前ニ石井サナカラ御話ノアリマシタ通り、相互扶助ノ精神ニ則ツテ、サウシテ非常ニ公共觀念ヲ基礎トシテ居ルト云フコトハ、全ク御説ノ通りカト存ジマス、此ノ度課税スルニ當リマシテモ、其ノ點ハ十分考慮シマシテ、各種ノ除外例ヲ設ケマシテ、普通ノ營利法人ト異ル扱ニシテ居ルノデアリマス、一般ノ國民ガ漸次重キ負擔ニ耐ヘ忍シテ居ル此ノ際デゴザイマスカラ、産業組合ヲ構成スル農村ノ中小産業者等ニ於キマシテモ、恐ラク今回程度ノ負擔ニ依ツテ、平素ノ誇ヲ非常ニ傷ツケラレルト云フ風ニハ考ヘラレナイノデハナカラウカト思ヒマス、其ノ本質ニ鑑ミテ

ノ所得税、法人税ヲ免税スルト云フコトハ、産業組合法自體ニ明ニ存置シテアルノデゴザイマシテ、要ハ此ノ非常時局下ニ於キマシテ、國費ノ一部ヲ負擔スルト云フノデアリマスカラ、産業組合ノ隣保共助ノ精神ヲ擴充致シマスレバ、奮ツテ此ノ負擔ニ任ジテ戴クコトガ出來ルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 更ニ、全國七百万人ニ餘リマス所ノ産業組合員ハ、産業組合ヲ基調トシマシテ、經濟的、社會的ノ統制事業ニ貢獻ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ絶大ナル力ヲ持ツテ居ルコトハ、假ニ大藏當局ガ農村ニ足ヲ一度踏入レテ戴キマシタナラバ、痛感セララルコトト存ジマス、所ガ此ノ課税ヲセラルルコトニ依ツテ、此ノ七百万組合員ノ頭ハ混亂スルノデアリマス、現ニ混亂セントシツツアルコトハ、全國カラ殺到シテ來ル所ノ組合員ノ陳情ノ狀態ニ依ツテ明カデアリマス、ソコデ私ハ、國ガ課税ヲスルト云フコトガ、單ナル課税技術ニ因ハレテ、國民生活、或ハ國民ノ産業經濟ト云ツタ大切ナモノヲ忘レテハナラナイト思フノデアリマス、此ノ産業組合ガ現在ノ統後ニ於テ、又現在ノ日本ノ文明文化ノ根柢トモ謂フベキ農村ヲ預ツテ居ル最モ大切ナモノデアルト云フコトニ、十分頭ヲ使ツテ戴キマスカラバ、此ノ課税ト云フコトニ付テハ、モウ少シ深刻ナ御研究ガナケレバナラヌト思フ、私ハ敢テ全然課税ヲスルナト云フノデアリマセヌ、其ノ實體ト、サウシテ之ニ課税ヲセラルル所ノヤリ方トノ間ニ、ドウモマダ——深刻ナ研究ガ立ツテ居ナイノデハナイカト云フコトヲ、痛感セザルヲ得ヌノデアリマス、

更ニ當局セラレテハ、此ノ點ニ付テ如何ニ經濟的、社會的統制上ニ貢獻ヲシテ居ルカ、同時ニ此ノ課税ヲスルコトニ依ツテ、ソレガドレ程今後ノ食糧問題ヲ初メトシテ、有ル農村方面ニ於テ分擔ヲ致シテ居リマス所ノ仕事ノ上ニ、影響スルモノデアルカト云フコトヲ、御研究ナサレル御意思ハナイノデアリマセウカ、モウ十分ソレ等ノ研究ハ立ツテ御計畫ニナツテ居ルモノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○大矢政府委員 産業組合ノ現ニ果シツツアル機能ニ付キマシテハ、私共十分之ヲ認メテ居ル次第デゴザイマス、此ノ度ノ課税ガ果シテ産業組合ノ現實ノ活動ヲ、著シク阻碍スルカドウカト云フ問題ダと思フノデアリマス、産業組合ハ固ヨリ營利法人デハゴザイマセヌ、隨ヒマシテ現在ニ於キマシテモ、大體其ノ半數程度ハ殆ド剩餘金ヲ擧ゲテ居ナイカト思ツテ居リマス、又多少剩餘金ノ分配ヲシテ居ルモノニ於キマシテモ、百分ノ一、百分ノ二、百分ノ三程度ノモノガ多イノデゴザイマシテ、最高ハ百分ノ六ト制限セラレテ居リマスガ、百分ノ六トカ、百分ノ五トカ、百分ノ四トカ云フ程度ノ配當ヲ致シテ居ルハ、サウ數ガ多クゴザイマセヌ、而シテ出資ニ對シマシテ年三分以下ノ剩餘金ノ場合ニハ、免税スルト云フコトニナツテ居リマスカラ、産業組合ノ相當部分ハ課税ヲ受ケナイ、斯ウ云フコトニナルノデハナカラウカ、課税ヲ受ケルモノハ剩餘金ヲ相當程度以上擧ゲテ居ルモノダケデ、其ノ數カラ言ツテモ割合少イ、隨ヒマシテ此ノ程度ノ負擔デ、産業組合ノ活動ガ著シク支障ヲ受ケルト云フ虞ハナイカト存ジマス、其ノ課税ニ依ツテ受クル精

神的ノ影響ニ付キマシテハ、色々ノ見方ガアルノダラウトハ存ジマスケレドモ、度々繰返シテ申上ゲテ恐縮デハゴザイマスルガ、此ノ際ノコトト致シマシテハ、此ノ程度ノ負擔ハ萬已ムヲ得ナイモノデハナカラウカト、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○板谷委員 一寸關聯シテ……先程ノ小山君ニ對スル主税局長ノ答辯ガハツキリ致シマセヌ、産業組合本來ノ使命ヲ全ウシテ居ルナラバ、別ニ課税スル必要ハナイガ、經濟上ノ利益ヲ擧ゲテ居ルカラ幾ラカ課ケル、斯ウ云フヤウナ意味ノ御答辯ト考ヘマス、經濟上ノ利益ト云フコトハ、要スルニ營利的ノ仕事ニナル、御承知ノ通り現在産業組合、商業組合ト云フモノハ反目シテ非常ニ爭ツテ居ル、ダカラ産業組合ト商業組合ノ分界ヲ明ニセナケレバナラス、若シ課税ヲスルト云フコトニナリ、其ノ仕事ガ營利的ノ事業ニナレバ、段々範圍ガ擴大スルヤウニ思ハレルノデスガ、其ノ點ヲモ少シハツキリ伺ヒタイ、經濟上ノ利益ヲ擧ゲテ居ル點モアルカラ課税スルト云フヤウニ、大臣モアナタモ御答辯ノヤウデスガ……

○大矢政府委員 御承知ノ通り産業組合法ニ於テハ「産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲メノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ」斯ウ云フコトニ致シテ居リマシテ、經濟的事項ガ多ク規定サレテ居ルノデアリマシテ、經濟的行爲ヲ營ムト云フコトニ付テハ、爭ハレナイと思フノデアリマス、唯經濟行爲ト營利目的ノ經濟行爲トハ、又其處ニ違ヒガアリマシテ、是ハ先程石井サナニ對シテモ御答シテ置イタ通りデアリマス、品物ヲ買ツテ第三者ニ轉賣シテ利ヲ取ル、サウ云フ意味ニ於テノ營

利行爲ハ致スベキデナク、又現ニ致シテ居ナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、石井サンハ産業組合ノ指導精神ヲ高調セラレマシテ、洵ニソレハ結構デアリマスカラ、其ノ指導精神ニ適スレバ、恐ラク組合員ノ出資ニ對スル剩餘金ノ分配ト云フ形デナク、事業ノ分量ニ應ズル分配ヲスル、斯ウ云フノガ産業組合ノ精神ニ徹スル所以デハナカラウカ、ソレニ徹スレバ恐ラク今度ノヤウナ案デモ、現實ニ課稅ノ問題ハ起ツテ來ナイデアラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマシテ、營利行爲ヲ營ンデ居ルトカ、營利法人ト同ジヤウナコトヲ致シテ居ルカラ課稅シテ差支ナイノダ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデハゴザイマセス

○板谷委員 經濟上ノ行爲ヲヤツテ剩餘金ガ出來ル、剩餘金ノ出來ルト云フコトハ、要スルニ利益ヲ生ムト云フコトデゴザイマス、利益ヲ生ムト云フ仕事ハ營利的デアル、茲ニ産業組合ニ對スル反產運動ガ起アル、段々商業組合ノ範圍ガ侵サレテ、産業組合ガ何デモ彼デモ取扱ツテ、アナタノ方デ課稅スルト云フコトニナツテ課稅ノ目的トスレバ、成ベク餘計稅金ヲ取リタイト云フ方ニ進ンデ行クノハ、是ハ已ムヲ得ヌ情勢ナノデハナイカ、ソコデ私ハ其ノ點ヲ御尋シタノデアアル、局長ノ御見解ヲモウ一度伺ヒタイ

○大矢政府委員 經濟行爲ト致シマシテモ、營利目的ノ經濟行爲ト、サウデナイ組合員ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲ニヤル場合ト、自ラ違ツテ來ルト思フノデアリマス、ソレカラ課稅ノ結果此ノ産業組合ガ其ノ性質ヲ一變シテ、營利法人ニナルト云フコトモ、私共考ヘテ居リマセス

○木村委員 只今大藏當局ノ答辯ヲ伺ヒマシテ、産業組合本來ノ目的ニ副ウテ剩餘金ヲ配分スル、即チ事業ノ分量ニ應ジテ配分スルヤウナ場合ニ於テハ課稅シナイ、剩餘金カラ其ノ金額ハ差引クト云フコトデアリマスガ、ソコデ營利目的トシナイ組合、産業組合ノミナラズ、例ヘバ工業組合、商業組合、貿易組合、是等ノ問題ヲ考ヘテ見マシテモ、是等ハ産業組合ト同ジク非營利的ノ特別ノ法人デアリマス、ソコデ御承知ノヤウニ中小ノ商業者或ハ工業家ハ、一ツノ非營利的組合、結局ニ於テハ經濟上ノ利益ヲ齎スカモ知レマセスガ

〔高橋委員長代理退席、小山委員長代理著席〕
之ヲ例ヲ擧ゲテ申シマス、貿易組合ニ於テハ勿論國策ノ線ニ沿ウテ、國家ノ統制事業ノ片棒ヲ擔イデ居リマス、或ハ原料、材料資材ノ配給ト云フ行爲ヲヤツテ居ル、ソレニ對シテ組合ノ經費ノ支辨ノ爲ニ、相當ノ手數料ヲ徵收シテ組合ノ維持經營ニ任ジテ居ル、而シテ實際ノ經費ヨリモ、相當ニ高イ手數料ヲ取ツテ、其ノ剩餘金トシテ本當ニ組合員全體ノ利益ノ爲ニ其ノ剩餘金ヲ殘シテ行ク、或ハ積立テテ行クト云フ場合、例ヘバ輸出組合ノ如キハ、海外ノ新市場ヲ開拓スル場合ニ於テハ、ドウシテモ當業者ヲシテ海外ノ市場ヲ觀察セシメルコトガ必要デアアル、然ルニサウ云フ經費ハ五千圓トカ一万圓トカ相當多額ノ經費ヲ要シテ、中小ノ輸出組合或ハ商業組合ハ必要ナル海外觀察モ能ク實行シ得ナイ、故ニ組合ハ剩餘金ヲ殘シテ、其ノ金ヲ組合員ニ補助シテ海外ヲ觀察セシメテ、日本ノ貿易ノ伸展ヲ圖ルト云フコトヲ、常ニヤツテ居リマス、且ツ先年輸出組合ガ、海外ノ市場ニ於テ日本品ニ對スル輸入ノ防遏ヲヤツテ居ル、或ハ日本品ガ不當ニ安ケレバ不當ノ課稅ヲスル、〔ダンピング・デューデー〕トシテ特別ナ課稅ヲスル、或ハ爲替暴落ニ依ル所ノ課稅ヲスルト云フヤウナコトヲヤツテ居ル、其ノ爲ニ輸出組合トシテハ、之ニ對スル相當ナ輸出統制ヲ統制料ヲ徵ツテヤツテ居ル、サウシテ其ノ剩ツタ金ハ組合ノ自己ノ勝手ニ處分ヲシナイ、商工省ノ許可ヲ得テ、ソレヲ他ノ工業組合等ト連繫ヲ致シマシテ、輸出振興費ニ使ツテ居ル、サウ云フ金ハ年々剩餘金トシテ澤山殘ル、サウ云フモノニ對シテモ課稅ヲシテ行クカドウカ、即チ組合員ノ自由ニ分配スベキ金デハナイ、組合ノ本當ノ利益ノ爲ニ、營利的デナイ考ヲ以テ輸出振興ノ爲ニ、サウ云フ金ヲ蓄積ヲシテ居ル、斯様ナ場合ニ於テモ、剩餘金ハ如何ナル目的ニ之ヲ利用シテモ、先程申上ゲル通り事業ノ分量ニ對スル配當以外ニ使ツテモ、ソレニ對シテ百分ノ九ノ課稅ヲシテ行クカドウカ、此ノ點ヲハツキリシテ置キタイ

○大矢政府委員 我國ノ現狀カラ致シマシテ大イニ輸出貿易ヲ振興シナケレバナラヌト云フノハ、洵ニ仰セノ通りデアリマシテ、輸出組合聯合會等ガ現時局下ニ於キマシテ負擔シテ居ル任務ノ點モ、全ク仰セノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ度特別法人稅ノ創設ニ當リマシテモ、此ノ點ヲ考慮致シマシテ、第四條ノ末項ニ「前三項ニ規定スルモノノ外第一項ノ剩餘金ノ計算ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマシテ、御手許ニ此ノ特別法人稅法案關係命令案要綱ト云フノヲ配付シテアリマスガ、其ノ法案ノ第四條關係ノ第一項（ロ）（二）ニ「輸出組合、輸出組合聯合會又ハ輸出入組合聯合會ガ其ノ剩餘金ヲ輸出振興資金ニ積立テタルトキハ其ノ金額ヲ剩餘金ヨリ控除スルコト」斯ウ云フ風ニ致シテアリマシテ、御質問ノ點ハ考慮シタ積リデアリマス

○小山委員長代理 御注意申上ゲマスガ、關聯質問ト云フヨリハ、獨立ノ質問ノヤウニ思ハレマスカラ、簡單ニ願ヒマス

○木村委員 輸出振興資金ノ範圍ハ、ドウ云フモノデアリマスガ

○大矢政府委員 是ハ尙ホ命令ヲ出ス場合ニ商工省トモ十分打合セマシテ、御質問ノ御趣旨ノ目的ヲ達成スルヤウニ規定致シタイト存ジテ居リマス

尙ホ今後ノ組合ノ經理方法等ニ付キマシテモ、ハツキリ致シテ置キタイト存ジマス

○長野（長）委員 産業組合ノ貯金ニ對シテ課稅スルコトニ依ツテ、組合貯金ノ急激ナル流出ヲ來シ、又ハ金利平準化ヲ阻止スルコトトナル爲ニ、組合ノ經營ガ危殆ニ瀕スル虞ガアルト云フノガ、今日ノ産業組合當路者ノ心配シテ居ル所デアリマス、ソコデ之ニ付テ政府ノ御説明ヲ求メタイト思ヒマス、一體此ノ農村ノ資金ト云フコトニ付テ、ドウ云フ風ヲ見解ヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウ、農民ノ産業經濟經營ニ關スル所ノ資金、之ニ對シテ都市ノソレト比ベテ、如何ナル御見解ヲ持ツテ居ラレマセウカ、之ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 御質疑ノ要點ハ私ハツキリト捕捉シ得ナイノデアリマスガ、農村方面ノ資金ニ付キマシテモ、或ハ郵便貯金ニスルモノモアリ、ソレカラ産業組合ニ貯金スルモノモアリ、色々アルガラウト思ヒマス、隨テ預ケ先ニ依ツテ各種ノ方面ニ使用サレ

○大矢政府委員 我國ノ現狀カラ致シマシテ大イニ輸出貿易ヲ振興シナケレバナラヌト云フノハ、洵ニ仰セノ通りデアリマシテ、輸出組合聯合會等ガ現時局下ニ於キマシテ負擔シテ居ル任務ノ點モ、全ク仰セノ通りデアリマス、隨ヒマシテ此ノ度特別法人稅ノ創設ニ當リマシテモ、此ノ點ヲ考慮致シマシテ、第四條ノ末項ニ「前三項ニ規定スルモノノ外第一項ノ剩餘金ノ計算ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマシテ、御手許ニ此ノ特別法人稅法案關係命令案要綱ト云フノヲ配付シテアリマスガ、其ノ法案ノ第四條關係ノ第一項（ロ）（二）ニ「輸出組合、輸出組合聯合會又ハ輸出入組合聯合會ガ其ノ剩餘金ヲ輸出振興資金ニ積立テタルトキハ其ノ金額ヲ剩餘金ヨリ控除スルコト」斯ウ云フ風ニ致シテアリマシテ、御質問ノ點ハ考慮シタ積リデアリマス

○小山委員長代理 御注意申上ゲマスガ、關聯質問ト云フヨリハ、獨立ノ質問ノヤウニ思ハレマスカラ、簡單ニ願ヒマス

○木村委員 輸出振興資金ノ範圍ハ、ドウ云フモノデアリマスガ

○大矢政府委員 是ハ尙ホ命令ヲ出ス場合ニ商工省トモ十分打合セマシテ、御質問ノ御趣旨ノ目的ヲ達成スルヤウニ規定致シタイト存ジテ居リマス

尙ホ今後ノ組合ノ經理方法等ニ付キマシテモ、ハツキリ致シテ置キタイト存ジマス

○長野（長）委員 産業組合ノ貯金ニ對シテ課稅スルコトニ依ツテ、組合貯金ノ急激ナル流出ヲ來シ、又ハ金利平準化ヲ阻止スルコトトナル爲ニ、組合ノ經營ガ危殆ニ瀕スル虞ガアルト云フノガ、今日ノ産業組合當路者ノ心配シテ居ル所デアリマス、ソコデ之ニ付テ政府ノ御説明ヲ求メタイト思ヒマス、一體此ノ農村ノ資金ト云フコトニ付テ、ドウ云フ風ヲ見解ヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウ、農民ノ産業經濟經營ニ關スル所ノ資金、之ニ對シテ都市ノソレト比ベテ、如何ナル御見解ヲ持ツテ居ラレマセウカ、之ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 御質疑ノ要點ハ私ハツキリト捕捉シ得ナイノデアリマスガ、農村方面ノ資金ニ付キマシテモ、或ハ郵便貯金ニスルモノモアリ、ソレカラ産業組合ニ貯金スルモノモアリ、色々アルガラウト思ヒマス、隨テ預ケ先ニ依ツテ各種ノ方面ニ使用サレ

ル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、其ノ點ハ都市方面ノ資金ト農村方面ノ資金トドウ云フ區分ガアルカト仰セラレマシテモ御答致シ兼ネル次第デアリマス

○長野(長)委員 農業經營ニ投ジマスル資金ト、ソレカラ商工業等ノ如キモノニ投ジマスル資金デス、ソレハ私ノ方カラ申シマスガ、私ノ申上ゲルコトガ間違ツテ居ルカドウカ分リマセヌガ、先ツ御意見ヲ伺ヒマス、商工業ノ方ヘ投下シマシタ資金ト云フモノハ概シテ刻々ニ直チニ回收サレルノデアリマス、ケレドモ、農業ニ對スル所ノ資金ト云フモノハ或ハ數箇月、長キハ山ノ如キハ數十年デナイトソレハ回收ヲサレナイ、又農業經營ニ對シ投下スル所ノ資金ト云フモノハ、土地改良ニシテモ、各種ノ建物資本ニ對スル投下ニ致シマシテモ、ソレハ何レモ永年デナイト返ツテ來ナイ、所謂固定スルモノバカリデアリマス、特ニ茲ニ農業經營ノ資本ト、商工業經營資本トノ重大ナル差別ガアルト思ヒマス、之ニ對シテ如何ニ御考ニナリマスカ

○大矢政府委員 大體仰セノヤウニ農村ノ方面ノ資金ハ、長期ニ互ツテ使用セラレ、都市方面ニハ短期ノモノガ多イト云フコトハ、大體仰セノ通りダト思ヒマス、但シ農村方面ニ於キマシテモ、例ヘバ肥料資金ノ如キ、或ハ蘭資金ノ如キハ、サウ長期ノモノデモナク、又商工業方面ニ於キマシテモ、工場等ノ設備ニ使用スル資金ハ、長期ニナルト云フヤウナ點モアリマスルノデ、一概ニハ申サレナイノデアリマス、ケレドモ、大體ノ傾向トシテハ仰セノ通りダト存ジマス

○長野(長)委員 隨ヒマシテ農業ニ使ヒマ

スル所ノ資金ニ對スル利子ト云フモノハ、當然非常ニ低利デナケレバナラス、利率ガ低クナケレバナラス、而モ償還年限ノ如キモ成ベク長クナケレバナラスノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ都會ノ商工業等ニ關係シテ居ル所ノ金融機關ヲ、活用スルト云フコトハ、概シテ出來ナイノデアリマスカラ、農村ニ於ケル獨自ノ、極メテ農村ニ適シタル、特色アル所ノ金融機關ヲ打立テ、之ヲ十分ニ膨ラマシテ、之ニ依ツテ農業經營ト云フモノヲ潤澤ニ行フヤウニシナケレバナラスノデアリマス、此ノ見解ニ對シマシテ當局ハ如何ナル御考ヲ持タレルカ

○大矢政府委員 農村方面ノモノガ長期資金カラ、之ニ對應スル金融ヲ考ヘナケレバナラスト云フコトハ、洵ニ仰セノ通りデアリマスガ、併シハ或ハ勸業銀行等ノ方面ニ於テ十分考究セラルベキコトダト存ジマス、産業組合ノ資金其ノモノガ大部分長期資金ダト言ヒ得ルカドウカニ付テモ、相當研究ヲ要スル點ガアルデヤナカラウカト思フノデアリマス、成ベク低利ノ資金ヲ産業組合ニ獲得シナケレバナラスト云フノハ、洵ニ仰セノ通りデアリマシテ、是ハ産業組合ハ隣保共助ノ精神デ成立ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ預金者モ他ノ金融機關ニ預ケル場合ト自ラ氣持ガ違ツテ、金利モ低クシナケレバナラスト云フノハ、理想カラ云ヘバ其ノ通りデアルト思ヒマス、併シナガラ理想ト現實トハ常ニ必シモ一致致シテ居リマセヌ、産業組合ノ規模ガ小サイト云フノデ、ドウモ影響ガアリマシテ、他ノ強力ナル金融機關ニ對スル預金ノヤウニ集メル譯ニ行カヌト云フ點モアリマシテ、或ル程度産業組合ノ貯金ガ高率ニ廻ツテ居ルノ

モ事實カト存ジマス、併シナガラ最近ノ情勢カラ見マスト、農産物ノ價格ノ高騰等ノ影響モアリマシテ、農村方面ノ資金モ相當潤澤ニナリマシテ、産業組合ノ貯金ノ利率モ、漸次低クナツテ來テ居ルノハ、洵ニ喜バシイ現象ト存ジテ居リマス

○長野(長)委員 今政府委員ノ仰セラルコトニ對シテ、御斷リシテ置カナケレバナラスノハ、興業銀行ノ問題ハ茲ニ上セナイヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、興業銀行ハ巨額ノ金融ノ場合活用サレルノデアリマス、産業組合ハ零碎ノ貯蓄ヲ組合員ガ致シテ、ソレニ基ク金融デアリマス、興業銀行ハ耕地整理ヲアルトカ、或ハ其ノ他特別ノ大キナ資金ヲ要スル場合ニ於テ扱フ問題デアリマスカラ、是ハ一緒ニナサルト混雜シテ間違ヒヲ生ズル、ソレデ特ニ私ガ御尋申上ゲタイト思フコトハ、農村ニ於テ或ハ桑ヲ植エルトカ、或ハ肥料ヲ買フトカ、其ノ他日常農業ヲ經營スル上ニ必要ナ、而モ比較的零碎ナ資金ハ、産業組合中ノ信用組合カラ融通ヲ受ケルノデアリマス、而シテ其ノ金額モ相當ナモノデアリマス、所ガ各農村ノ信用組合ニ十分ナル資金ガアリマセヌト、ソレ等ノ組合員ノ要求ニ應ズルコトガ出來ナイコトニナル、低利デアリ、零碎デアリ、比較的ニ少ナイ金額デアリ、而モ時期ニ依ツテハ不作其ノ他モアラウシ、是ハ長期ニシナケレバナラス、或多クノ果樹ナドヲ植付ケルナラバ、十年ナリ十五年シナイト收穫ハ得ラレナイ、ソレマデハ勞力モ肥料モ注ギ込シマハナケレバナラス、毎年收入ハナイ、サウ云ツタモノハ、アナタノ仰シヤルヤウナ興業銀行カラ金ヲ借出スコトハ出來ナイ、ソコデ村ノ信用組合ガ有無

相通ズル媒介役トナツテ、資金ノ融通ヲヤツテ居ル、此ノ意味ニ於テ農業經營ニ於ケル資金ノ特殊性——商工業ト非常ニ異ル部分ノ多イ此ノ特殊性ヲ持ツテ居ル身業金融ニ對シテ、大藏當局ガ十分ナル御信念ヲ持ツテ居ラレナラバ、時局下ト云フコトヲ御考ニナル時ニ於テ、村ノ信用組合ヲ寧ロ經濟的ニ保護スルト云フ立場ニ立ツテコソ、意味ガアルト思ハレルノデアリ、此ノ意味ヲ御尋シテ居ルノデアリマス

○大矢政府委員 農村ノ産業組合、殊ニ信用組合方面ニ付テノ御話ト存ジマスガ、農村金融ノ爲ニ大キナ働きヲ爲シテ居ルコトハ洵ニ仰セノ通りデアリマス、而シテ今回産業組合ノ貯金ニ課税スルニ當リマテモ、元本三千圓ヲ超ユルモノニ對シテ課税スルト云フコトニナツテ居リマスガ、御承知ノ通り産業組合ハ、中小農ノ人達ガ集ツテ、相互扶助ノ精神デ以テ組織シテ居ル、一人ノ組合員ノ出資額モ三十圓トカ五十圓トカ百圓足ラズト云フヤウナ狀況デアリマシテ、組合員一人當リノ貯金額ト云フモノモ割合ニ少イノデアリマス、三千圓ヲ超エ課税ヲ受ケルト云フノハ、全體ノ割カラ言フト極メテ少イモノニナルト思フノデアリマス、市街地信用組合等ニ於キマシテハ相當課税ヲ受ケルノハアリマスケレドモ、是ハ御承知ノ通り組合員外ノ貯金マデモ預ツテ居リマシテ、農村ノ信用組合トハ餘程性質ガ違フ點モアリマスノデ、一方ニ於テ貯蓄銀行等モ三千圓ヲ超ユルモノニ付テハ、課税ヲ受ケルト云フ際デアリマスカラ、先ヅ此ノ程度ノ課税ハ此ノ際已ムヲ得ナイコトデハナカラウカ、併シ從來免稅ニナツテ居ツタモノヲ課税スルコトニナルノデア

リマスカラ、其ノ點モ考慮シマシテ、一般ノ銀行ノ預金ニ比シマシテ、稅率ヲ半額程度ニシテ居ル譯デアリマス

○長野(長)委員 成程三千圓ト申スナラバ比較的金額が大キイノデアルカラ、貧弱ナ農民ニ左様ナ貯蓄ヲスル者ハ少イダラウ、斯ウ云フ御見解デアリマスガ、ソレデハ何カサウ云フ統計デモ御集メニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ御尋シタイ

○大矢政府委員 取調ベマシテ後デ提出致シタイと思ヒマス

○長野(長)委員 ソレハ出來テ居リマスネ

○大矢政府委員 調ベテアリマス

○長野(長)委員 大體ドレ位アリマスカ、ソレヲ一ツ承リタイ

○大矢政府委員 今手許ニ持ツテ居リマスノハ、市街地信用組合モ加ヘテノモノデゴザイマスガ、大體全體ノ預金ノ四分ノ一程度ト見テ居リマス

○長野(長)委員 四分ノ一程度トスレバ、ソレハ相當ノモノダト私ハ思ヒマス、私ノ考ハ間違ッテ居ラヌト思ヒマス

○大矢政府委員 是ハ市街地信用組合モ加ヘテノ計算デゴザイマス

○長野(長)委員 ソレハ加ヘマシテモ宜シウゴザイマス、兎ニ角市街地ノ中ニハ農民モ居リマスシ、又農民ニアラズトモ、中小商工業者等之ニ準ズベキ者デアリマスカラ、是ハ何等區別スル必要ハナイト思ヒマス、要スルニ課稅ヲスルコトニ依ツテ、農村ノ資金ガ都市ニ當然逃ゲテ行ク傾向ガアルト云フコトハ、御考ニナラヌデセウカ

○大矢政府委員 從來ノ金利ノ高サカラ言ヒマシテ、又今度ノ課稅ノ率ノ程度カラ致シマシテ、サウ云フ移動ガ起ルモノトハ考

ヘテ居リマセヌ

○長野(長)委員 ソレデハ二、三ノ實例ヲ舉ゲテ少シク御意見ヲ承ツテ見タイト思ヒマス、信用組合ガ其ノ機能ヲ一層發揮スル爲ニ、極力金利ノ低下ニ努メテ來テ居ツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、特ニ事變發生以來政府ノ御意見ニ從ツテ他種金融機關トノ均衡ヲ保ツヤウニ特ニ努メテ來タ、然ルニ茲ニ突如トシテ課稅ヲサレルコトニナリマスナラバ、著シク利廻ノ均衡ヲ失ツテ、爲ニ貯金ガ自然ト流出スルコトニナリハシナイカト云フ疑問ヲ生ズルデアリマス、是ガ第一デアリマス、第二ニ、隨テ組合ノ金利ガ高クナルコトハ已ムヲ得ナイト云フコトニナツテ、或ハ低下ヲ阻止サレルト云フコトニモナリ得ル、組合ノ經營上重

壓ヲ加ヘテ、戰時下ニ於ケル組合活動ニ大ナル支障ヲ來シテ來ル虞ガアル、又第三ニハ信用組合ハ中小階級ノ零碎ナ貯金ヲ取扱ツテ居ルノデアリマシテ、斯ル貯金ノ取扱ハ多クノ經費ヲ要スルノハ全國押並ベテノ事實デアリマス、即チ組合ハ多大ノ犠牲ヲ拂ツテ役職員ヲ活動セシメ、不眠不休デ其ノ貯金ヲ集收致シテ居ルノデアリマシテ、是等ハ營利的ニ營ンデ居ル金融機關等ノ到底企及スルコトノ出來ナイモノデアル、斯ル採算ヲ離レテ仕事ヲ爲シ得ルト云フコトハ、多年ノ努力ニ依ツテ若干ノ安定セル資金ヲ蓄積スルニ至ツタ故ニ外ナラナイ、若シ斯ル安定セル資金ニ動搖ヲ來スト云フコトニナリマシタナラバ、組合ノ貯蓄運動ハ一層打撃ヲ蒙ルコトニナツテ、致命的ナ損害ヲ蒙ルコトニナリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ組合當事者トシテハ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、特ニ第一ニ付テ御説明ヲ願ヒ

タイ、斯ウ云フコトハ有リ得ナイコトデアルト御考ニナルカ、同時ニ二三ニ付テノ御見解ヲ御尋致シテ見タイノデアリマス

○大矢政府委員 要スルニ是ハ農村ノ産業組合ノ貯金ガ、此ノ課稅ニ依ツテ産業組合ノ方カラ離脱シテ、都市方面ノ金融機關ヘ流レテ行クカドウカト云フ問題ダト思フノデアリマス、此ノ事サヘナケレバ、是ハ組合員ニ對スル課稅デ、別ニ組合自體ニ對スル課稅デハゴザイマセヌカラ、組合ノ經營ガ毫モ影響ヲ受ケナイ、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、ソコデ此ノタビ三千圓ヲ超エル産業組合貯金ニ對シテ課稅スルト云フコトニナツテ、果シテ是ガ市街地方面ニ流レテ行クカドウカト云フコトデゴザイマスガ、御承知ノ通り市街地方面、大都市ノ一流銀行ノ定期預金ハ今三分三厘デゴザイマス、地方ノ銀行ニ至リマスレバ、各地多少マダ差等ガアルカト思ヒマスケレドモ、大抵三分四厘ダト思ヒマス、農村方面ノ信用組合ノ貯金ハ、ソレヨリモ或ル程度高クナツテ居ルノデハナカラウカ、三分六厘トカ七厘、中ニハ八厘ト云フヤウナモノモアルカト存ジマス、サウシテ其ノモノニ對シテ百分ノ五程度ノ課稅ヲ致シマシテ、稅引利廻カラ見レバ、ヤハリ大抵大都市ノ三分三厘、或ハソレニ次グ三分四厘、斯ウ云フ方面ト比ベテ手取ガ少クナルト云フコトハナイノデゴザイマシテ、隨ヒマシテ農村ニ居ル組合員ガ却テ手取ノ少クナル遠隔ノ地ノ都市方面ニ、此ノ預金ヲ持ツテ行クト云フ虞ハ萬ナイデハナカラウカ、サウ致シマスルト農村ノ組合經營ニモ支障ヲ及ボス虞ハナカラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○長野(長)委員 見解ノ相違デ爭ツテモ仕様ガアリマセヌカラ大體ノ所デ打切りタイト思ヒマスルケレドモ、要スルニ尙ホ後ヘ殘ル問題ハ、農村ノ資金ガ農村外ニ流出スルト云フコトハ是ハ重大ナ問題デアリマス、ソレデ只今マデノ御説明ニ付キマシテハ、尙ホ私ハ附ニ落チナイ點モ幾多アリマス、十分更ニ御研究ヲ御願シテ置キマシテ、他ノ機會ニ於テ更ニ御質問ヲ申上ゲテ、御説明ヲ求メタイト思ヒマス、重點ハ要スルニ農村ニモツト資金ガ蓄積セラレナケレバナラス、言換ヘタナラバ今日ノ資金ハ腦溢血ノヤウナモノデ、都會ニ集中シテ居ル、文化的ニ、經濟的ニ、政治的ニ、宗教的ニ有ル道ヲ通ツテ都會ヘ都會ヘト資金ガ集中スルヤウニナツテ居ル、サウシテ農村ハ殆ド貧血狀態ニナツテ來タノガ今日マデノ狀態デアル、然ルニ漸ク最近農村ノ經濟ハ時局ニ幾ラカ惠マレテ、而モ是ハ他ノ殷賑産業其ノ他ト比ベラナラバ比ベモノニナリマセヌケレドモ、漸ク取返ス機會ヲ得ツアル、此ノ機會ニ於テ十分農村ニ資金ノ集中スルヤウナ、均衡ノ取レルヤウナ手立テヲシテヤルト云フコトガ親切ナ政治デアルト私ハ考ヘル、所ガ先般來御話ノ中ニモ直グニ三千圓以上ノモノハ四分ノ一ダカラヤツテモ宜イトカ、或ハ大分農村ヘハ資金ガ集リ掛ケタヤウナ御口吻ガ漏レテ來ルト云フ所ニ、過去ノ農村輕視ノ片鱗ガ現ハレテ居ル、私ハ決シテアナタガ農村ヲ輕視セラレテ居ルト獨斷スルモノデハアリマセヌケレドモ、ドウモ左様ニ受取レテナラスノデアリマス、ドウカ一ツ更ニ御研究、御調査ヲ願ツテ置キマシテ、此ノ産業組合課稅ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ全面的ニ組合

當事者モ決シテ課税ハ嫌ヤダトハ申シテ居
リマセヌカラ、茲ニ彼等ノ誇ヲ傷ツケナイ
ヤウニ、彼等ノ傳統的信念ヲ損シナイヤウ
ナ何等カノ途ヲ、最後ノ結論トシテオ互ニ
探求スルヤウニ、捉ヘルヤウニ致シタイト
云フコトヲ希望致シマシテ、産業組合ニ關
スル質問ニ付キマシテハ一應是デ打切ルコ
トニ致シマス

○大矢政府委員 農村方面ノ金融ニ付キマ
シテ、十分考慮シナケレバナラヌト云フ御
説ニ對シテハ、全ク同感デアリマス、私ハ
唯、今回ノ課税ガ農村方面ノ産業組合ニ蓄
積サレタモノヲ都市ノ方ニ移動セシメルト
云フ虞ハナイカドウカト云フ點ニ付キマシ
テハ其ノ虞ガナイモノト考ヘマス、斯ウ云フ
コトヲ申上ダテ居ル次第デアリマスガ、全
般ノ金融政策ト致シマシテ、農村方面ノコ
トヲ特ニ考慮ニ加ヘナケレバナラヌト云フ
コトニ對シマシテハ、全ク同感デゴザイマ
ス

○伊藤委員 一寸關聯シマシテ——私ハ漁
業協同組合ノ課税ニ付テ、政府ノ御意見ヲ
承ツテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ如ク
漁業協同組合ハ漁業權ヲ持ツテ居ルノデア
リマスガ、此ノ漁業權ハ一種ノ權利デアリ
マシテ、當該漁業權ノアル漁場ガ、東京府
又ハ神奈川県等ガ埋立事業ヲヤル場合ニ、
強制的又ハ任意的ニ買収セラレルノデア
リマス、其ノ際此ノ組合ハ漁業權ヲ喪失ヲ
シテ、サウシテ祖先傳來ノ漁場ヲ失フ代リ
ニ何百万圓トカ或ハ一千万圓ト云フ大キナ
賠償金ヲ貰フノデアリマス

〔小山委員長代理退席、委員長著席〕
此ノ多額ノ賠償金ヲ貰ツテモ、組合員全
般ニ對シマシテ之ヲ分配スル場合ニ於テハ

僅ニ或ハ五百圓、或ハ千圓位ニシカナラヌ
ノデアリマスケレドモ、總額ニ於テハ一千
萬圓ト云フヤウナ大キナ金ヲ貰フ、例ヘバ
此ノ度ノ東京灣ノ埋立ニ於テハ、約八百万
圓ト云フ多額ノ金ヲ出スヤニ承ツテ居リマ
ス、神奈川県ニ於テハ現ニ川崎ノ漁業協同
組合ガ、三百万圓ノ賠償金ヲ貰ツテ居ルノ
デアリマス、此ノ金ガ若シ剩餘金トシテ、

之ニ課税サレルト云フコトニナルナラバ、
私ハ一大問題デアラウト思ヒマス、恐ラク
政府ハサウ云フコトハ想像サレナイデ特別
法人稅ヲ作ツタト思ヒマスガ、此ノ特別法
人稅ノ條文ヲ見マスト、此ノ賠償金ニ對シ
テハ此ノ税金ガ課ルヤウニ書イテアルノデ
ゴザイマス、私ハ是非常ニ重大問題デア
ルト思ヒマス、現實ニ今神奈川県ノ問題、
又東京府ニ於テハ現實ニ直面シテ居ル問題
デアリマス、之ニ對シテ九分ノ課税ヲシタ
ナラバ一千万圓實ツテ九千万圓納メナケレ
バナラス、サウ云フコトヲ想像シナイデ、

斯ウ云フ法律ヲ作ツタト思フノデアリマス
ガ、斯ノ如キ剩餘金ニ對シマシテハ、私ハ
斷ジテ税金ヲ課ケナイヤウニ、今カラ政府
ニ於テサウ云フ方針ヲ採ラレマスコトヲ希
望シ、政府ノ御所信ヲ伺ツテ置キタイト思
フノデアリマス、特ニ伺ツテ置キタイノハ
殷賑産業ノ發達ニ連レマシテ、總テ工場地
帶ガ不足ニナツテ東京、横濱其ノ他近邊ノ
漁場ヲ埋立テサレデセウ、其ノ際ニ恐ラ
ク三百万圓又ハ二百万圓ノ金ガ皆漁業家ニ入
ル、其ノ入ツタ金ニ一割近クノ税金ヲ課セ
ラレルト云フコトニナレバ是非常ニ大キ
ナ問題デアリマス、祖先傳來ノ永イ間ノ漁
場ヲ失ツテ金ヲ貰ヒ、ソレニ對シテ大キナ
稅ヲ課ケルト云フコトハ、私ハ斷ジテ許サ

ルベキモノデハナイト思フノデアリマシ
テ、之ニ對スル政府ノ御所信ヲ承ツテ置キ
タイト思フノデアリマス

○大矢政府委員 只今ノ御質疑ノ點ハ實ハ
具體的事實ニ付キマシテ十分承知シテ居リ
マセヌ、早速取調ベマシテ後刻御答申上ダ
タイト思ヒマス

○堀切委員長 長野君ハ總理大臣ヲ御要求
ニナリマシタガ、イラツシヤルサウデスカ
ラ、總理大臣ガ見エマスレバ又アナタニ御
許スルコトニシテ、此ノ際讓ツテ戴イデ、
元ニ戻ツテ質問ヲ繼續シテ戴キタイト思ヒ
マス

○石井委員 時間モ大分進ミマシタカラ成
ルベク簡單ニ致シマス、今回ノ稅制改革ノ
分類所得稅ノ中ニ、從來免稅デアリマシタ
産業組合貯金並ニ貯蓄銀行ノ貯金ヲ三千圓以
上ニ對シテハ、分類所得稅ヲ課スル、斯ウ云
フコトヲ新ニ御設置ニナツタヤウデアリマ
ス、此ノ設置ニナリマシタ趣旨ニ付キマシ
テ御伺申上ゲタイト考ヘルノデアリマス、
私共ノ見解ヲ以テ致シマスルト、此ノ種ノ
税金ト云フモノハ今日ノ我が國情カラ考ヘ
テ參リマシテ、少シク遠慮セラルルガ宜イ
ノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル者デアリ
マス、何トナレバ現在ノ我國ノ經濟上ノ狀
態、或ハ財政上ノ狀態カラ考ヘテ參リマス
ルト、有ユル機關ヲ通ジテ貯金ヲ中央ニ吸
收スル、斯ウ云フコトハ極メテ必要ノ時勢
ナノデアリマス、然ルニ又一面ニ於キマシ
テハ、之ヲ成ベク公債化サセル斯ウ云フコ
トガ極メテ必要デアアルノデアリマス、隨テ
私共カラ言ハセルナラバ、此ノ貯金ノ利息
ニ對スル分類所得稅ト云フモノハ、寧ろ是
ガ或ハ産業組合デアラウガ、或ハ貯蓄銀行

デアラウトニ關セズシテ、成ベク輕減ヲス
ルト云フコトガ必要デハナイカ、斯様ニ考
ヘルノデアリマス、殊ニ公債ヲ消化サセル
ト云フ意味カラ考ヘテ參リマス、斯ウシタ
産業組合ノ如キ營利ヲ主體トセヌ所ノ組合
ニ餘計ニ持タセル、斯ウ云フヤウナ方針ヲ
御執リニナルコトガ又極メテ必要デハナイ
カト考ヘルノデアリマス、何トナレバ組合
ト致シマシテハ、營利ヲ目的トセヌガ爲ニ、
隨テサウシタ比較的金利ノ安イ公債ヲ持
チマシテモ、差支ハナイト云フヤウナ狀態
ニナルノデアリマス、隨テ私共ト致シマス
ルナラバ、寧ろ斯ウシタモノハ此ノ際新シ
ク課税ヲサレルト云フヤウナコトヲ止メ
ニナツテ、成ベク組合ヲシテ餘計ニ貯金ヲ
吸收サセテ、サウシテサウシタ方向ニ組合
ノ貯金ヲ向ケサセルト云フコトニサレルコ
トガ本當デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデア
リマス、特別法人稅ノ中ニモ公債ヨリ上ツ
テ來マス所ノ利息ト云フモノヲ剩餘金カラ
控除スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウ
デアリマス、是ノ精神モ全クサウシタ方面
カラ出發致シテ居ルト考ヘルノデアリマス、
同ジ精神ニ出發致シマシタナラバ、是等ノ
貯蓄ニ對シマスル所ノ分類所得稅ト云フヤ
ウナモノモ、新シク御創設ニナルト云フコ
トハ私ハ時代ニ適セヌノデヤナイカ、斯様
ニ考ヘルノデアリマス、其ノ方針ニ對シマ
スル御意見ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 此ノ三千圓ヲ超ユルモノ
ニ對シテ分類所得稅ヲ課ケテ居リマスノハ、
大體此ノ程度ノ金額以上ノモノニ對シマシ
テハ、他ノ税金ヨリハ體カ半額ニシテ居ル
筈ダト承知シテ居リマス、ヤハリ此ノ前ノ
特別法人稅ト稍、同ジヤウナ意味ニ於テ百分

ノ五ト、普通ヨリハ非常ニ輕ク取扱ツテ居ル、斯ウ云フ譯ニシテ居ルノデアリマシテ、御説ニ依リマス、斯ウ云フ貯蓄ニ對シテハ課ケスガ宜イデハナイカト云フコトデアリマス、ケレドモ、大體此ノ程度ノモノデアリマシタラバ相當ナル負擔力ガアル、斯ウ云フ意味ニ於テ、此ノ項目ヲ設ケタ譯デアリマス

○石井委員 私ノ御問申上ゲマシタノハ法人ニ關スル問題デアリマス、寧ろ貯蓄ヲ獎勵シ、サウシテ金ヲ中央ニ吸收サセル、或ハ公債ヲ消化サセル、斯ウ云フヤウナ方面カラ考ヘテ、有ユル金融機關ヲ動員スル必要ガアルダラウ、殊ニ産業組合ノ如ク營利ヲ目的トセヌ組合デアラナラバ、集ツタダケノ金ト云フモノハ公債ニ向ケ得ラレノデアラウ、デアアルカラサウ云フヤウナ意味カラ御考ニナツテモ新シク御創設マデサレテ、貯金ニ對スル分類所得ヲ御始メニナラヌデモ宜イデハナイカ、斯ウ云フ良心ニ關スル問題デアリマス、金額ガ少イトカ或ハ稅率ガ少イトカ多イトカ、サウ云フヤウナ問題デハナイノデアリマス

○櫻内國務大臣 御趣旨ノヤウナ點モアルト思ヒマス、ケレドモ、要スルニ負擔ノ均衡ト云フ點カラ、此ノ稅ヲ創設シタ譯デアリマス

○石井委員 先ヅ此ノ問題ハ此ノ位ノ程度ニ致シテ置キタイト思ヒマス、其ノ次ニ御尋申上ゲタイト考ヘマスルコトハ、産業組合法或ハ其ノ外ノ組合法デモ同様デアリマスガ、組合法ト云フモノガ儼然トシテ存在ヲ致シテ居リマス、ソレニ依リマス所得稅及ビ營業收益稅、營業稅ハ課セズ、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ今

同ハ特別法人稅ト云フモノヲ御創設ニナツテ、殆ド所得稅ト同様ノモノヲ御課ケニナルノデアリマス、是ハ一體ドウ云フコトデアリマス、斯ウ云フコトニナツタノデアラウカ、私ハ之ニ疑ヲ持ツノデアリマス、詰リ剩餘金ト云フモノヲ目標ニシテ課率ハ少イノデアリマス、ケレドモ全ク所得稅ト同ジ御取扱デアリマス、今度ハ御中止ニナリマシタケレドモ、分類所得稅モ御課ケニナルヤウナコトニモナツテ居ツタヤウデアリマス、御計畫ニハサウナツテ居ツタノデアリマス、全ク所得稅ト同ジ率ガ特別法人稅ノ名ノ下ニ課カルノデアリマス、私共惡ク推察ヲシテ申上ゲルト、産業組合法或ハ漁業組合法ト云フ法律ガアツテ所得稅ヲ課ケルコトハ出來ナイ、營業收益稅モ課ケルコトハ出來ナイ、併シ其ノ法律ヲ改正スルコト云フコトハ非常ニ困難デアアル、因ルカラ隨テ名前ヲ變ヘテ特別法人稅トシテ所得稅ヲ御取リニナルンダト云フ風ニ考ヘラレノデアリマス、斯ウシタコトハ餘リニ穿テ過ギタ、或ハ餘リニ想像シ過ギタ問題ト考ヘルノデアリマスケレドモ、總テ斯ウ云フヤウナ疑モ起シ得ラレノデアリマス、ドウ云フヤウナ御考デアアルカ一ツ拜聽致シテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 ヤハリ御承知ノ通り此ノ特別法人稅ト云フノハ全ク別個ノ考カラ出テ居ルノデアリマシテ、之ニ對シテハ法人稅及ビ營業稅ト云フモノハ取ラス、原則トシテ只今ノ所取ツテ居リマセヌシ、又此ノ率ヲ課稅致シマシテモ、要スルニ普通一般ヨリハ半額ニ見テ居ル、サウシテ所謂特殊ノ税金トシテ取扱ツテ居ル譯デアリマシテ、其ノ點ニ於テ大イニ一般ノ所得稅トハ異ツテ居ルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、御

趣旨ノアル所モ理由ガナイトハ考ヘマセヌケレドモ、今日ノ如キ場合ニ於テハ已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居リマス

○石井委員 ヤハリ私ノ御尋ト少シ御答辯ガ食違ツテ居リマス、今日ノ場合已ムヲ得ヌトカ、已ムヲ得ルトカ云フヤウナ問題デハナイノデアリマス、一面ニ於テハ斯ウ云フヤウナ保護シテ居ル法律ガ現存シテ居ツテ、サウシテ一面ニ於テハ同ジ形ニ於テ、新シイ名目ノ下ニ課稅ヲサレルト云フ、其ノ氣持ハ何處ニアルカ、斯ウ云フコトデアリマス、而カモ先程來伺ツテ見マスルト、當分ノ間ト云フノハ、寧ろ殆ド半永久的ノ御考ノヤウニ拜聽致スノデアリマス、サウナツテ來レバ、寧ろ組合法ヲ改正スルコト云フヤウナコトニ依ツテ、所得稅ヲ課ケルト云フヤウニヤラレタ方ガ宜イデハナイカ、斯様ナ氣モ致スノデアリマス、是ハ御課ケナサイドハ申シマセヌケレドモ、法ノ扱ヒトシテサウ考ヘマス

○櫻内國務大臣 組合法ヲ改正シテヤルト云フコトニナリマスレバ、根本的ニ違ツテ來ルノデアリマシテ、ヤハリ特別法人ハ特別法人トシテ、之ヲ認メテ課稅スルモノデアリマス、之、餘程其處ニ於テ違ツテ居ルト云フコトデアリマス、殊ニ剩餘金ニ課稅スルト云フコトデアリマス、營利法人トハ餘程異ツタ點ヲ強調シテアリマシテ、特ニ特別法人稅ト致シテ、當分ノ中課稅ヲスルト云フヤウニ、茲ニ特例ヲ設ケルノデアリマシテ、組合法ヲ變ヘテ課稅ヲスルト云フヤウナ意味トハ、大イニ其ノ趣旨ガ異ツテ居ルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○石井委員 次ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、是ハ私ノ私見ニ屬スル問題デアリマシテ、マダ私ハ此ノ特別法人稅ヲ課スルガ宜イカ、或ハドウスルガ宜イカ云フヤウナ結論ハ持タヌノデアリマス、已ムヲ得ヌコトデアラウトハ考ヘテ居リマス、結論ハ持タヌノデアリマス、其ノ結論ヲ持タズニ斯ウ云フコトヲ御尋申上ゲルト云フコトハ、如何カト考ヘマスルケレドモ、此ノ場合デアリマスルガ故ニ、關聯シテ一應御意見ヲ拜聽致シテ置キタイト考ヘルノデアリマス、是ダケノコトヲ前提ト致シテ申上ゲテ御尋ヲ申シマス、ト申シマスノハ、今回御創設ニナラントシテ居リマスル特別法人稅ハ、是ハ寧ろ地方ノ稅ト致シマシテ、還付稅ノ中ニ御入レニナルノガ本當デアリナイカ、本質的ニ考ヘテ、營業稅、或ハ地租、或ハ家屋稅、是ト竝シテ地方ノ還付稅ニ入ラレルト云フノガ、一番稅ノ性質カラ考ヘテ行ツテ適應スルノデアリナイカ、斯ウ云フヤウナ氣ガ致スノデアリマス、御承知ノ通りニ産業組合ト云フモノハ地域ヲ限ラレタル事業デアリマス、町村ノ産業組合ハ町村民ニ限ラレル、府縣聯合會ノモノハ、當該府縣ノ聯合會ニ限ラレルノデアリマス、隨テソレカラ舉ツテ來ル所謂剩餘金ト稱セラレルモノモ、其ノ町村民ノ拵ヘタ剩餘金デアツテ、他町村民ハ何等ソレニ關係ガナイノデアリマス、或ハ府縣ノ聯合會ガ拵ヘマシタル剩餘金ト云フモノハ、決シテ他府縣ノモノノ關係ガナイ、其ノ府縣ノモノガ拵ヘマシタル剩餘金デアリマス、隨テサウ云フヤウナ意味カラ考ヘテ參リマスルト、ソレハ當然若シサウ云フモノガ課稅セラレルト云フコトデアラナラバ、地方ニ還元スル、原地ニ還付スル斯ウ云フヤウナ意味ヲ以テハ還付稅ニ御入レニナルコトガ、稅

ノ性質カラ申シマシテモ宜イノデハナイカ
ト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、更ニ又産
業組合等ノ經濟團體ト、或ハ町村、或ハ府
縣、斯ウ云フヤウナモノトノ密接ナル關係
ヲ保持セル上カラ、考ヘテ參リマシテモ、
極メテ適當デハナイカト考ヘルノデアリマ
ス、ソレニ對シマスル御當局ノ御意見ヲ拜
聽シテ置キタイト考ヘマス

○櫻内國務大臣 御説ニ依リマスレバ、本
稅ハ地方ニ還付シタラ宜ラウト云フ御考デ
アリマスガ、若シ此ノ財源ガ恒久的財源デ
アリマスルナラバ、私ハ御説ノヤウナ趣旨
デ宜イノデハナカラウカト思フノデアリマ
スガ、併シナガラ是ガ臨時の課稅デアリマ
スノト同時ニ、此ノ稅ヲ創設致シマシタノ
ハ、現下國家ノ非常時局ニ際シマシテ國費
ノ一部ヲ産業組合ニモ負擔シテ貰フ趣旨デ
ゴザイマスノデ、是ヲ還付稅トシテ地方ニ
還元致シマストキハ創設ノ趣旨ヲ洩却スル
コトトナリマスノトソレカラヤハリ國ガ取
ツテ居リマス、之ヲ止メル場合ニ於テハ、
極メテ簡單ニ廢止スルコトモ出來ルノ
デアリマシテ、サウ云フ色々ナ點カラ之ヲ
國デ取ルト云フコトニ致シタノデアリマス

○石井委員 臨時ノ稅デアアルガ故ニ、町村ニ
之ヲ還付稅トシテ入レルノハドウカト云フ
御説ニ對シテハ、私モ尤モト考ヘルノデア
リマス、町村ノ還付稅ト云フヤウナコトニ
付テハ勿論意見モアリマスガ、町村ノ財源
ト云フモノガ不統制デアルコトハ困ルト云
フコトニ付テハ、私モ尤モト考ヘルノデア
アリマス、併シナガラ現在ノ時局ト云フコ
トヲ考ヘテ見マスルト、町村財政ト云フモ
ノハ非常ニ逼迫ヲ致シテ居ルノデアリマス、
サウ云フヤウナモノハ、ヤハリサウシタモ

ノニ依ツテ負擔ヲシテヤルト云フコトモ、
極メテ必要ダト考ヘルノデアリマス、如何
ニ是ガ臨時のモノデアラウト、恒久性ヲ
有スルモノデアリマシテモ、ヤハリサウ云
フヤウナ意味ニ於テ之ヲ御考ヘニナルコト
ガ、私ハ極メテ適當デハナイカト考ヘルノ
デアリマス、恒久性ヲ有スルモノヲ地方稅
ニ入レルト云フコトハイカス、斯ウ云フヤ
ウナ御話ハ、私ハソレモ御尤モニハ考ヘマス
ルガ、現在ノ時局ヲ擔當シテ居リマスル町
村ノ財政ト云フヤウナモノハ、極メテ臨時
的ニ膨脹シテ居ル所モアルノデアリマスカ
ラ、其ノ臨時の膨脹ノコトハ、之ニ依ツ
テ助ケテヤルノダト云フ氣持ヲ以テ考ヘテ
行ケバ、必ズシモ臨時のモノデハナイト
考ヘル、一應御考慮願ツタラドウカト思ヒ
マス

○櫻内國務大臣 地方ノ財政ガ窮乏致シテ
居ルト云フ事柄ニ付キマシテハ、私共モ左
様ニ感じテ居ルノデアリマス、併シ此ノ度
ハ地方分與稅制度モ創設セラレ、殊ニ三稅
ノ賦課率ハ相當伸縮性モアル譯デアリマス、
旁々致シマシテ之ヲ國稅トシテ取ツタノデ
アリマスガ、又一面ニ於キマシテハ刻下ノ
非常時局ニ於テ、其ノ國費ヲ一般ニ分擔ス
ルト云フ風ナ處置ヲモ加味スルコトガ出來
ルノデハナカラウカト、斯様ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○石井委員 私人大藏大臣ニ對シマスル質
問ハ是デ終リデアリマスガ、最後ノ問題ニ
付キマシテ私ハ尚ホ諄イヤウデアリマスガ、
能ク一ツ御考慮ヲ願ツテ置キタイト考ヘル
ノデアリマス、現ニ配付稅ト云フヤウナモ
ノノ中ニハ法人稅モアルノデアリマス、所
得稅モアルノデアリマス、必ズシモ特別法

人稅ヲ國ニ取ツテ置カネバナラス、國民ノ
愛國心ニ依ツテ徵收シタモノデアアルガ故ニ、
サウシナケレバ惡イト云フ理論モ立タスト
思ヒマス、能ク御考慮ヲ願ヒタイト云フコ
トヲ申上ゲマシテ、私ノ此ノ質問ハ是デ終
ルコトニ致シマス、勿論産業組合課稅ニ關
スル質問ヲ終ルノデアリマス、大藏關係ハ
終リマスガ、明日ハ又地方稅ニ關シマシテ
質問致シタイト思ヒマス、ソレダケ保留致
シテ置キマス

○堀切委員長 內務大臣ハ明日御出デニナ
リマス、總理ハ直グ來マス、長野君、續ケ
テヤリマスカ——長野君
○長野(長)委員 此ノ質問ハ實ハ厚生大臣
ノ御意見ヲ承ツタ後ニト思ヒマシタケレド
モ、御事情ガアルヤウデアリマスカラ、取
アヘズ大藏當局ノ御説明ヲ先ヅ承ハルコト
ニ致シマス、都合ニ依リマシテハ厚生大臣
ノ御説明ヲ承ツテ、更ニ大藏當局ノ御説明
ヲ承ハルヤウニシタイト思ヒマス、從來我
國ノ醫療行政ノ上ニ於キマシテハ醫療ヲ營
業ト認メス、總テ之ヲ仁術トシテ取扱ヒマ
シテ、隨テ稅制ノ上ニ於テモ一切營業ニ對
シテハ課稅ヲシテ居ナカッタノデアリマス、
隨ヒマシテ從來産業組合ニ屬シテ居リマス
ル醫療利用組合ノ病院經營ヲシテ居ルモノ
ニ對シテ、課稅スルコトモナカッタノデア
リマス、今回ノ改正案ニ於キマシテハ、此
ノ營業ニ對シテ課稅ヲスルコトニナツテ居
ルト承知シテ居ルノデアリマス、就キマシ
テハ此ノ問題ニ付テ當局ノ御所見ヲ承ツテ
見タイト思ヒマス、各種ノ共濟組合ノ經營
ニナル病院、例ヘバ警察病院、教員病院、
通信病院、鐵道病院、海軍共濟組合病院、
其ノ他各種工場、鑛山、會社等ニ於テ經營

致シテ居リマスル共濟病院、又赤十字、濟生
會、社團法人實費診療所等ノ法人立ノ病院、
或ハ宗教團體等ノ經營ニ係ル團體立ノ病院
等ニ付テハ、一切課稅ヲ除外サレテ居ルヤウ
ニ考ヘテ居リマス、果シテ左様デアリマスカ、然
ルニ今回ノ特別法人稅法案ニ依リマスル
ト、産業組合及ビ漁業組合法ニ基キ醫療事
業ヲ行フ法人、所謂醫療利用組合病院ノミ
ハ課稅ヲサレルコトトナルノデアリマス、
ソレハ獨リ醫療組合ニノミ苛酷ナ取扱ヲ爲
スコトデアリ、他ノ醫療機關ニ比シテ全ク
均衡ヲ失スルコトトナルノデアリマスマ
イカ、之ニ對スル御説明ヲ先ヅ承リタイ
ノデアリマス

○櫻内國務大臣 只今御尋ノ醫療利用事業
デアリマスガ、是ハ醫療利用事業タルガ故
ニ課稅スルノデハアリマセヌノデ、所謂産
業組合ノ經營デアツテ、サウシテ剩餘金三
分ヲ超ユル場合ニ於テ課稅致スノデアリマ
シテ、是ガ利益ガナク全部醫療事業ノ方ニ
投ジテ居リマスルト、結局事實ニ於テハ課
稅ニナラスノデアリマス、三分ヲ超ユル剩
餘金アル場合ニ於テノミ課稅セラレルノデ
アリマス、御承知ノ通り此ノ醫療ハ殆ド利
益ヲ眼中ニ置カズニヤルノデアリマシテ、
實際問題トシテハ三分ヲ超ユル剩餘ナドト
云フコトハナイノガ多イダラウト思フノ
デ、隨テ課稅ノ標準トハナラス結果トナル
ト思フコトデアリマス、即チ此ノ問題ハ、所
謂共濟的ノ醫療ヲヤツテ利益ガ舉ツテ居ナ
イノデアリマス、ソレカラ一方ノ御話ノ
共濟組合ノ病院ト云フモノハ、全然利益ヲ
配分スルコトカ何トカ云フコトガ行ハレテ居
ナイノデアリマス、隨ヒマシテ自ラ性質ガ

少シ違ツテ來ルノデアリマス、産業組合ノ方ニ於ケル醫療利用事業モ若シ三分ヲ超ユル剩餘金ガナイト致シマスレバ、當然是ニハ課稅サレナイノデアリマス、一方ハ純然タルサウ云フヤウナ剩餘金ノ配分ナドト云フ制度ガアリマセヌノデ、ソコニ相違ヲ致シテ居ルト思フノデアリマス、ソレカラ醫者ノ方デアリマスガ、是ハ從來所得稅ヲ取ツテ居リマスカラ全然無稅ト云フ譯デハナイノデアリマスガ、此ノ度他ノ方ノ鈞合ヲ考ヘマシテ、之ヲヤハリ乙種事業所得ト考ヘタノデアリマス

○堀切委員長 ソレデハ長野君、大藏大臣ニ對スル質問ハ後ニ廻シテ、總理大臣ガオ見エデスカラ總理ニ對スル質問ヲ始めテ戴キマス

○長野(長)委員 從來教育制度ハ勅令ニ依ツテ規定セラレタノデアリマスガ、之ヲ法律ヲ以テ規定スル意思ハナイカドウカ、若シ御意思アリトスレバ、直チニ調査研究ニ取掛ル所ノ御決心ハナイカト云フコトニ付テ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、今回國民學校創始ノ御計畫ガアリマシテ、著々是ガ進展ヲ見テ居ルノデアリマス、義務教育ニ從事スル教員ノ俸給ハ府縣ヨリ支辨スル、又其ノ一部ハ國ガ負擔スル、其ノ他ノ經費ハ市町村ガ負擔スルト云フコトニナルノデアリマス、是ハ從來不變ルコトガナイノデアリマス、隨テ義務教育ノ制度ハ其ノ法規ハ勅令デアリマスガ故ニ、官吏ノ机上ニ於テ立案セラレ、而モ概ネ府縣市町村會審議ノ範疇ヲ出ルコトガナイコトニナルノデアリマス、果シテ之ヲ以テ足レリトスベキモノデアリマセウカ、惟フニ義務教育ハ日本帝國ガ興亞ノ聖業ヲ完遂シ、進

ンデ世界新秩序ノ建設ニ貢獻スル爲メ大國民養成ノ大任ヲ負フモノデアリマス、故ニ府縣會、市町村會及ビ官吏ノ能力集中モ勿論必要デアリマスルガ、更ニ帝國議會ニ法律案トシテ提出ヲ致シマシテ、帝國ノ實體ニ立脚シ、世界ノ大勢ヲ達觀シ、國民義務教育ノ大目的達成ヲナス爲メ國民ノ全智全能ヲ集中スル意味ニ於テ、教育制度ハ法律ヲ以テ之ヲ定メ、教則ハ之ヲ勅令ニテ規定スベキモノデアルト思フノデアリマス、總理大臣ハ教育制度ノ法律化ニ對シテ如何ナル御考ヲ有セラレルノデアアルカ、簡明具體的ニ御述ヲ願ヒタイノデアリマス

○米內國務大臣 今マデ貴族院ノ豫算總會ニ行ツテ居リマシテ遲レマシテ失禮致シマシタ、只今ノ御尋ノ問題ニ付キマシテハ、昨年モ同様ノ御質問ガ他ノ議員カラ、當時ノ平沼首相ニ出テ居ツタヤウニ考ヘマスルガ、教育ニ關シマス法規ヲ勅令デ定メルト云フコトニ付キマシテハ、今日マデズツト一貫シテ參ツテ居ル次第デアリマシテ、此ノ方針ヲ只今ノ所特ニ變更スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ソレダケ御答ヲ致シテ置キマス

○長野(長)委員 ソレデハ更ニ御尋ヲ申上ゲタイノデアリマスルガ、傳統的ニ只今マデ左様ニ勅令ヲ以テ規定シテ居ルカラ、ソレデ變更スル意思ガナイト思召スノデアリマスルカ、又如何ナル理由ヲ以テ之ヲ左様ニスル必要ガナイト思召スノデアアルカ、其ノ理由ヲ御説明願ヒタイノデアリマス

○米內國務大臣 其ノ理由ハ實ハ申上ゲ兼ネルノデアリマスルガ、其ノ點ダケ御諒承ヲ願ヒマス

○長野(長)委員 苟モ義務教育ニ要スル經

費ノ中デ、教員ノ俸給ハ之ヲ地方支辨、及ビ其ノ一部ハ之ヲ國ノ支辨ト云フコトニ致シマシテ、事實上ニ於テ義務教育ト云フモノニハ一大變革ヲ齎シタノデアリマス、隨テ此ノ際義務教育ノ内容ニ付テ十分國民ノ總意ヲ集中セシメテ、サウシテ國民生活ノ實體ニ十分基調ヲ置イタ所ノ教育ガ行ハレナケレバナラス、過去明治大正時代ニ於ケル教育ノ流弊ガ、今日思想其ノ他有ユル方面ニ現ハレテ居ルト云フコトハ、國民ノ常識デアリ、政府當路モ亦之ヲ認メラレテ居ル、隨ヒマシテ此ノ重大問題ヲ解決スルト云フコトハ、是ハ國民ノ總意ヲ集中セシメルト云フコトニ依ツテ、十分其ノ目的ヲ達シ得ルモノデアアル、ソレデナカツタナラバ十分ナル解決ハ出來ナイト云フコトハ、私ノ信ズル所デアリマス、此ノ私ノ信ズル所ハ間違ツテ居ルト云フ思召デアリマセウカ、先ヅ其ノ點カラ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○米內國務大臣 御趣旨ノ點ハ能ク分ツテ居ルノデアリマス、何回モ申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、只今マデ一貫シタ方針デ來テ居リマスノデ、變ヘルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ドウゾ御諒承願ヒマス

○長野(長)委員 ソレデハ更ニ御尋シマスガ、昨年ノ議會デアリマスカ、時ノ國務大臣デアアル所ノ荒木文相ハ、其ノ法律化ト云フコトニハ趣旨ニ於テ反對デハナイ、同感デアアル、デアアルカラ、十分其ノ點ニ付テハ研究ヲ進メルノデアルト云フコトモ言明セラレテ居ルノデアリマス、平沼內閣ニ於ケル文相ガ之ヲ議會ニ於テ言明セラレテ居ル、又私ノ質問申上ゲタコトニ付テハ、苟クモ事ハ國民ノ義務教育ニ關スル問題デアリマ

ス、何モ是ハ秘密ニセラレル必要ハナイノデアリマス、又秘密ニセラルルヤウナ内容ヲ私ハ御尋シテ居ナイノデアアル、説明ガ出來ナイト云フノハ洵ニ是ハ遺憾ナコトデアリマス、何故ニ其ノ必要ナシト云フノカ、其ノ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、更ニ附加ヘマスガ、總理大臣ガ御説明出來スト云フナラバ、其ノ總理大臣ノ下ニ於テ文教ノ府ヲ擔當セラレテ居ル文部大臣モ亦、此ノ國民義務教育ノ眞髓ニ關スル質問ニ對シテ答ヘルベキモノデアイト御考ヘニナツテ居ルトコナラハ解釋シナケレバナラスヤウナコトニ相成ルノデアリマシテ、甚ダ事ガ難ニナルノデアリマス、ドウカ此ノ際簡單ニ、率直ニ御答願ヒタイノデアリマス

○石渡政府委員 此ノ問題ハ只今總理大臣ノ申サレタ通り、從來ノ沿革ガ總テ勅令ニ依ツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、今仰セニナルノハ、之ヲ法律ニ依ツタラ如何デアアルカ、斯ウ云フ御議論デアルト思フノデゴザイマス、是ハ數年前平生文部大臣ノ折ニ、六年制ヲ八年制度ニ改正スルト云フ場合ニ於キマシテモ、同様一方ニ於テ法律ヲ以テ斯ウ云フ事ハヤルベキモノデアラウ、斯ウ云フ御議論ガアツタコトヲ覺エテ居ルノデアリマスガ、其ノ當時ニ於キマシテモ、此ノ教育ノ問題ハ、從來カラ法律ヲ以テ之ヲ行ハナイデ、勅令ヲ以テズツト施行致シテ居ル、ソレデ其ノ際ニモ勅令ヲ以テ之ヲ行フ方針ニナツテ居ツタヤウニ私共存ジテ居ルノデアリマス、今回國民學校八年制、斯ウ云フ問題ガ茲ニ起ツテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ問題モヤハリ從來ト同様、法律ヲ以テ行ハズニ勅令ヲ以テ行フ、斯ウ云フ方針ノ下ニ目下進メテ居

リマスコトハ、只今アナタノ仰セノ通りデゴ
ザイマス、法律ヲ以テ之ヲ行フ、斯ウ云フコ
トハ一方カラ考ヘマスレバ極メテ重要ナ問
題デアリマスノデ、御説ノヤウナ議論モ立
チ得ルト思フノデゴザイマス、私共モ其ノ
當時ニ於キマシテ、此ノ前ノ八年制ノ問題
ニ於キマシテモ、今アナタノ仰セノアルヤ
ウナ點ニ付テ、洵ニ御尤モナ點ガアルト存
ジマシテ、サウ云フ風ナ考ヘ方ヲ致シマシ
テ論議ヲ進メタコトモゴザイマシタ、ゴザ
イマシタガ、此ノ問題ハ緣由スル所頗ル深
ウゴザイマシテ、政府トシテモ、之ヲ變更
致シテ法律ニ依ルト云フ決意ヲ致シマスル
コトハ、中々容易デゴザイマセヌ、今回ノ
問題モ亦從來ノ沿革通り勅令ニ依ツテ之ヲ
行フ、斯ウ云フ方針ニ致シテ居ル次第デゴ
ザイマス、左様ドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

ル次第デゴザイマスカラ、何モ此ノ際此ノ
議會ニ提出セヨト云フ御手數ヲ掛ケルト云
フ意味デハナイノデアリマスカラ、ソレハ
御安心ヲ願ヒタイ、要スルニ我ガ日本ノ國
ノ教育制度ト云フモノガ、官吏ノ机上ニ於
テ立案セラレルト云フコトノ爲ニ、過去ノ
明治大正ノ教育ノ弊害ヲ生ジタノデアル、
此ノ際政府トシテハ、此ノ大改革ヲ行フニ
際シテ、此ノ際カラ一ツ御研究ヲ進メラレ
テ、近キ將來ニ於テ我國ノ全體ノ教育制度
ヲ法律化シテ、國民ノ全智全能ヲ之ニ集中
シテ、新シキ時代即チ興亞ノ問題ト云ヒ、
世界新秩序ニ貢獻スル問題ト云ヒ、大國民
ヲ養成スルニ必要ナル新體制ヲ茲ニ作ル必
要ヲ認メザルヤ、又其ノ御意思ハナイカ、
斯ウ云フコトヲ御尋シテ居ルノデアリマス
カラ、ドウカ此ノ議會ニ御手數ヲ掛ケルト
云フヤウナコトニ御心配ナク虛心坦懷ニ御
答願ヒタイノデアリマス

○長野(長)委員 是以上申上ゲマシテモ無
理ト思ヒマスカラ、ドウカ虛心坦懷ニ一ツ
御研究ヲ願ヒマシテ、恐ラク私ノ主張ノ理
論ニ於テ、其ノ實情ニ於テ唯此ノ一途アル
ノミト思ヒマス、故ニ其ノ一途ヲ御擱ヘニ
ナツタナラバ、左顧右盼スルコトナク一路
邁進其ノ一途ニ進マレンコトヲ希望致シマ
シテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○立川委員 サウデス
○堀切委員長 分リマシタ、一ツ其ノ點ヲ
モウ少シ明ニセラレタイト思フ、ナゼ法律
化スルコトガ出來ナイカ、單ニ面倒ダカ
ラ、或ハ從來ノ因習ガ斯ウダカラ面倒ダカ
ラト云フデスカ、何カ理由ガアルノデスカ
○米内國務大臣 面倒臭イトカ、サウ云フ
問題デヤナイノデアリマス、ドウゾヤハリ
將來共今日マデ一貫シテ來タコトニ依ツテ
進ムト云フコトニ御諒承ヲ御願致シマス、
研究ハ十分ヤツテ居リマス

○堀切委員長 宜シウゴザイマスカ、サ
ウスレバ今マデヤツテ居ツタコトヲ變ヘタ
クナイト云フコトダケノヤウニ聞エマス
ガ……

○立川委員 書記官長ニ申上ゲマスガ、モ
ウ少シハツキリ御答ニナツタ方ガ宜インデ
ヤナインデスカネ

○石渡政府委員 先程來私モ縷々申上ゲタ
ノデアリマスガ、要スルニ此ノ問題ハ從來
カラ法律ニ依ルベシト云フ議論ガアルノデ
アリマス、併シナガラ勅令ニ依ツテ教育ノ
全體ト云フモノガ茲ニ出來テ居リマスコト
御存知ノ通りデアリマス、是ハ私モ文部當
局デゴザイマセヌカラ、ソレガ詳細ニ勅令
デアルカ法律デアルカト云フコトハツキリ
分リマセヌ、併シ大體ノ問題トシテ、此ノ
問題ガ勅令ニ依ルノヲ適當ト致シマシテ、
今日マデ參ツテ居リマスコトハ御存知ノ通
リデアルト思ヒマス、是ハ今問題ニナツテ
居リマスル國民學校八年制ノ問題ニ付テ
モ同様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、唯長
野サンカラ、將來教育全體ノ事ヲ法律ニ依

○石渡政府委員 其ノ通りデゴザイマス
○長野(長)委員 サウ致シマスナラバ、總
理ノ御答辯ノ如キ單ニ傳統ニ因ハレテ云々
ト云フヤウナ、其ノ場ノ逃口上ト云フト語
弊ガアルカモ知レマセヌケレドモ、場塞ギ
的ナ御答辯デナク、之ヲ本質的ニ御考ニナ
ツテ、即チ御研究ヲナサレタ時ノ本當ノ御
心ニ立還ラレテ——必ズシモ此ノ議會デナ
クテモ宜イト思ヒマス、又此ノ國民義務教
育ノミデナク、全教育ニ關スル規定ハ法律
化スベシト云フ意味ニ於テ、荒木文部大臣
ノ大體ニ於ケル御共鳴モ得テ居ル譯デアリ
マシテ、此ノ意味ニ於テ質問ヲ申上ゲテ居

○米内國務大臣 先程申シマシタ通り、御
趣意ニ付テハ御尤モダト思ツテ居ルノデア
リマス、唯何遍モ申上ゲマス通り、ヤハリ
是デ行カナケレバイカヌダラウト云フコト
ヲ申上ゲタノデアリマス、併シ將來ノ問題
トシテ研究ハシテ見マス、斯ウ云フコトデ
アリマス

○長野(長)委員 是以上申上ゲマシテモ無
理ト思ヒマスカラ、ドウカ虛心坦懷ニ一ツ
御研究ヲ願ヒマシテ、恐ラク私ノ主張ノ理
論ニ於テ、其ノ實情ニ於テ唯此ノ一途アル
ノミト思ヒマス、故ニ其ノ一途ヲ御擱ヘニ
ナツタナラバ、左顧右盼スルコトナク一路
邁進其ノ一途ニ進マレンコトヲ希望致シマ
シテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○立川委員 サウデス
○堀切委員長 分リマシタ、一ツ其ノ點ヲ
モウ少シ明ニセラレタイト思フ、ナゼ法律
化スルコトガ出來ナイカ、單ニ面倒ダカ
ラ、或ハ從來ノ因習ガ斯ウダカラ面倒ダカ
ラト云フデスカ、何カ理由ガアルノデスカ
○米内國務大臣 面倒臭イトカ、サウ云フ
問題デヤナイノデアリマス、ドウゾヤハリ
將來共今日マデ一貫シテ來タコトニ依ツテ
進ムト云フコトニ御諒承ヲ御願致シマス、
研究ハ十分ヤツテ居リマス

○堀切委員長 宜シウゴザイマスカ、サ
ウスレバ今マデヤツテ居ツタコトヲ變ヘタ
クナイト云フコトダケノヤウニ聞エマス
ガ……

○立川委員 書記官長ニ申上ゲマスガ、モ
ウ少シハツキリ御答ニナツタ方ガ宜インデ
ヤナインデスカネ

○石渡政府委員 先程來私モ縷々申上ゲタ
ノデアリマスガ、要スルニ此ノ問題ハ從來
カラ法律ニ依ルベシト云フ議論ガアルノデ
アリマス、併シナガラ勅令ニ依ツテ教育ノ
全體ト云フモノガ茲ニ出來テ居リマスコト
御存知ノ通りデアリマス、是ハ私モ文部當
局デゴザイマセヌカラ、ソレガ詳細ニ勅令
デアルカ法律デアルカト云フコトハツキリ
分リマセヌ、併シ大體ノ問題トシテ、此ノ
問題ガ勅令ニ依ルノヲ適當ト致シマシテ、
今日マデ參ツテ居リマスコトハ御存知ノ通
リデアルト思ヒマス、是ハ今問題ニナツテ
居リマスル國民學校八年制ノ問題ニ付テ
モ同様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、唯長
野サンカラ、將來教育全體ノ事ヲ法律ニ依

ルノガ適當デナイカ、能ク此ノ點ヲ研究シテ見タラ如何デアルカ、斯ウ云フ御尋ニ對シテハ、十分研究致シテ見タイ、斯ウ申上ゲテ居ル次第デアリマス、ドウゾ此ノ程度ニ於テ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○立川委員 重ネテ申シマセヌガ、ドウモ總理大臣及ビ書記長官ハ、故ラニ答辯ヲ拒絶シテ居ラレルヤウニ私共ハ思ハザルヲ得ナイ、甚ダ遺憾ニ存ジマス

○石渡政府委員 御答ハ十分ニ致シテ居ル積リデアリマシテ、是レ以上、私ノ頭ガ良クナイト仰シヤレバソレマデアリマスガ、誠意ノ點ダケハ十分御認メヲ願ヒマス

○堀切委員長 ソレデハ今日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、明日午前十時カラ開會致シマス

午後五時二分散會

〔參照〕

高橋委員要求ノ參考資料

一、各府縣別小學校學級數

一、各府縣別正教員、准教員、代用教員數

一、各府縣別一學級學齡兒童七拾名以上ノ學級數